

318
411

6 7 8 9 50 1 2 3 4 5 6 7 8 9 6

始



改正簡閱點呼豫習參考書

目次

精神教育	一
憲兵科	一三
歩兵科	一三
騎兵科	三三
砲兵科	三九
同 (野砲兵)	四七
同 (重砲兵)	五二
同 (諸工長)	五七
同 (工兵隊兵)	六三
同 (鐵道隊兵)	六九
同 (電信隊兵)	七三
輜重兵科	七九
經理部	八五
衛生部	九七
軍隊內務書	一〇三
陸軍禮式	一〇五
陸軍刑法並同懲罰令	一〇六
徵兵令	一〇八
陸軍軍人服役令	一一六
陸軍召集令	一二七
諸願屆竝雜件	一二七
帝國在郷軍人會	一三二

精神教育ニ就テ

318-411

○ 我國體ノ世界ニ冠絶セル所以ヲ述ヘヨ

○ 上ニ萬世一系ノ皇室ヲ戴キ且我カ國ハ同一ノ血脈ヨリ成立セル國家ナリ故ニ我カ祖先ハ即チ長クモ 天祖ナリ天祖ハ國民ノ始祖ニシテ皇室ハ國民ノ宗家タリ (我國皇室ノ特ニ尊嚴ナルコト皇室ト人民トノ關係ニ深キ印象ヲ喚起セシムルニアリ)

○ 我國ノ皇室ハ外國ト如何ニ異ナルヤ

○ 1、天皇ハ國ノ元首ニシテ畏クモ吾人軍人ノ大元帥ナリ

○ 2、神武天皇大和國橿原宮ニ於テ帝位ニ即カセ給ヒテヨリ皇統連綿トシテ下ニ至レリ

○ 3、世界ハ廣ク國ハ如何ニ多シト雖二千有餘年皇統連綿トシテ居ル帝國ハ我カ皇室ヨリ外ニナシ

正 18
大 陸 内 交
8.

○ 勅諭五箇條ハ如何ナルコトニ歸スルカ

○ 唯一ノ誠心ニ歸ス誠心トハ純一ニシテ虚ノナキナリ忠節禮儀等ノ德ハ只誠心ノ形ヲ表ハシタルモノナリ

○ 勅諭中最吾人ノ感泣措ク能ハサル御言葉及之ニ對ヘ奉ル覺悟ヲ述ヘヨ

○ 「朕ハ汝等ヲ股肱ト頼ミ汝等ハ朕ヲ頭首ト仰キテソ其親ミハ深カルヘキ」ノ一句ニシテ吾人ハ唯夙夜勵精以テ 聖旨ヲ奉體シ報效ヲ期スルアルノミ

問 今上陛下踐祚ノトキノ勅諭ノ大意ヲ述ヘヨ

答 汝等軍人ハ先帝ノ示サレタル五箇條ヲ奉體シ數回ノ戦闘ニ於テ偉勳ヲ奏シ益々國威ヲ輝セリ汝等ハ先帝ノ愛撫シ給ヒシ軍隊ナルヲ以テ朕ハ之ニ信賴シ益々國威ヲ輝サントスルヲ以テ汝等ハ先帝ノ遺訓ヲ奉シ益々奮勵シ先帝ニ仕ヘタルト同シ心ヲ以テ朕ニ仕ヘヨ

問 在郷軍人トシテ禮儀ハ如何ニ心掛クヘキヤ

答 地方先輩ヲ尊敬スルノ氣品ヲ養ヒ祭典ニ列シ軍人遺族ヲ慰メ在郷軍人會ニ出席スルコトヲ勉ムルニアリ

問 在郷軍人トシテ信義ハ如何ニ心掛クヘキヤ

答 郷閭ノ信用ヲ受ケ他人ノ敬愛ヲ得サルヘカラス爲之自ラ他人ヲ敬愛シ已カ言行ノ一致ニ努力スルヲ要ス

問 在郷軍人トシテ質素ハ如何ニ心掛クヘキヤ

答 身分相應ノ生計ヲナシ其ノ職業ヲ愛シ驕奢ノ惡風ニ陥ラサル如ク堅忍持久ノ精神ヲ以テ邁進セサルヘカラス

問 大正三年十一月三日在郷軍人ニ賜リタル勅諭ノ大意ヲ述ヘヨ

答 國防ノ完備ハ在郷軍人ニ俟ツモノ多イカラ益々軍人精神ヲ鍛へ軍事能力ヲ増進シ郷ニアリテハ忠良ナル國民トナリ軍隊ニ出テテハ干城トナリ其ノ本分ヲ盡セ

問 大正四年十二月在郷軍人ニ下サレタル勅語ノ大意ヲ述ヘヨ

答 朕ハ汝等ノ壯健ニシテ益々隆盛ナルヲ親シク見テ喜ニ堪ヘヌ尙一層勉勵シ朕カ股肱タルノ實ヲ擧ケヨ

問 在郷軍人ノ本分ヲ盡ス爲常ニ如何ナル心懸ヲ要スルヤ

答 勅諭ヲ遵奉シ居常軍人精神ヲ鍛鍊シ國家保護ノ大任ヲ忘レヌ家業ニ精勵シ郷黨ノ儀表トナリ身体ノ強健ヲ計リ國家有事ノ日ハ一令ノ下ニ其ノ業ヲ擲チ召集ニ應スルノ覺悟ナカルヘカラス

問 何故ニ在郷軍人ハ年年簡閱點呼ニ應シ若ハ勤務演習ニ服スルヤ

答 苟モ身ヲ軍籍ニ置ク者ハ一朝有事ノ際之ニ應スル爲常ニ軍人精神ヲ鍛鍊シ軍事教育ノ保持ニ努メサルヘカラス然ルニ在郷軍人ハ軍隊生活ニ遠カリ日夜自己ノ業務ニ服シツツアルヲ以テ不知不識ノ間ニ弛緩ヲ生シ易シ故ニ之ヲ復舊シテ戰時ノ用ニ耐ヘ得ル如ク且在郷中ノ状態ヲ執行官ノ査閱ニ供シ以テ平時ニ於ケル動員ノ豫習ヲナスニアリ

問 軍人ハ優越ナル精神ト強健ナル体力ヲ有セサレハ戰勝ヲ望ムヘカラス然ラハ如何ニシテ軍人精神ヲ保持スヘキヤ

答 朝夕勅諭ノ御主旨ヲ奉戴シ之ニ背カサランコトヲ期スルノミナラス在隊中受ケタル諸種ノ教訓ヲ守リ之レヲ日々遭遇スル所ノ百般ノ出來事ニ照シ如何ニセハ勅諭ノ五ヶ條ニ背馳セサルヘキヤ考ヘ誠心ヲ以テ精神ヲ淬勵スルニアリ如何ニシテ体力ノ強健ヲ保持スヘキヤ

答 衛生ニ注意シ健康ノ保全ヲ圖リ又事情ノ許ス限リ規則的生活ト体力練磨ニ必要ナル運動ヲ實行シ克己心ノ向上ト共ニ艱苦缺乏ニ耐ヘ克ツコトヲ練成スルニアリ

問 將來ノ戰鬪ヲ顧慮シ在郷軍人トシテ如何ナル覺悟ヲ要スルヤ

答 戰時我國軍ノ多數ハ吾人在郷軍人ヲ以テ編成セラルルモノニシテ戰鬪ノ成果ハ一ニ懸テ吾人ノ雙肩ニアリト云フモ過言ニアラサルナリ翻テ接觸諸國ノ状態ヲ見ルニ何レモ國力豊富兵力亦強大ニシテ殊ニ近時各國共ニ益々軍備ノ増大ヲ實行シツツアリ然ルニ我國ノ状態ハ之ニ反スルヲ以テ一朝不幸戰端ヲ開カンカ我全力ヲ舉ケテ之ト戰ハサルヘカラス而モ彼カ十カ一ニタモ當ラサルノ患ナシトセス故ニ國軍ノ主腦タルヘキ在郷軍人ハ平素ヨリ軍人精神ヲ鍛練シ體力ヲ壯大ニシ一以テ十ニ當ルノ覺悟ヲ常ニ健全ニ保有セサルヘカラス

問 在郷軍人ハ昔時ノ軍隊ニ比シ其ノ責任一層増大セリ何故カ

答 昔時有事ノ日國軍ノ大部ヲ編成スルモノハ現役兵ナリシモ現時ハ然ラス其ノ主ナルモノハ在郷軍人ニシテ其ノ精粗強弱ハ實ニ軍ノ戰鬪力ニ至大ノ關係ヲ有スレハナリ

問 軍隊ノ規律アル生活ヲナシタル經驗ヲ如何ニ應用スヘキヤ

答 先ツ之ヲ一家ノ起居衛生上ニ應用シ職業ニ奮勵シ鄉黨ニ模範ヲ垂レ後進壯丁ノ誘掖ニ及ホシ以テ如何ニ規律的生活ノ趣味アルカヲ知得セシメントス

問 在郷軍人會ニ對スル心得

答 1、趣旨目的ヲ了解シ義務ヲ盡スコト

2、會合ニハ必ス出席スルコト

3、講話ノ如キ時ハ一般人士ニ會ノ精神ヲ知ラシムルコト

4、地方事業改良ノ如キハ(産米蠶業等)軍人會率先之ニ當ルコト但シ軍人會ノ勢力ヲ政争ニ利用スヘカラス

5、規則ヲ勵行シ克ク忠言ヲ容レ忠告ヲナシ本會ノ進歩ヲ計ルコト

問 現役兵ノ入營滿期ニ際シ在郷軍人トシテノ心掛ケ

答 入營者ヲ送ルニハ精神の送別ヲ行ヒ物質的贈與ヲ禁スルニアリ滿期ニ際シテハ土産物辭退決議ノ通報ヲ軍人會ヨリ本人及中隊長ニ發シ古來ノ惡習ヲ除クニアリ

問 戰鬪勝敗ノ數ハ何ニ由ルヤ

答 必スシモ兵力ノ多寡ニ依ラス精練ニシテ且ツ攻撃精神ニ富メル軍隊ハ毎ニ寡ヲ以テ衆ヲ破ルコトヲ得ルモノナリ

問 歐洲戰ニ就テ所感ヲ述ヘヨ

答 將來ノ戰鬪ノ主力ハ在郷軍人ニシテ其ノ精否ハ國軍勝敗ノ岐ルルトコロナリ故ニ吾人ハ神心ヲ鍊リ軍事能力ヲ増進シ此ノ要求ニ副ハサルヘカラス

憲兵下士ノ部

問 軍事警察トハ如何

答 軍隊社會個人ノ動靜行爲ヲ視察シ以テ軍ノ存在安寧秩序風俗ヲ侵害シ若クハ侵害セントスルモノアレハ之カ保安警防緝捕ニ從事スルヲ云フ

問

一般陸軍檢察官ト特別陸軍檢察官トノ職務權限ヲ述ヘヨ

答

一般檢察官トハ憲兵將校下士師旅團副官警備隊司令官ニシテ軍人軍屬ノ犯罪竝是等ニ關係シタル犯罪一般ニ亘リ檢察權ヲ有スルモノナリ

特別檢察官トハ各所管ノ長官團隊ノ長タル將校聯隊區司令官監獄長衛兵司令ニシテ各其部下軍人軍屬ノ犯罪竝其ノ管轄スル事柄ニ關係シタル犯罪ニ對シテノミ檢察權ヲ有スルモノナリ

問

犯罪搜查ノ目的ヲ述ヘヨ

答

犯罪ノ搜查ハ起訴ノ準備的手續ニシテ起訴不起訴ヲ決スルニ必要ナル材料ヲ蒐集スルヲ以テ目的トス

問

憲兵下士軍人ノ現行犯ニ對シ檢察處分ヲ爲ス手續ノ大要如何(證據書類具)

答

逮捕者ノ作リタル書類ニ基キ被告人ヲ訊問シテ調書ヲ作り要スレハ檢証處分家宅搜索物件差押ヲ爲シテ各調書ヲ作り証據ノ蒐集ノ必要アレハ本人ノ所管又ハ本隊へ照會シテ之ヲ求メ証人事實參考人アレハ呼出シ取調(是等ノ者營内居住者ナレハ本隊へ照會出頭ヲ求ム)又必要ニ

依リ鑑定ヲ爲サシメ以テ証憑ヲ蒐集スルモノトス
逃亡犯ノ被告人ハ逮捕シ又ハ自首若クハ交付ヲ受ケタル時ハ本人所轄軍法會議理事
又ハ主理ニ通報ス

問 兵卒ノ竊盜犯人ヲ檢察處分中其ノ被害者常人中ヨリ當該事件ノ被害品ニ付キ私訴ノ請
求書ヲ提出セリ如何ニ處理スルヤ

答 私訴ハ軍法會議ニテハ陸軍官署若クハ軍人ノ損害ニ係ルモノノミヲ審理スルモノナ
ルヲ以テ地方裁判所ヘ民事ノ訴ヘテ提出スルノ外ナキ旨ヲ諭告スルヲ正當トス

問 戰地ニ於ケル憲兵ノ任務ノ大要ヲ述ヘヨ

答 憲兵ハ野戰軍ノ所在地及兵站線路ニ於テ各兵不正ノ徵發槍奪其他諸犯則者ヲ取締リ
道路ノ往來ヲ自由ナラシメ酒保及用達商人ヲ監視シ証憑ナキ單獨ノ軍人疑シキ住民
遲留兵及敵ノ逃走兵等ヲ捕ヘテ近傍ノ軍隊又ハ司令部ニ送り此外停車場郵便局倉庫
等衆人共用ノ家屋ヲ監視シ電信鐵道ヲ保護シ敵ノ間諜ヲ搜索スル等ナリ

問 營内ニ於ケル兵卒變死(縊死)ノ檢視ヲ囑託セラレ之レカ實地ノ檢視ヲ爲ス手續及其ノ
方法ノ大要ヲ述ヘヨ

答 部下下士上等兵ノ内一乃至二名ヲ引率現場ニ臨ミ所屬隊長(中隊長聯大隊副官等)ノ
立會ヲ求メ隊附軍醫ヲ立會セシメ檢視ス其ノ爲スヘキ要領ヲ舉クレハ左ノ如シ
1、軍醫ヨリ檢案書ヲ徵ス
2、檢視調書ヲ現場ニ於テ作りテ立會人ト共ニ署名捺印ス

3、調書中ニハ場所位置日時死体ノ狀態創傷ノ狀態事實發見人ノ申立致命ノ原因及
死因等ヲ記スルモノトス又死因不明ニシテ解剖ヲ要スル時ハ其筋(舊時ハ檢事今時ハ
ハ憲兵司令官)ノ
許可ヲ受クルモノトス

問 治安警察法ニ於ケル政治上ノ結社ニ加入スルコトヲ得サルモノ如何

- 1、現役及召集中ノ陸海軍軍人
- 2、警察官
- 3、神官神職僧侶其他諸宗ノ教師
- 4、官立公立私立學校ノ教員學生生徒
- 5、女子
- 6、未成年者
- 7、公權剝奪及停止中ノ者

憲兵上等兵ノ部

問 憲兵ハ如何ナル場合ニ於テ兵器ヲ使用スルコトヲ得ルヤ

- 答 1、暴行ヲ受クル時
- 2、其占守スル土地若クハ委託セラレタル場合又ハ人ヲ防衛スルニ兵力ヲ用フルノ
外手段ナキトキ又ハ兵力ヲ以テセサレハ抵抗ニ勝ツ能ハサルトキ

4、逮捕狀

陸軍治罪法上ノ各種令狀ノ執行方法ヲ述ヘヨ

1、召喚狀

召喚狀ヲ受クヘキ被告人軍人ナル時ハ其所屬ノ官廳本隊若クハ被告事件ヲ具申シタル檢察官ニ移シテ送付ノ處分ヲ求ム若シ同行ヲ要スル時ハ前項ノ諸官求ムルモノトス

但シ營外居住者ニ係ル時ハ直ニ本人ニ交付シ出廷セシムルコトヲ得
被告人所在ノ地ニ所屬官廳若クハ本隊アラサル時ハ本人ニ交付シ出廷セシムルコトヲ得

2、拘引狀

拘引狀ヲ受クヘキ被告人營内若ハ隊伍ニ在ル時ハ隊長ニヨリ其執行ヲ求ムルモノトス被告人海軍艦船營内若ハ隊伍ニ在ル時ハ艦船長隊伍ノ長ヨリ其ノ執行ヲ求ム

3、收禁狀

拘引狀ニ同シ

憲兵拘引狀ヲ執行スルニ當リ被告人其家宅若クハ他人ノ家ニ逃匿シタリト認めタル時ハ如何ナル處置ヲナスヤ

其戸長若クハ隣佑二名以上ノ立會ヲ求メ之ヲ搜索シ其ノ調書ヲ作り立會人ト共ニ署名ノ上捺印ス若立會ヲ求ムルニ暇アラヌ若ハ之ヲ得ル能ハサルトキハ其ノ立會ナク

シテ搜索ヲナス

現行犯トハ如何

現ニ行ヒ現ニ行ヒ終リタル際ニ發覺シタル罪ヲ云フ

準現行犯トハ如何

準現行犯トハ重罪輕罪ニシテ左ノ場合ニ當ルヲ云フ

1、犯人トシテ一人又ハ數人ニ追呼セラル、トキ

2、兇器贓物其他ノ物品ヲ携帶シ又ハ身体被服ニ顯著ナル犯罪ノ痕跡アリテ犯人ト

思料スヘキ時

3、家宅内ニテ犯シタル罪ヲ檢証スル爲又ハ其犯人ト思料スヘキモノ逮捕スル爲戸

主ヨリ官吏ニ其處分ヲ求メタル時

憲兵カ軍人軍屬ニ與フル注意ト説諭トノ區別如何

注意トハ現場ニ於ケル直接ノ警告ナリ即チ軍人軍屬ノ行爲中多クハ疎虞懈怠若ハ過失ニ依リ不知不識ノ間非違非行ニ陥ラムトシツツアルカ如キ輕微ノ事項ニシテ之ヲ認メ直ニ教示矯正スル處ノモノナリ

説諭ハ單純ナル警告ニ止マル處ノ注意ト異ナリ更ニ之ニ一步ヲ進メタル警察上ノ即時處分ニシテ注意ニ比シテ事稍重ク多クハ故意ニ屬スル非違非行ニ加ハル處ノ訓戒ナリ

刑事被告人押送中被告人逃走シタルトキハ如何ナル處置ヲ爲スヤ

答 逃走ノ一瞬時ニ於テ獨力取押ヘノ見込ナキトキハ直ニ其旨ヲ最寄憲兵及警察官署ニ急報シ且速ニ發送押送受送ノ各官衙ニ通報(又ハ報告)シ書類物品貨幣等ハ總テ押送官衙ニ返付シ又就捕ノ時ハ前記各官衙ニ通報ス而シテ押送者ハ當分就捕不可能ト認ムルトキハ歸隊スルモノナルモ特ニ上官ノ指示アルトキハ此限リニアラス

問 戰地ニ於ケル憲兵任務ノ大要ヲ述ヘヨ

答 憲兵ハ野戰軍ノ所在地及兵站線路ニ於テ各兵ノ不正ノ徵發槍奪其ノ他諸犯則テ取締リ道路ノ往來ヲ自由ナラシメ酒保及用達商人ヲ監視シ証憑ナキ單獨ノ軍人疑ハシキ住民遲留兵及敵ノ逃走兵等ヲ捕ヘテ近傍ノ軍隊又ハ司令部ニ送り此外停車場郵便局倉庫等衆人共用ノ家屋ヲ監視シ電信鐵道ヲ保護シ敵ノ間諜ヲ搜索スル等ナリ

問 野戰軍ニ屬セル憲兵服務中罪ヲ犯シタル時之ヲ拘引スルコトヲ得ル人如何

答 通常其所屬上官ニ限ルモノトス

問 軍機保護法ニ於テ犯則トナルヘキ重ナル行為ヲ述ヘヨ

答 1、軍机上機密ノ圖書物件ヲ探知收集スルコト

2、職務ニ依リ知得シタル軍机上秘密事項ヲ他人ニ傳説交付若クハ之ヲ公示スルコト

3、許可ヲ得ヌ軍港要港防禦港保壘砲臺水雷衛所其他國防用營造物ヲ測量撮影摸寫錄取スルコト等ナリ

步兵科下士ノ部

問 指揮官トシテ戒ムヘキ件如何

答 爲サ、ルト遲疑スルコトアリ此ノ二ツハ方法ヲ誤リ斷行セルモノアルモ不可ニシテ軍隊ヲ危難ニ陥ラシム

問 下士哨ハ如何ナル地點ニ用ヒラルルヤ

答 特ニ重要ナルカ或ハ交代不便ナル地點ニ用ヒラル

問 巡察ノ任務如何

答 步哨線ヲ監視シ各哨所及步哨ヲ監視シ且ツ步哨ヲ配置セサル土地ヲ搜索シ此隣哨所ト連結ヲ通スルニアリ

問 宿營ノ種類ヲ問フ

答 舍營露營村落露營

問 外衛兵ノ任務

答 宿營地直接ノ警戒ニ任スルモノニシテ常ニ近隣ノ宿營地ト連結ヲ保持スルコトニ注意ヲ要ス

問 内衛兵ノ任務

答 軍機ヲ保護シ間諜ヲ防キ衛生ヲ監督シ安寧秩序ヲ維持スルヲ以テ任トス

問 前哨本隊及前哨中隊ノ主ナル任務ヲ問フ

問 前哨本隊ハ前哨ノ豫備ニシテ敵襲ニ際シ前哨中隊ヲ増援シ要スレハ之ヲ收容ス前哨中隊ハ主要ナル警戒線ヲ形成スルモノニシテ敵襲ニ際シ之ヲ抗拒スルヲ任トス

問 警戒行軍縦隊ノ區分ヲ敵方ヨリ順次述ヘヨ

答 大ナル部隊前衛騎兵尖兵中隊前兵前衛本隊本隊尖兵中隊本隊尖兵本隊
問 歩哨配置スル地點ハ如何ナルトコロヲ選フヘキヤ
答 歩哨ハ成ルヘク十分ナル展望ヲ有シ且ツ敵眼ヲ避ケ得ヘク位置スルヲ要ス特ニ晝間歩哨ノ一人ハ樹木家屋堆上等ヲ利用シ望遠鏡ニ依リテ監視ニ任スルヲ可トス此場合ハ容易ニ敵ニ發見セラレサル爲メ哨所附近ノ物色ト同色ノ物件ヲ以テ歩哨ノ身邊ヲ掩フテ利トスルコトアリ

問 歩兵必須ノ要件如何

答 攻撃精神ノ鞏固體力ノ强健及武技ノ熟練ハ歩兵必須ノ要件ナリ
問 軍旗ニ對シテハ平戰兩時如何ナル信念ヲ有スルヤ
答 大元帥陛下ヨリ「聯隊ハ協同一致シテ君國ヲ護レ」ト勅シテ授ケラレタルモノニシテ聯隊ノ神髓ナリ一度戰場ニ歩ヲ踏マハ軍旗ノ向フ所水火ヲ辭セス軍旗ノ下ニ忠死スル信念ヲ確有セサルヘカラス

問 戰鬥場裡ニ於ケル歩兵ノ本領如何

答 地形及時期ノ如何ヲ問ハス戰鬥ヲ實行シ得ルニ在リ故ニ歩兵ハ縱ヒ他兵種ノ協力ヲ缺クコトアルモ自ラ能ク戰鬥ヲ準備シ且ツ之ヲ遂行セサルヘカラス

問 歩兵ノ攻撃精神ノ鞏固トハ如何ナルコトヲ云フヤ

答 剛膽ニシテ耐忍ニ富ミ沈着ニシテ勇敢ナラサルヘカラス勝敗將ニ岐レントシ戰鬥慘酷ヲ極ムルトキニ於テ毅然トシテ之ニ堪ユルニアリ
問 視ヘ難キ目標ニ射擊セシムル場合ニ於テ補助目標撰定ノ一例ヲ示セ

答 其ノ目標ハ同高ニシテ其ノ前後ニ在ル地物ノ下際ヲ撰定ス
問 指示困難ナル目標ヲ指示スル方法如何

答 目標近傍ノ地物ヲ示シ之ヲ補助トナシ以テ射擊スヘキ目標ヲ指示ス
問 夜襲奏功ノ要訣如何

答 不意ニ敵ニ肉薄シ銃劍ヲ揮ヒ一舉ニ快戰ヲ求ムルニアリ之レカ爲視感ノ不能ヨリ生スル精神ノ疑懼ヲ除去シ聽感ノ鋭敏ヨリ生スル不利ハ靜肅ヲ守リ之ヲ補フヘシ
問 戰鬥間分隊長ノ責務如何

答 分隊長ハ小隊長ヲ補佐シ號令普及ヲ以テ主要ナル任務トス故ニ分隊長ハ所要ニ應ジ中隊長小隊長ノ號令ヲ復令シ其分隊ヲ誘導シ射擊ニ便ナル位置ニ就カシメ常ニ敵情ニ注意シ兵卒能ク地物ヲ利用スルヤ正シク照尺ヲ裝スルヤ目標ノ撰定宜シキヤ精密ニ照準シ沈シテ射擊スルヤ彈藥ヲ浪費セサルヤ能ク指揮官ニ注意スルヤ等ヲ監視スヘシ又必要ト認ムレハ自ラ火線ニ加ハリ射擊ヲ行フヘシ分隊長ハ屢々小隊長ニ代リテ小隊ヲ指揮スルコトアリ特ニ戰鬥ノ酣ナルニ方テハ縱ヒ小隊長現在スルモ屢々自ラ其ノ分隊ノ射擊指揮ニ任セサルヘカラス故ニ地形ノ利用目標ノ判斷射彈ノ觀測及

ヒ距離ノ測定等ニ熟スルヲ要ス
問 散兵ノ一躍シテ經過スヘキ距離ヲ問フ

答 土地ノ景況軍隊情況敵火ノ強弱等ニヨリ一定セスト雖モ可成短キニ失セサルヲ要ス然レトモ百米ヲ超ユルトキハ往々照準ノ精度ヲ害スルニ至ルコトアリ

問 號令ヲ下ス時ノ注意ヲ述ヘヨ

答 部下ヲ驅テ水火ニモ飛ヒ入ラシムヘキモノナルヲ以テ堅確ノ決意嚴肅ノ態度明快ノ音調ヲ以テ發唱セサルヘカラス

問 危險界トハ如何ナルモノナルヤ

答 彈道ノ目標高ヲ超過セサル地界ト長サヲ云フ

問 土地ノ形狀ハ目測ニ如何ナル影響ヲ及ホスカ

答 水平平坦地波狀地特ニ中間ノ土地ヲ通視シ得サルトキ等ハ近ク誤リ易キ森林内或ハ狭キ土地等ハ遠ク誤ル

問 混用照尺ヲ用フル場合及兩種照尺度差異ハ幾何ナルヤ

答 一公里ヲ以テ距離ヲ確知シ難キトキ用フ其ノ差度ハ百米ナリ

問 作業間敵襲ヲ受クルノ虞アルトキハ先ツ膝射散兵壕ヲ構築セシムル方法如何

答 掘土ヲ火線ニ近ク積土シ先ツ自己ノ掩體ヲ作り漸次左右ニ及ホシテ一連トナシ其ノ後更ニ之ヲ越ヘテ投土シ以テ其厚サヲ増加シ完成ニ至ラシム

問 攻撃間モ野戰築城ヲナスコトアルハ何故ナルヤ

答 既ニ占領シタル地區ヲ維持シ或ハ堅固ナル陣地ニ對シ攻撃スルトキ逐次據點ヲ構成シ以テ敵ニ近迫セン爲ナリ

歩兵科兵卒ノ部

問 徒歩傳令使ノ速度如何

答 並ハ速歩(一時間約五吉米)急ハ駈歩ト速歩トヲ混用ス(一時間約六吉米)至急ハ唯近距離ニノミ用フルモノニシテ脚力ノ耐フルニ應シ駈歩ス(一吉米千米突)

問 傳令使出發前如何ナル件ヲ承知セサルヘカラサルヤ

答 受信者及其所在地經路速度(要スレハ到着時刻)傳達後ノ處置

問 口上ヲ以テ命令通報々告ヲ傳達スル時確實ナラシムル方法如何

答 出發前竝歸來後其ノ全文若クハ要旨ニ就キ復唱スルニアリ

問 前衛ハ如何ニ區分セラルルヤ

答 通常前衛本隊前兵及前衛騎兵ニ區分ス但シ小ナル部隊ニアリテハ單ニ尖兵中隊若クハ尖兵ノミヲ出スコトアリ

問 行軍中止ヲ得ス隊列ヲ離ルルヲ要スルトキハ如何ニスルヤ

答 小隊長(小隊長近傍ニアラサル時ハ分隊長)ニ届入テ其ノ許可ヲ受ク

問 斥候ノ任務ノ重大ナル理由及注意スヘキ要件如何

答 斥候ハ軍ノ耳目ニシテ其活動ノ如何ハ實ニ勝敗ノ岐ルル所ナルヲ以テナリ又斥候ハ

常ニ剛膽ナルヲ要スルト同時ニ不意ノ危害ヲ豫防スルタメ細心ノ注意ヲ怠ルヘカラ

斥候カ歩哨線ヲ出入セントスルトキ歩哨ハ如何ニスルヤ

答 歩哨ノ見聞シタル狀況ヲ告ケ斥候ノ受ケタル任務及歸還時刻場所等ノ概要ヲ聴キ又歸來スル斥候ヨリ其見聞セシ事件ヲ聴取スルモノトス

歩哨ノ守則ハ幾種アルヤ

答 一般守則ト特別守則ノ二アリ

歩哨特別守則トシテ授ケラルル事項ヲ問フ

答 1、其ノ歩哨ノ番號

2、敵情

3、敵方ニアル我部隊及斥候ノ情況

4、特ニ監視スヘキ區域及必要ナル道路村落等ノ名稱

5、隣歩哨ノ位置番號及之レトノ連絡法

6、小哨並ニ前哨中隊ノ位置及之レトノ連絡法

一般守則及特別守則ハ如何ナル差アルヤ

答 一般守則ハ常ニ守ルヘキ規定ニシテ特別守則ハ其場合毎ニ異ルモノナリ

歩哨ノ任務ノ重大ナル所以ヲ問フ

答 歩哨ハ最前線ニアリテ我休止ノ軍隊ヲ安全ナラシムルヲ以テ精神ヲ奮勵シ監視ヲ嚴

密ニシ警戒ヲ怠ルヘカラス萬一警戒ヲ怠ルカ如キコトアルトキハ之レカ爲メ延テ全軍ノ安危ニ關スルカ如キニ至ルコトアルヲ以テナリ

歩哨ノ種類ヲ問フ

答 復哨(二人乃至四人)下士哨トス

歩哨カ高所ト底地ニ位置スルトキノ利害ヲ問フ

答 高所ニアル歩哨ハ火光焰氣ヲ視響音ヲ聴クニ利益アリ夜間底地ニアルモノハ敵ヲ空際ニ透視シ得ルニ利アリ

前哨ノ區分如何

答 前哨ハ通常分チテ前哨本隊及前哨中隊トス(前哨騎兵ノナクナリシニ注意スヘシ)

下士哨ノ兵力及動作ノ概要ヲ述ヘヨ

答 下士哨ノ人員ハ其任務ニヨリ差異アリト雖モ少ナクモ下士(時宜ニヨリ上等兵)一人兵卒六人ヲ以テシ通常其ノ二人ハ監視ニ任シ殘餘ハ直接其ノ近傍ニ位置シテ成ルヘク遮蔽シアルヲ要ス但シ銃ハ必ス手ニシアルヘシ

歩哨敵ニ關シ發見セシコトアラハ如何ニスルヤ

答 速ニ其一人ハ小哨ニ報告スヘシ若シ猶豫セハ危殆ニ陥ルト認メシトキハ連續數發ノ射撃ヲナシテ警戒シ且ツ其一人ハ小哨ニ報告スヘシ而シテ敵ノ單獨兵又ハ數人ヨリ成ル斥候ノ如キハ之ヲ射殺又ハ捕獲スルコトヲ圖ルヘシ

小哨長以下警戒ニ任スルモノハ如何ナル心懸ケ必要ナルカ

答 最前線ニアリテ警戒ニ任スルモノニシテ普通前哨ハ戦闘或ハ行軍後ニ服務スルモノナレハ精神ヲ奮勵シ之ニ打テ勝チ以テ任務ヲ達セサルヘカラス

問 歩哨ノ射撃スル場合ヲ答ヘヨ

答 敵襲其他猶豫セハ危殆ニ陥ルト認メシトキ敵斥候等ヲ射撃又ハ捕獲セントスルトキ晝間歩哨線ノ通過ヲ許スモノハ如何ナルヤ

問 晝間歩哨線ノ通過ヲ許スモノハ如何ナルヤ

答 我軍ノ將校部隊斥候及傳令右以外ノモノハ凡テ小哨長ノ指示ヲ受ク

問 歩哨ハ何故別命ナクシテ座臥スル能ハサルヤ

答 歩哨ハ疲勞スル後立ツモノナレハ若シ座臥セハ自然眠氣ヲ催スニ至リ任務ヲ忽ニスルニ至ルヘケレハナリ

問 歩哨ノ銃ノ持チ方如何

答 晝間ハ腕ニ銃立銃提銃夜間ハ提銃腕ニ銃擔銃トス

問 歩哨ハ何故晝間擔銃夜間ハ立銃ヲナス能ハサルカ

答 晝間擔銃ヲナシ能ハサルハ敵ニ發見サレサル様夜間立銃ヲナシ能ハサルハ銃ニ倚リテ眠ルヲ防ク爲ナリ

問 行軍力ノ大ナルコトハ何故大切ナルヤ

答 軍隊カ戰場ニ至ル迄ハ行軍ヲナシ行カサルヘカラス而シテ行軍力ノ弱キモノハ常ニ總テノ行動遅レ準備整ハサルニ既ニ擊破セラレルニ至ル故ニ行軍力ノ強キモノハ既ニ勝利ノ第一歩ヲ占メタルモノナリ殊ニ我國ノ如キハ將來常ニ優勢ナル敵ト戰ハサルヘカラスナル國ニアリテハ敵ノ準備セサル前ニ擊破シ得ル様行軍力ノ強キコトハ最も必要ナリ

問 舍營及露營中警報アリタルトキハ如何ニスルヤ

答 舍營ニアリテハ武装ヲ整備シ先ツ小隊(分隊)ニ集合シ然ル後テ速ニ中隊集合地ニ至ル

問 露營ニアリテハ速ニ背囊ヲ負ヒ又銃線ニ集合ス

答 報告スヘキ時機如何

問 報告時機ハ情况ニヨリ一定シ難シト雖モ初メテ敵ヲ發見シタルトキ有力ナル部隊殊ニ歩兵ト遭遇シタルトキ敵ノ占領ヲ豫想シタル陣地等ニシテ敵ノ未タ之ヲ占領セサルトキ及其目的又ハ一任務ヲ達成シタル時等ハ必ス報告スヘキモノトス

問 報告記載ノ要旨

答 報告者自ラ目撃セシコト他人ノ實見セシコト他人ノ聞知セシコトト又唯推測ニ依ルコト、ヲ判然區別シ受報者ノ判斷ニ便ニスヘシ

但シ推測ニ依ルコトハ往々受報者ニ意外ノ印象ヲ與フルコトアルヲ以テ常ニ其ノ理由ヲ附スヘシ

敵兵ニ關スル件ハ其兵種員數時刻先頭或ハ後尾等ノ位置及動作ヲ記シ尙單ニ優勢ナル敵或ハ敵ノ大縱隊等ノ漠然ナル字句ハ誤解ヲ生シ易キヲ以テ勉メテ之ヲ避クルヲ要ス

問 隊綱帶所トハ如何

答 衛生隊未タ到着セス又ハ遠隔シアルトキハ歩兵隊ハ隊附衛生部員及衛生材料ヲ用ヒ開設スル傷者救護所ナリ

問 携帶彈藥ハ何發ナルヤ

答 百二十發

問 銃前哨及其ノ報告法如何

答 前哨中隊又ハ小哨等ノ直接警戒ヲ成ス步哨ニテシ通常其位置ヨリ報告ス

問 小哨ニ在ル下士兵卒ノ動作ヲ問フ

答 小哨長ノ命令ニ依リ背囊ヲ卸スヲ得然レトモ帶革(銃劍彈藥盒共)雜囊及水筒ハ各自常ニ身体ニ纏フヘシ小哨ニ在ルモノハ夜間睡眠セサルヲ本則トス但シ時宜ニ依リ下士兵卒ノ一部ヲシテ假眠セシムルコトヲ得任務ノ爲メカ或ハ許可ヲ得ルニ非ザレハ一人ト雖モ小哨ヲ離ルルヲ得ス

問 軍使及降參人 對シ步哨ハ如何ニ取扱フヘキヤ

答 步哨線ニ止メ小哨長ニ報告シ其指示ヲ受ク但シ降參人ニシテ武器ヲ携帶シアルトキハ先ツ之ヲ放棄セシム

問 步哨ハ如何ニシテ交代スヘキモノナルヤ

答 步哨交代ハ新舊兩兵敵ノ方向ニ面シテ位置シ新步哨ニ其服務中見聞セシ事件ヲ傳告スヘシ

但シ此交代ハ必ス步哨掛ノ立會ヲ要ス

問 携帶口糧ノ品目及使用スル時期如何

答 1、各人精米一日分(六合)(甲)乾麵麩一日分(百八十匁)(乙)及副食物(罐詰肉四〇匁食鹽六匁)ニシテ背囊ニ收容ス

2、他給與ノ途ナク方法モナク已ムヲ得サルトキニ非サレハ之ヲ使用スヘカラス

問 隊綱帶所及綱帶所ハ如何ナル標識ヲ用フルヤ

答 赤十字旗ト國旗トヲ併セ植テ其位置ヲ標ス而シテ夜間ハ更ニ赤十字燈ヲ掲ク

問 戰線ニ於テ戰友負傷スル時列中ニ在ルモノハ如何ニスルヤ

答 列中ニ在ル下士卒ハ將校ノ命令ニ非サレハ傷者ヲ送致スルコトニ關ス可カラス而シテ之ヲ送致セシトキハ躊躇セス戰線ニ復歸シ其送致ノ命ヲ受ケタル上官ニ申告スヘシ

問 突撃ニ關シ銘肝スヘキ件如何

答 中隊ノ精神的團結ノ鞏固ヲ瞬間ニ發揚スル覺悟ヲ以テ猛烈果敢ニ敵陣ニ突入シ滿身ノ勇ヲ奮ヒ敵ヲ殲滅セサルヘカラス

問 一回ノ突撃ニシテ奏効セサル時ノ覺悟如何

答 一回ノ突撃ニシテ効ヲ奏セサル時ハ再三再四突撃ヲ反覆シ死力ヲ盡シ奮進セハ如何ニ頑強ナル敵ト雖モ遂ニ之ヲ敗滅ニ陥ラシムルコトヲ得ルモノナリ

問 歩兵ハ戰鬪ノ主兵タル所以ヲ問フ

步兵如何ナル地形及ヒ如何ナル時機ニ於テモ獨方ヲ以テ戰鬪シ得ヘク且ツ火戰及白兵戰ヲ交フルヲ得ルモノニシテ戰場ニ於テ常ニ主要ノ任務ヲ負擔シ戰鬪ニ最終ノ決ヲ與フルモノナルヲ以テナリ

問 散兵停止スル時ハ如何ニ注意スヘキカ

答 銃ノ最大威力ヲ現ハシ得ヘキ位置ヲ撰ヒ次テ身体ノ遮蔽ニ注意ス但シ之レカ爲メ停止ニ際シ躊躇スヘカラス

問 散兵地物利用ノ要旨

答 射撃ノ効力ヲ主トシ次ニ遮蔽ノ効用ヲ顧慮スルニアリ故ニ小ナル土塊一寸ノ凹凸ト雖モ之レカ利用ヲ忽セニスヘカラス

問 散兵線ノ運動ニ於ケル基準ヲ問フ

答 散兵ハ分隊長ヲ分隊長ハ小隊長ヲ小隊長ハ中隊長ハ中隊長ノ中央ヲ基準トシテ行進ス

問 彈藥節用ノ注意ヲ述ヘヨ

答 火戰ノ初メヨリ其攜帶彈藥ニ限リアルコト及若干ノ彈藥ヲ射耗セハ其戰鬪能力ノ若干ヲ蕩盡スルモノナルコトヲ銘肝シ必ス一發一人ヲ倒スヲ期シ發射スルコト必要ナリ

問 彈藥ヲ射盡シ又ハ敵ノ重圍ニ陥リタルトキハ如何ニスルヤ

答 自己ノ銃劍ニ信賴シ最後ノ勝利ヲ求ムルコトヲ勉ム若シ劍折レナハ腕力ヲ以テス

問 負傷シテ戰鬪スル能ハサルトキハ如何ニスルヤ

其所有スル彈藥ヲ戰友ニ渡シ上官ノ命ヲ待テ徐ニ戰線ヨリ退クヘシ尙戰鬪ニ堪ヘ得ヘキ輕傷ニシテ恣ニ戰線ヲ去ルハ卑怯ノ行爲ニシテ軍人ノ本分ヲ傷ツクルモノトス

問 數個中隊相混淆シ新ニ區分セラレタルトキハ兵卒ハ如何ニスルヤ

答 所屬分隊長ノ指揮ヲ受ケルト同時ニ最寄分隊長ノ指揮ヲ受ケ

問 戰鬪間所屬部隊ノ所在ヲ失ヒタルトキハ如何ニスルヤ

答 直チニ近傍ニ於テ戰鬪スル部隊ニ合シ其將校ニ届出シ其命ニ從フヘシ而シテ戰鬪終レハ直ニ其所屬部隊ニ復歸スルヲ要ス

問 風ハ射距離ニ如何ナル影響ヲ及ホスヤ

答 後方或ハ前方ヨリ來ル風ハ射距離ヲ増減シ側方ヨリ來ル風ハ彈丸ヲ側方ニ偏セシム其量ハ射距離及風速ノ増加スルニ從ヒ益々大ナリ

問 光線ノ射撃ニ及ホス關係ヲ問フ

答 光線上方ヨリ照星ヲ照ストキハ射手ノ眼中ニ映スル視像大トナルヲ以テ自然照星ヲ低ク照門内ニ現ハシ射距離ヲ減ス側方ヨリ照ス時ハ照星ヲ輝ス方ノ視像他ノ一方ヨリ膨大スルヲ以テ自ラ照星頂ヲ一側ニ偏シテ照門内ニ現ハシ彈丸ヲシテ暗黒ナル方ニ偏セシム

曇天曉暮等總テ照星ヲ視ルコト明瞭ナラサルトキニ在リテハ自然之ヲ高ク現ハシ從テ射距離ヲ増大ス

問 單獨射撃ニ於テ約半數以上命中ヲ期シ得ル標準如何

二百米以内 頭ノミ現ハシタル兵

三百米 伏姿兵

四百米 膝姿兵

五百米 立姿兵或ハ密集セル二人膝姿兵

六百米 密集セル二人立姿兵或ハ騎兵

問 距離目測ニシテ遠ク見誤リ易キ場合如何

答 炎熱ノ時測手太陽ニ面セルトキ目標其背後ノ物色ノ關係ニ依リ鮮明ナラサルトキ曇天濃霧曉暮森林内及狹長ノ土地等

問 射擊軍紀トハ如何

答 射擊軍紀トハ戦闘動作中射撃ニ關スル命令ト動作ヲ確實ニ實行シ銃ノ使用法ヲ嚴守スルヲ云フ

問 三八式歩兵銃ノ射程及侵徹量ハ大凡幾何ナルヤ

答 最大射距離ハ四千米ニシテ其侵徹量ハ四百米ニ於テハ尋常土ハ一米一〇乾燥セル松

問 距離測量法及種類ヲ問フ

答 距離測量法及種類ヲ問フ

問 目測歩測音響測量器機測量法等ナリ

答 兵器ハ何故尊重愛護セサルヘカラサルカ

問 如何ニ忠君愛國ノ精神アルモ如何ニ射撃上手ナルモ兵器ノ保存惡ケレハ命中セシム

答 如何ニ忠君愛國ノ精神アルモ如何ニ射撃上手ナルモ兵器ノ保存惡ケレハ命中セシム

ルコト能ハス從テ其任務ヲ達成シ得ル能ハサルナリ即チ兵器ハ軍人ノ生命ニシテ吾等ハ之レヲ缺ケハ軍人ノ資格ナキニ至ルモノトス昔ノ武士小刀ヲ魂トシテ尊重セルモ全ク之レカ爲ナリ

問 歩兵ハ何故射撃ノ熟達ヲ要スルヤ

答 射撃ハ戦闘經過ノ大部分ヲ占メ歩兵ノ爲メ緊要ナル戦闘手段ナリ故ニ射撃技能ノ精熟ハ歩兵ノ戦闘任務ヲ達成スル爲メ必須ノ要件ナリトス

問 單一銃ニテ射撃スル時照尺及照準點選定ノ要領ヲ述ヘヨ

答 示サレタル目標ノ中自レニ對向スル部分ニテ比較的明瞭ナルモノヲ射撃ス

問 散兵射撃ニ於テ何故示サレタル目標中自レニ對向スル部分ヲ射撃セサルヘカラサルカ

答 敵線ノ一部ニ射撃ヲ送ラサレハ其ノ部分ノ敵ハ沈着シテ射撃スルヲ以テ一部ト雖モ射撃ヲ被ラサルモノナキ様ニスル爲ナリ

問 敵ノ散兵線ノ後方ニ近ク密集部隊現ハレタル時ハ直ニ之ヲ射撃スルカ

答 ナサス是散兵線ニ指向サレタル集束彈ニテ併シテ効力ヲ期シ得ルヲ以テナリ

問 散兵壕ノ種類及普通用フル散兵壕ヲ問フ

答 立射膝射ノ二種アリテ通常立射散兵壕ヲ作ルヲ通則トス故ニ準備セル陣地ニ於テ常ニ之ヲ構築スルハ勿論時機切迫ノ際構築シタル掩體ト雖情況之ヲ許スニ至レハ立射散兵壕ニ改築スルモノトス

問 障碍物ヲ作ル目的

障碍物ヲ作ル目的

障碍物ノ目的ハ最モ有効ナル射程内ニアリテ敵ノ前進ヲ阻支シ又奇襲ヲ防遏スルニアリ

障碍物中最モ多ク使用セラルルモノ如何

鐵條網鹿柴

立射散兵壕ノ各尺度ヲ問フ

照準高 一米三〇 胸牆ノ厚サ 一米

臂座ノ巾 〇米三〇 同高 〇米二〇

壕底ノ幅 〇米八〇 正面一人ニ約二歩

膝射散兵壕ノ各尺度ヲ問フ

照準高 〇米八〇ノ外立射ニ等シ(伏射ニアリテハ照準高〇、三〇トス)

敵火ノ下ニ在リテスル作業法ヲ述ヘヨ

器具ヲ協同シテ却シ小圓匙ヲ有スル散兵ハ銃ヲ後方近クニ置キ伏臥シテ先ツ自己ノ

伏射用ニスル 〇米三〇ヨリ高カラサル個々ノ掩體ヲ設ケ其ノ中ニ入り小圓匙ヲ有セ

サル隣兵ニ之ヲ貸シ順次斯クノ如クシテ一連ノ掩體ヲ成形シ必要ニ應ジ増築ス

夜間作業ニ於ケル注意ヲ述ヘヨ

夜間ハ音響ヲ聴取スルニ便ナルヲ以テ談話ハ元ヨリ器具ヲ觸轉セサルコトニ注意シ

敵ヨリ察知セラレサルコト必要ナリ又手前ヲ嚴守シ危害ヲ豫防セサルヘカラス

機關銃ノ主要ナル任務

勝敗將サニ岐レントスル時機ニ於テ我歩兵ヲ援助シ其目的ヲ遂行セシムルニ在リ

攻撃防禦ニ於ケル機關銃ノ主要ナル任務

攻撃ニ於テハ決勝ノ時機ニ於テ歩兵ノ突撃ヲ援助スルニ在リ又防禦ニ在リテハ歩兵

攻撃移轉ヲ援助シ敵ノ突撃ヲ撃退スルニ在リ

機關銃手ノ戰闘ニ方リ酷心スヘキ要件ヲ問フ

兵卒ハ敵ノ猛烈ナル集團火ヲ被ムル場合ニ在テモ堅忍不拔能ク沈着シテ業務ニ服シ

殊ニ銃手ノ大部ヲ損失スルモ決シテ喪心疑懼スルコトナク假令最後ノ一人トナルモ

百方手段ヲ盡サハ尙有効ニ銃ヲ操作シ得ルモノナルコト之ナリ

機關銃ノ効力ヲ問フ

機關銃ハ其射程及彈丸ノ効力歩兵銃ト同一ナリト雖モ發射速度ノ迅速ナルト集束彈

道ノ凝集スルトニ由リ熾盛ナル火力ヲ小區域ニ集中シ速ニ突貫的効力ヲ奏スルコト

アリ

通信手ノ通信ヲナスニ方リ心得ヘキ件ヲ問フ

通信手ハ能ク通信器材ノ性能ヲ熟知シ其ノ用法ヲ誤ラサルヲ要ス又送信スヘキ通信

文若クハ受信セルモノハ其儘之ヲ傳達シ決シテ臆測ヲ以テ之ヲ修正加除スル等ノ事

アルヘカラス

手旗信號手ノ通信ヲナスニ方リ心得ヘキ要件如何

手旗信號ヲ確實ナラシムルハ原畫ノ現示正確ナルニ基ク故ニ原畫ハ充分嚴密ニ表示

問 シ如何ナル場合ニ在リテモ其正確ヲ失ハサルコト肝要ナリ
通信勤務ニ従事スル者ノ覺悟如何

答 通信勤務ニ従事スルモノハ特ニ戰場ニ於テ通信ノ用途廣ク且緊要ニシテ其良否ハ全
軍ノ勝敗ニ關スルコトアルヲ深ク肝銘シ敢爲確實ニ其任務ヲ竭ササル可ラス尙ホ嚴
ニ祕密ヲ守リ決シテ他言スヘカラス

問 通信器具ニ對スル心得ヲ問フ

答 通信器具ハ精巧ニシテ破損シ易キヲ以テ特ニ保存及取扱ニ注意シ使用ニ當リ遺憾ナ
キヲ期セサルヘカラス

問 中被覆線幾卷ヲ以テ幾何ノ距離ニ架線シ得ヘキヤ又一時間ノ架設及撤收ニ要スル速度
ヲ問フ

答 一卷五百米ニシテ二卷即チ一杆ヲ以テ普通ノ地形ニ於テ八〇〇米ヲ架設シ得ヘク又
二時間ニ架設及撤收ニ要スル工程ハ共ニ約四杆ノ速度トス

衛生法救急法ニ就テ

問 創ヲ繙帶スルハ何ノ爲カ

答 病原菌カ創ヨリ入ラサル爲ナリ

問 繙帶包トハ如何ナルモノナルヤ

答 三角巾一枚、昇汞ガーゼ四枚、ガーゼ包紙二枚及被包布一枚ヨリ成ル

問 ガーゼ使用ノ注意ヲ問フ

答 1、一度開キタルモノハ一時ニ用フルコト
2、傷口ニ當テル部分ニ指ヲ觸レサルコト

問 指ノ止血法ヲ問フ

答 傷キタル指ノツケ根ノ兩側ヲ強ク握ル

問 手又ハ前膊ヨリ出血スルトキノ止血法

答 二ノ腕ノ瘤ノ内側ナル淺キ溝アル處ニ拇指ヲアテ他ノ指ヲ後ニ廻シ握リ拇指ニテ強
ク壓ス

問 傳染病豫防法ノ心得ヲ問フ

答 豫防ノ第一要義ハ總テ清潔ヲ保持スルニアリ即チ室内被服寢具身体ハ常ニ清潔ニシ
殊ニ手ヲ屢々洗ヒ手拭ヲ混用スルコトナク咳アル人ニ近ツカス献酬ヲ禁シ人ノ烟管
等ヲ使用スルコトナク食器ヲ煮沸シ飲食物ニ注意シ室内ノ通氣ヲ好クシ時々被服等
ハ日光ニ晒シ消毒乾燥スルニアリ

問 凍傷ノ豫防並凍傷ニ罹リタルトキノ處置如何

答 豫防法ハ軟膏類(油類)ヲ耳、鼻、手ノ指足趾等ニ塗ルヘシ而シテ濕潤ヲ防キ適宜運動
或ハ摩擦ヲナシテ血ノ環リヲ好クスヘシ既ニ凍傷ニ罹リテ紫色ニナリタルトキハ雪
氷若クハ冷水ニテ輕ク永ク摩ルヘシ水泡ヲ生シ又ハ暗黒色ヲ呈スルトキハ薄皮ヲ破

ルコトナクガーゼニテ掩ヒ繃帶スヘシ若シガーゼナキトキハ新シキ布片ニ清潔ナル油ヲ塗り掩フヘシ指ハ一本毎ニ繃帶スヘシ

問 日射病(喝病)ノ豫防法及救急法

答 日射病ハ發汗甚シク皮膚熱シ顔面赤ク或ハ蒼ク呼吸促迫シ終ニ人事不省ニナリテ倒ル之ヲ救フニハ涼キ木蔭或ハ屋内ニ移シ衣服ヲ解キ上半身ヲ高クシテ安臥セシメ冷水ヲ手布ニ浸シ顔胸ヲ被フヘシ猶醒覺セサルトキハ冷水ヲ顔面胸部等ニ灌キ或ハ香高キモノ例ヘハ酢ブランデーノ如キモノヲ嗅カシメ或ハ鼻腔咽等ノ粘膜ヲ刺戟スヘシ

又呼吸止ミタルモノニハ人工呼吸法ヲ行フヘシ而シテ専ラ安靜ニ看護シ軍醫ノ指揮ナク猥リニ動かス事アルヘカラス

日射病ノ豫防ハ飲料水ノ供給ヲ豊富ニナシテ行軍演習ノ前晚ハ充分心身ノ休養ヲナシ酒淫ヲ慎ミ元氣旺盛ナルヲ要ス

問 血止メハ如何ニナスヤ

答 1、少シツツ血出ルトキハ創部ヲ高舉シ壓繃帶ヲ施ス
2、少シ多クノ出血モ(1)ノ方法ヲ止ラサル時ハ創ヨリ心臟ニ近キ關節ノ(四肢ニテ)屈側ニ丸メタル布片ノ類ヲ挟ミ關節ヲ強ク曲ケテ固定スルモ可ナリ
3、尙止ラサルカ或ハ稍大ナル出血ニハ指ニテ創ト心臟ノ間ニテ血管ノ皮下ニ近キ部ヲ骨ニ向ヘテ押壓スルカ或ハ紐ノ類ニテ縛ル可シ而シテ衛生部員ノ來ルヲ待ツ

騎兵科下士ノ部

問 騎兵ノ性能如何

答 騎兵ハ主トシテ搜索勤務ニ服シ又馬ノ速力ト衝突力トヲ利用シ敵ヲ襲撃シ時トシテ歩兵ノ如ク騎銃ヲ以テ徒歩戦ヲナシ敵ヲ攻撃スルコトアリ其ノ他通信連絡及破壊ノ諸勤務ニ服ス

問 徒歩戦ノ際ニ於ケル右翼分隊長ノ任務如何

答 右翼分隊長ハ戦闘ニ參與セス專ラ手馬ノ指揮監督ニ任シ終始散兵トノ連絡ニ注意ス襲撃ノ際ニ於ケル分隊長ノ注意スヘキ要件如何

答 部下ヲ列中ヨリ脱逸セシメサル如ク自己ノ位置ヲ固守シテ中隊ノ團結ヲ確保シ敵方ハ元ヨリ特ニ指揮官ニ注意シ適當ノ隊形ヲ保チ之ニ跟随セシムルヲ緊要トス

問 前衛騎兵ト騎兵隊トノ區別如何

答 前衛司令官ニ屬スルヲ前衛騎兵ト云ヒ本隊指揮官ニ直屬スルヲ騎兵隊ト云フ

問 警戒行軍ニ於ケル軍隊指揮官ハ通常ノ場合軍隊區分ノ何レノ隊ニ位置スルヤ又敵ニ近接スレハ何レニ位置スルヤ

答 通常ノ場合ハ本隊ノ先頭ニ敵ニ接近セハ前衛本隊ノ先頭又ハ時トシテ尙前方ニ進出スルコトアリ

問 地形搜兵ト戰鬥斥候トノ差異如何

答 地形搜兵ハ襲撃前中隊進路ノ前方ニ於ケル地形ヲ偵察シテ報告シ中隊襲撃ヲ行フニ至レハ突入前其ノ正面ヲ避ケテ速カニ中隊ニ合ス戰鬪斥候ハ中隊ノ側方ニ在リテ其ノ行動ニ伴ヒ不意ノ敵襲ヲ警戒シ中隊襲撃ヲ行フモ尙監視ヲ續行ス

問 遞騎哨ハ如何ナル場合ニ設置セラルルヤ

答 一、距離遠大ナル兩地間ニ通信頻繁ニシテ而モ電信線又ハ電話線等ノ設置ナキトキ
 二、右ノ場合ニ於テ假令電信電話等ノ設置アルモ其ノ通信十分確實ナラサルトキ
 三、彼此遠隔セル行軍縱隊ヲ連絡スル時等ニ設ケラル

問 遞騎線路ニ接シタル獨立家屋等ニシテ認識シ易キ所ヲ可トス而シテ住民ノ向背疑ハシキ大村落ハ成ヘク避クルヲ要ス

答 斥候隊トシテ出發前準備スヘキ要件如何

- 一、人馬ノ選定
- 二、蹄鐵ノ檢査
- 三、報告記載ニ要スル諸準備等
- 四、地圖ニヨリ經路及躍進地點ノ選定
- 五、宿營ニ要スル諸準備等

問 騎兵中隊カ前哨ニ任セラレタルトキハ通常如何ナル警戒部隊ニ區分セラルルカ

答 前哨騎兵中隊騎哨下士哨ニ區分セラル特ニ緊要ナル時小哨ヲ設ケラル小哨ヨリモ亦

騎哨下士哨ヲ出ス

問 潜伏斥候ハ如何ナル地點ヲ選ムヲ要スルカ又如何ニ動作スヘキモノナルカ

答 敵ノ地方ヨリ通スル主要ナル道路ノ近傍ニ潜伏シ敵ノ運動我軍ニ危險ヲ生スヘシト認ムル時急射撃ヲ以テ急報ス騎哨ハ步哨ノ如ク小ナル敵ニ對シ之ヲ誰何シ又ハ之ヲ射撃スヘキモノニアラス

問 下士哨ノ警戒法如何

答 下士哨自ラ警戒スルモノニシテ小哨ノ如ク步哨ヲ前方ニ派遣スル等ノコトナシ

問 鐵道ヲ破壊スルニハ如何ナル處ヲ選定スルカ

答 敵ノ發見困難ニシテ且修繕ノタメ多大ノ勞力ト時間トヲ要スル地點ヲ選定スルヲ可トス例ヘハ隧道鑿開道彎曲部鐵橋等ノ如シ

問 蹄ノ保護法ヲ述ヘヨ

答 適度ノ運動ヲ與ヘ蹄ノ機能ヲヨクスルコト裝鐵ヲ行ヒ諸種ノ運動ヨリ生スル蹄ノ毀損ヲ豫防スルコト常ニ清潔ナラシメ塗油ヲ施ス等ナリ

問 馬ニ收縮姿勢ヲ取ラシムル扶助如何

答 韁ヲ齊シク保持シ腰ヲ張り脚ヲ以テ韁ニ對シテ馬ヲ壓シ出シ韁ヲ輕ク控ヘツツ馬ヲシテ正シク銜ヲ受ケ頭ヲ髻甲ニ對シテ縮メ頂ヲ屈撓シ後脚ヲ踏ミ込ミ其ノ身長ヲ短縮セシム

問 内方姿勢ハ如何ナル場合ニ取ラシムヘキヤ

問 輪乘回轉卷乘駢步出發旋回(前肢及後脚旋回)等ノ運動ヲ行フ際其ノ運動ノ準備姿勢トシテ取ラシム

問 大勒銜及小勒銜ノ効驗如何

答 大勒銜ハ銜受ニ感セシメ主トシテ馬ニ姿勢ヲ與ヘ且步度ヲ制限スルモノニシテ小勒銜ハ主トシテ口角ニ操作シ以テ馬口ヲ調和シ馬ニ方向ヲ與フルモノナリ

問 劍術ノ目的如何

答 白兵ノ使用ニ習熟セシメ特ニ剛健ナル氣力ヲ養生スルニ在リ

騎兵科兵卒ノ部

問 騎兵ハ他兵種ヨリ特ニ剛膽ニシテ且機敏ナラサルヘカラス其ノ理由如何

答 騎兵ハ一兵卒ト雖軍ノ最前線ニ在リテ單獨ノ任務ニ服スルコト多シ故ニ右ノ性能ヲ必要トス

問 地形搜兵トシテ前進中障礙ニ遭遇セハ如何ニスルカ

答 刀ヲ垂直ニ高ク舉ケ然ル後通過シ得ヘキ方向ニ水平ニ出シ以テ通過シ得ヘキ方法ヲ後方部隊ニ報告ス

問 乘馬傳令ノ速度ニ幾種アリヤ

答 並、急、至急ノ三種アリ

問 右各種步度ノ速度如何

答 並ハ概ネ三分ノ一ノ步度(常歩ニ速歩一ノ割合ニシテ一時間約八吉米)急ハ概ネ三分

ノ二步度(常歩一速歩二ノ割合ニシテ一時間約十吉米)至急ハ馬力ノ耐フルニ應シ成ルヘク迅速ナル步度ヲ用ヒ戰場及約二十吉米以内ノ距離ニノミ應用スヘキモノトス

問 三分ノ一及三分ノ二ノ步度トハ如何ナル步度ナリヤ一例ヲ舉ケヨ

答 五分間速度十分間常歩ノ步度ハ三分ノ二十分間速歩五分間常歩ハ三分ノ二ノ步度ノ一例ナリ

問 戰時武裝ヲナシタル馬ハ平均幾何ノ速度ニ堪ヘ得ルカ

答 連續四十分時ノ速歩ニ堪フルヲ得

問 傳騎途中橋梁ナキ河川ニ遭遇シタルトキハ如何ニスルカ

答 速ニ徒涉場ヲ偵察シ渡河ス若シ徒涉場ヲ發見スルコト能ハサルトキハ水馬術若ハ舟筏等ニ依リ渡河ス

問 渡河後ハ如何ニスルヤ

答 渡河ノ爲要セシ時間ハ渡河後馬ノ速力ヲ以テ之ヲ償フ

問 常歩、速歩、駢歩及伸暢駢歩ノ步度如何

答 一分間ニ常歩ハ百米突速歩ハ二百米駢歩ハ三百十米伸暢駢歩ハ四百二十米ナリ

問 蹄鐵ノ檢査法如何

答 蹄ノ表面ニ現ハレタル釘尖ノ數及其ノ狀態ニ注意シ次ニ蹄裏ニアル釘頭ノ數及其ノ狀態ヲ調フ

以上異狀ヲ認メタルトキハ鐵尾ヲ取り之ヲ動カシ直ニ改装ヲ要スルヤ尙若干ノ時間ノ行進ニハ差支ナキヤヲ確ム

問 爆發罐ハ如何ナル場合ニ使用スルカ

答 鐵道橋梁其ノ他建築物ノ破壞樹木ノ伐倒等ニ用フ

問 騎兵カ馬上ニ於テ射撃ヲ爲スハ如何ナル場合ナルカ

答 銃聲ヲ以テ報告ニ換フル場合敵ヲ威嚇スル場合ナリ

問 拍車ヲ使用スル場合如何

答 脚ノ壓迫ニ從ハサル場合一時最大ノ勞力ヲ要求スル場合惡意ヲ以テ扶助ニ從ハサル馬ヲ懲戒スル場合等ナリ

問 普通馬ノ蹄ニ生スル病名如何

答 蹄又腐爛蹄葉炎裂蹄等ナリ

問 騎兵行軍中馬ノ蹄葉炎(古キ兵卒ハ或ハ蹄充血ト云フ)ハ何ノ原因ヨリ來ルヤ

答 飲水ノ不足、過劇ノ歩度、硬質ノ土地ニ於ケル急速度、不規則ナル行進速度

問 馬ニ乘ルニハ何故騎坐カ確實ナラサルヘカラサルカ

答 騎坐堅確ナラサレハ温和ニ馬ヲ御シ巧ニ武器ヲ使用スルコト能ハサレハナリ

問 切藁ハ如何ニ効益アルヤ

答 麥ヲ充分齧嚼シタル後嚙下セシムルノ利アリ

野砲兵下士ノ部

問 野砲兵ノ本領トハ如何

答 輕捷ナル運動ト威力強大ナル射撃トヲ以テ戦闘スルニアリ

問 砲兵戦闘ノ遂行ニ缺クヘカラサル要件如何

答 軍紀ノ嚴肅攻撃精神ノ鞏固志氣ノ旺盛体力ノ強健射撃及馭法ノ精熟ナリ

問 射撃ノ號令ハ如何ナル順序ニ從フモノナルヤ

答 概ネ彈種方向角信管ノ種類信管修正量距離發射(彈種ニ關スル號令ナキトキハ榴霰彈ヲ裝填ス信管ノ種類ニ關シテ特ニ號令ナキトキハ曳火信管ヲ用フルモノトス)

問 放列布置ノ際中隊長及傳令馬ノ位置如何

答 中隊長之ヲ示ス否サレハ中隊ノ翼後ニテナルヘク遮蔽シ中隊長ニ近ク位置ス

問 戰鬥間彈藥小隊長ノ位置如何

答 通常中隊段列ヨリ來ル彈藥車ノ傍ニ位置ス

問 某方向ニ對シ最低表尺ヲ測定スルニハ如何ニスルヤ

答 表尺ヲ滿下シ遮蔽物ノ頂上ヲ照準シ然ル後高低水準器ノ氣泡ヲ中央ニ導ク如ク表尺ヲ抽キ出シ坐筒上縁ニ一致スル距離ヲ讀ミ之ヲ其時取リアル高低角ト共ニ報告ス

問 射撃間砲車長ハ如何ナルコトニ注意スルヤ

答 照準具信管廻ノ裝定照準ヲ監視シ且閉鎖機駐退及後坐尺其他材料ノ各部ニ注意ス

問 砲車長ノ發射セシムル場合

答 「速ク撃テ」各個ニ撃テ及一門試射ノ場合

問 標定點ニハ如何ナルモノヲ撰定スルヤ

答 成ル可ク遠ク其ノ發見照準容易ニシテ射向ニ近ク且煙滅ノ虞ナキモノ

問 方向照準ニ於テ特ニ注意スヘキ要件如何

答 操作ノ順序ヲ誤ラサルコト照準線ヲ所望ノ點ニ導ク爲轉把ノ旋回方向ヲ誤ラサルコト二番四番ノ連撃操作ニ習熟スルコト

問 火砲ニ對スル觀念如何

答 火砲ハ砲兵唯一ノ武器ニシテ戰場ニ於ケル砲兵ノ重大ナル任務ハ皆之ニヨリテ遂行セラル、モノトス故ニ之ヲ尊重擁護シ死生榮辱必ス之ト俱ニスルヲ期セサルヘカラス

問 回轉盤裝定ニ方リ注意スヘキ要件如何

答 右手ノ拇指ヲ以テ解脫子ノ攫飯ヲ十分後方ニ壓シ左手ヲ表尺頭ノ左縁ニ當テ回轉盤ヲ旋ラシ靜カニ攫飯ヲ放チ右手ヲ以テ轉輪ヲ左ニ旋ラシ所命ノ分畫ニ合ス

問 戰鬪間死傷ヲ生シ補充ヲ待ツノ追ナキ場合ニ於ケル砲車長ノ處置

答 他ノ砲手ヲシテ之ヲ兼ネシムルカ或ハ自ラ之ヲ補フ

問 拍車ハ如何ナルトキ之ヲ使用スルカ

答 脚ノ効驗少ナキ馬ニ對シ又ハ一時ニ多大ノ勞力ヲ要求シ若クハ懲戒スルトキ

問 放列ノ砲車間隔ハ何故ニ成ルヘク等間隔ニスルコトヲ要求シアルヤ

答 照準點近ク前方ニアルトキ砲車間隔ノ不同ハ射向ノ間隔ニ著シク不同ナラシムルモノナリ

問 輓馬ノ馬裝ノ適否ヲ見ルニハ如何ナル注意ガ必要ナルヤ

答 單ニ停止間ノ正シキ姿勢ニ於テノミナラス尙繫駕シテ若干行進セシメ其行進間ニ於ケル狀態ニ就テ檢査ス

問 野砲繫駕ニ於テ疎林ノ通過如何

答 常歩ヲ用ヒ前中馬馭者ハ後馬馭者ヲシテ轅桿ヲ左右スルニ自在ナラシムルヲ要ス故ニ直進スルトキニアラサレハ輓曳セス若シ轂帽防楯又ハ車輪等樹木ニ鈎リタルトキハ後退シテ之ヲ脱ス

問 輓馬ノ輓曳姿勢トハ如何

答 後肢ヲ踏ミ頸ヲ輕ク下方ニ圓メ韁及緩候革ニ支點ヲ求メツ、体重ヲ前方ニ移シ背ヲ隆起シ而シテ後肢ヲ踏張リ前肢ヲ伸ハシツ、體軀ヲ推進スルモノナリ

問 高低角トハ如何

答 目標ト砲口トヲ連スル線ト砲口ヲ含ム水平面トニテナス角ヲ云フ

問 防楯砲兵破壞ノ爲ニ要スル命中彈數ハ幾何ナルヤ

答 着發榴彈ニアリテハ通常一發着發榴彈ニアリテハ通常二發ナリ

問 兩車輪ノ位置ニ高低差アルトキハ射擊ニ如何ナル影響ヲ及スヤ又之ヲ修正スル方法如何

何

答 射弾ハ低キ方ニ偏ス而シテ之ヲ修正スルニハ通常車輪下ヲ掘開シ若クハ少ナル車輪ノ傾斜ヲ表尺坐筒ノ氣泡管ヲ用フ

問 驂馬鞭ヲ使用スル場合如何

答 驂馬ヲ前方ニ推進シ或ハ側方ニ移動シ又ハ一時多大ノ勞力ヲ要求シ若クハ之ヲ懲戒スル爲ニ用フルモノナリ

問 表尺補助桿使用上ノ注意

答 一、操作ニ方リ之ニ依托セサルコト
二、回轉盤ヲ裝定シ又ハ砲尾ヲ上下スル場合等ニ於テ補助桿ヲ防楯ニ衝突セシメザルコト

問 善良ナル調教ヲ經タル馬ハ如何ナル姿勢ニ於テ行進スルヤ

答 後軀強壯ニシテ能ク屈撓シ肩ハ自在ニ運動シ頸ヲ十分髻甲ノ上ニ起シテ頂ヲ屈撓シ頸ヲ垂直線ニ近ツケ輕快ナル歩度ヲ以テ行進ス

問 定偏トハ如何ナルモノナルヤ

答 發射セラレタル彈丸ハ空氣抗力ト旋動トノ爲射面内ニ落達スルコトナク必ス一側ニ偏ス此距離ヲ定偏ト稱シ各距離ニ於ケル定偏ノ變化ハ距離ノ増加スル比ヨリモ大ナリ

野砲兵兵卒ノ部

問 回轉盤ノ修正ニ方リ最後ニ補助分畫ハ如何ナル方法ニ旋回スルヤ

答 左へ旋回ス

問 表尺補助桿ヲ使用スル場合ノ注意事項如何

答 操作ニ方リ之ニ依托セサルコト及回轉盤ヲ裝定シ又ハ砲尾ヲ上下スルトキニ防楯ニ衝突セサルコト

問 射撃用意ノ際ニ番ハ表尺ヲ如何ニスルヤ

答 表尺ハ之ヲ裝シ回轉盤分畫高低水準器ノ指針ヲ零位ニシ縦表尺ハ三千ノ距離ニ定メ

眼鏡ヲ裝ス射方止メニテ前ニ復ス

問 横隊ニ於ケル砲車間隔ハ何歩ナルヤ

答 定間隔三十歩閉收間隔七歩

問 表尺補助桿ハ如何ナル場合ニ使用スルヤ

答 照準スル爲眼鏡ヲ高ムルヲ要スルトキ又ハ六千米ノ距離ノ時

問 彈藥匣ハ何時出シテ何時納ムルカ

答 放列布置ノ際出シ撃方止メノ時納ム

問 一番砲手トシテ不發アリタル時如何ニスルヤ

答 少許ノ時間ヲ隔テ再三拉繩ヲ引キ尙發火セサルトキハ約ネ十五秒ノ後砲車長ノ命ニ

テ閉鎖機ヲ開ク

問 標定點ハ如何ナルモノヲ可トスルヤ

答 成ル可ク遠クニアルヲ可トスト雖モ其發見及照準容易ニシテ射向ニ近ク且煙滅ノ虞ナキモノナルヲ要ス

問 「信管二ツ高メ」ト「信管高ク二ツ」ノ號令ノ差異如何

答 「信管二ツ高メ」ハ信管廻ノ体ヲ修正分畫ノ「↑(↓)」符號ノ方へ所命ノ修正量タケ旋ラスモノニシテ「信管高ク二ツ」ハ信管廻ノ体ノ指線ヲ所命ノ修正分畫ニ一致セシムルモノトス

問 射擊間ニ於ケル各砲手ノ主ナル任務ヲ述ヘヨ

答 一番ハ拉繩ヲ引キニ番ハ照準ヲナシ三番ハ彈丸ヲ裝填ナシ四番ハ方向照準ヲナシ五番ハ信管ヲ測合シ六番ハ彈藥匣ノ出入ヲナス

問 「右二回二發」ト「右へ掃射二發」ト異ナルヤ

答 掃射(二方向)
1 ●
2 ●
12 ●
右二回(射擊一方向)

問 馬ノ收縮姿勢トハ如何ナル状態ニアルヲ云フヤ

答 正シク衝ヲ受ケ頸ヲ鬚甲ニ對シテ縮メ頂ヲ屈撓シ後肢ヲ踏込ミ其身長ヲ短縮スルヲ云フ

問 零距离ニ測合セル榴霰彈ハ砲口前幾何ノ所ニテ破裂スルヤ

答 砲口前十五米

問 兩車輪ノ位置ニ高低差アルトキハ射彈何レノ方ニ偏スルヤ

答 低キ車輪ノ方

問 駈歩發進ニ際シ前中後馬ノ何レカ先ニ歩度ヲ伸スヤ

答 後馬先ツ歩度ヲ伸ハシテ一時前中馬ノ轆索ヲ緩ム

問 坂路ヲ昇ルニハ如何ナル注意ヲ要スルヤ

答 轆馬ヲ落附ケテ急ナ運動ヲセス協力シテ轆カシムルコトニ注意ス

問 驂馬ニ對スル前進ノ扶助ヲ説明スヘシ

答 運動ヲ豫知セシムルニハ右拳ヲ其頸ニ近ケ僅カニ舉ケ前進セシムルニハ右拳ヲ下ケ鞭先ヲ動搖シ尙要スレハ之ヲ使用ス

問 驂馬鞭ノ用法ヲ述ヘヨ

答 右肘關節ヲ軸トシ前臂ヲ撚轉シツ、僅カニ右手ヲ驂馬ノ方ニ伸ハシ索端ヲ放チ之ヲ右腰部ニ觸レシメ此際成ルヘク牽韁ヲ馬ノ口ニ感セシメヌ様ニス

問 速歩ヨリ駈歩ニ移ル場合ト常歩ヨリ速歩ニ移ル場合ト後馬馭者トシテ扶助使用ノ時機

ノ差異ヲ説明セヨ

答 速歩ヨリ駈歩ニ移ルニハ後馬馭者ハ先ツ歩度ヲ伸シ一時前中馬ノ轆索ヲ弛メシメ前中馬ノ駈歩ニ移ルヲ容易ナラシム常歩ヨリ速歩ニ移ル場合ハ最初前中馬馭者ニ僅カニ歩度ヲ伸サシメ然ル後速歩ニ移ル

問 回轉盤ハ幾何迄刻ミアルヤ

答 本分畫ハ〇分畫ヨリ六十三分畫マテ補助分畫ハ〇ヨリ百マテ

問 彈丸ノ種類及効力如何

答 榴霰彈榴彈榴霰彈ハ曳火(空中ニ破裂)セシメ曝露セル敵ニ又榴彈ハ曳火若ハ着發セ

シメ掩護物ニ依ル敵並保壘ノ破壊ニ用フ

問 行軍中小休止ノ時砲手ハ如何ナル事ヲ爲スヤ

答 各自ノ擔任ノ部分ヲ檢査シ馭者ヲ補助シテ馬ヲ勞リ後已カ用ヲ辨ス

問 馬ノ發病ノ徵候ハ何ニ依リテ知ルヤ

答 何トナク其様子平常ト異ナリ或ハ前搔ヲナシ飼ヲ食ハス水ヲ飲マサル等ニ依リテ知

ル事カ出來ル

問 疝痛ノ徵ハ如何

答 前肢ヲ以テ地ヲ叩キ腹ヲ見テハ幾何モ伏臥セントスルトキハ大概疝痛ノ徵トス

問 疝痛ノ救急法如何

答 伏臥セシメス藁ヲ以テ腹部ヲ摩擦シ毛布ヲ着セシメテ牽運動ヲ行フ

重砲兵下士ノ部

問 重砲兵ノ本領トハ如何

答 遠大ノ射程偉大ナル砲彈ノ効力及其ノ精確ノ射撃ヲ以テ特有ノ技能ヲ發揮シ全軍戰

勝ノ途ヲ開クニ在リ

問 重砲兵ハ如何ナル目標ヲ射撃スルヤ

答 野戰砲兵ノ擊破シ能ハサル目標歩兵ノ攻撃ヲ阻碍スヘキ術工物又海岸戰ニ在リテハ

艦艇ヲ猛烈ニ射撃シ其企圖ヲ挫折ス

問 射撃間ニ於ケル故障ノ發生ヲ防キ且ツ射撃ヲ圓滑ナラシムルノ注意

答 火砲材料ノ機能ヲ正確ナラシメ彈藥ノ整備ヲ完全ナラシムルコト緊要ナリ故ニ細心

注意シテ其ノ整備點檢ヲ行ヒ常ニ之カ取扱ニ精通シ最モ慎重ニスヘシ特ニ射撃間諸

螺子ノ緊定要部ノ注油及清拭ニ注意シ要スレハ豫メ其擔任者ヲ指定シ置クヘシ

問 射撃ニ關スル中隊長ノ號令ハ小隊長ノ復令ヲ待タスシテ各砲車ハ直チニ動作ヲ始ムル

ヲ通則トスルモ時ニ小隊長ノ號令ニ依ルモノアリ其ノ種類ヲ問フ

問 集中分火級梯

答 戰鬪間砲車長トシテ部下砲手ノ過半ヲ失ヘリ決心如何又操典ニ如何ナル明文アリヤ

問 操典ニハ中隊ハ最後ノ一人ニ至ルモ戰鬪ヲ繼續スルノ覺悟アルヲ要ストアリ此際自

ラ嚴格ニシテ勇敢而モ沈着ナル態度ヲ以テ部下ヲ督勵シ射撃ヲ繼續スルニアルノミ

問 放列ヲ布置スルニ某砲車ノミ目標ヲ見ルヲ得ス探求ノ結果砲車ノ後方ヨリ之レヲ見ルヲ得最モ速キ方向面ノ決定法ヲ問フ

答 後方目標桿取レヲ行フ

問 火砲材料ヲ尊重スヘキ所以ヲ問フ

答 火砲ハ重砲兵ノ神髓ナリ任務之ニ依リテ遂行スヘク名譽ハ之ニヨリテ發揚スルヲ得ヘシ故ニ之ヲ尊重擁護シ死生榮辱必ス之ト俱ニスルヲ期セサルヘカラス

問 海岸重砲兵ノ射擊間ニ於ケル砲車長ノ職務ヲ述ヘヨ

答 砲車長ハ射擊諸元ノ裝定及戰鬪實施ノ精査ヲ期シ部下砲手ノ動作ヲ監視シ尙火砲材料ノ要部ニ注意シ以テ操砲ニ故障ナカラシメ一砲車ノ戰鬪任務ヲ精確敏速ニ遂行スルニ在リ

問 假標トハ如何ナルモノヲ言フカ又放列ヨリ幾何ノ距離以上ナルヲ要スルヤ

答 目標以外ニ照準スヘキ物体ヲ選定シタル時ハ其ノ物体ヲ假標ト云フ五百米以上ニシテ成ル可ク遠隔シ且明瞭ニシテ誤リナク照準シ得ヘキ物体ナルコト

問 砲兵陣地ヲ設備スルニハ通常如何ナル順序ニ爲スヲ原則トスルカ

答 先ツ人員ノ掩護ヲ主トシ次ニ砲車ノ掩護ニ及ホスヲ以テ原則トス

問 野戰重砲兵ノ行軍間小休止時ニ於テ馬ニ對スル注意ヲ述ヘヨ(乙)

答 蹄鐵及馬體ヲ檢シ所要ノ釘締ヲナシ馬裝ヲ整ヘ且ツ爲シ得ル限りノ愛護ヲ加ヘ又要スレハ水飼ヲナシ呼吸脈搏ヲ檢スルモノトス

問 十五(十二)榴彈砲發射ノ際發火セサル時ハ砲車長ハ如何ニナスヤ

答 連續二三回拉繩ヲ引カシメ尙ホ發火セサル時ハ藥筒及發火機ヲ點檢ス

重砲兵兵卒ノ部

問 數字ニ關スル射擊諸元ノ中十以下ニ屬スルモノノ唱呼法ヲ問フ

答 一ツニツ三ツ四五ツ六七八ツ九ツ十

問 直接照準ニ於テ照準點ノ指示ナキ時ハ如何ナル點ヲ照準スルヤ

答 不動目標ニ對シテハ中央下際動目標ニ對シテハ先頭下際ヲ照準ス

問 三八式榴彈砲用破甲榴彈ノ主ナル用途如何

答 堅固ナル術工物ノ破壊若ハ敵砲兵ノ撲滅

問 軍艦ト商船トノ區別ヲ問フ

答 軍艦ニハ砲門司令塔檣樓等アルニ依リ商船ト區別スルコトヲ得

問 擴張式塞環ニハ發射前緊塞面ニ「グリスリン」ヲ塗ル理由

答 火砲ト塞環ノ粘着ヲ防キ緊塞ヲ確實ニシ摩擦ヲ防クカ爲ナリ

問 三八式榴彈砲ニ於テ閉鎖機ヲ開キタル以後一番砲手ノ檢査スヘキ箇所及其ノ趣旨如何

答 擊針孔腔内ヲ檢シ瓦斯洩ルノ有無異狀ノ有無及後坐測尺ヲ檢シ後坐量ヲ報告

問 三八式榴彈砲ニ於テ三號裝藥ノ令アリシ時裝藥搬送手ハ如何ナルコトヲナスヤ

答 藥夾蓋ヲ取リ大藥囊ヲ出シ小藥囊ノ點火藥ヲ下ニナス如ク入レ後蓋ヲナス

問 重砲兵ハ火砲ト生死ヲ共ニスルノ覺悟ヲ要スル所以ヲ問フ

答 火砲ハ重砲兵ノ神髓ニシテ任務ヲ盡シ名譽ヲ發揚スルニハ一ニ之ニ依ルヲ以テナリ如何ナル場合ニ於テモ照準ノ精確ヲ必要トスル所以

問 射撃ニ於テ照準精確ナラサレハ貴重ナル彈丸ヲ空費スルコトトナリ敵ヲ打破スルコトカ出來ヌカラテアル

答 射撃間損傷益々大ナルトキ殘留ノ砲手ハ如何ナル決心ヲ必要トスルヤ

問 如何ニ損傷大ナルモ最後ノ一人ニ至ルモ尙ホ其ノ射撃ヲ繼續スルノ覺悟ヲ要ス

答 驂馬鞭ノ効用ヲ問フ(乙)

問 恰モ服馬ニ於ケル脚ト拍車トノ用ヲ兼スルモノニシテ驂馬ヲ前方ニ推進シ側方ニ動カシ又一時多大ノ勞力ヲ要求シ懲戒ニ使用ス

問 野外ニ於テ露營ノ際馬ノ綱擦豫防法(乙)

答 索ノ緊張ニ注意スルコト及藁約二十本ヲ以テ繫部ヲ結束ス

問 癖馬ノ取扱ハ如何ニスルヤ(乙)

答 常ニ愛撫ヲ主トシテ之ヲ矯正シ又上官ノ指示ニ依リ適切ナル懲戒ヲ行フ注意(乙)トハ乙隊出身者ノ心得フヘキ件トス

規則ニ關スル事項ニ就テ

問 逃亡者携行兵器ノ處置方ヲ問フ

答 逃亡者ノ携行兵器ニシテ所在不明ノモノニ在リテハ一ヶ月經過シタル後亡失ノ手續ヲナシ補填ヲ受クルモノトス

問 清涼火藥庫乾燥火藥庫ニハ如何ナル火藥火具彈藥類ヲ格納スルヤ其ノ大要如何

答 清涼火藥庫 無煙藥類

乾燥火藥庫 有煙及黃色藥類

問 兵器ノ名稱及手入法ハ何ニ依リテ知ルヤ

答 各科ハ兵器細目名稱表手入法ハ兵器保存要領トス

問 聯隊ノ兵器保管者及管理者ハ誰ナルヤ

答 保管者ハ聯隊長ニシテ管理者ハ師團長重砲兵隊ニアリテハ要塞司令官

兵器材料ニ關スル事項ニ就テ

兵器

問 塗料塗抹ニ就テ注意スヘキ件ノ大要如何

答 素地部ヲ拭淨シ濕氣塵埃不揮發性ノ油分ノ附着シ在ラサルコトニ特ニ注意シ薄ク數回ニ塗布スヘシ

問 三十二年式軍刀々緒ニ用フル革ノ名稱ヲ問フ

答 褐色牝牛革

問 三十年式銃劍ノ柄木ニ採用スル木材如何

答 胡桃山毛櫸

銃工長ニ關スル事項ニ就テ

問 銀鍍眞鍮鐵ノ用途ヲ略述セヨ

答 銀鍍ハ主トシテ銀及薄キ黃銅ノ接着ニ用フ時トシテハ鐵ノ接着ニモ用フルコトアリ

眞鍮鐵ハ主トシテ銅黃銅又ハ鐵類ノ接着ニ用ヒラル

問 三八式機關銃引鐵發條ト連發桿發條トノ識別ヲ問フ

答 引鐵發條ハ連發桿發條ヨリ〇、二耗大サニ於テ大ナリ

問 劍鞘ノ凹痕ヲ修理スル作業ノ順序如何

答 上下部彈鎖子ヲ分解シ先ツ凹ミノアル部分ヲ〇ノ方向ヨリ槌打シ〇ノ如キ形狀ナラ

シメ然ル後↓〇↑ノ矢ノ方向ヨリ木槌ニテ輕打シ大部分ノ形狀ヲ整へ殘存セル凹痕ハ其ノ周圍ヲ仕上穂ヲ以テ輕打スレハ原形ニ復スルモノトス

鞍工長ニ關スル事項ニ就テ

問 革具縫綴ニ用フル糸ノ名稱ヲ問フ

答 白玉糸革「ミシン」糸、四番革「ミシン」糸、五番革「ミシン」糸、六番革「ミシン」糸、八番革「ミシン」糸

問 乘輓馬具縛囊革條ノ新制式品ノ寸度ノ概略ヲ述ヘヨ

答 縛具革條ト同一ニシテ全長ノミ長シ

問 縫糸ニ瀟ヲ塗ル目的如何

答 雨水ノ浸潤ヲ防キ縫綴糸ヲ永久安全ニシ且革ト革ノ縫合ヲ堅牢トス

問 厚キ革ニ穿孔スルトキノ方法如何

答 強テ目打ノ貫徹ヲ望ムコトナク宜シク單鍼目打ノ力ニ依ルヘシ

問 革條類ノ端末ヲ狹小ニスル其大略形狀ヲ問フ

答 通常革幅ト同高ニシテ上底ハ下底ノ(即チ革巾)ノ三分ノ二ヲ有スル梯形トナス

木工長ニ關スル事項ニ就テ

問 板ノ木裏木表トハ如何箱類組立ニハ木裏木表ヲ如何ニ注意スヘキヤ

答 板ノ木心ニ近キ面ハ木裏外皮ニ近キ面ハ木表トス箱類組立ニハ木裏ヲ外方ニスルモノトス

問 乾裂ノ豫防手段如何

答 一、板類若クハ小材ニ挽割シ置クコト

- 二、乾燥ヲ徐々ニ施行シ急激ノ乾燥ヲ避クコト
- 三、木心ヲ除去スルコト
- 四、木口ヲ大氣ニ暴露セシメサルコト
- 五、板類ハ柃理ニ挽割シ置クコト

問 潤葉樹ト針葉樹トハ鋸ニ對スル抵抗如何

答 針葉樹ハ鋸ニ對スル抵抗少シ是レ其構造單簡ニシテ脂氣多ク且ツ髓線小ナルカ故ナリ

問 木材選定法如何

- 答 一、材面佳面ヲ呈シ疾患ノ跡ナク木心及新層部ヲ存有セサルモノ
- 二、木香新鮮ニシテ各部等シク固有ノ木色ヲ有スルモノ
- 三、材ノ纖維細微ニシテ抱合緻密ナルモノ
- 四、有皮材ナレハ樹幹正圓ニ近ク全長直條ニシテ本末ノ周圍稍等一ニ且皮相佳麗ナルモノ

鍛工長ニ關スル事項ニ就テ

問 特種鋼トハ如何ナルモノヲ云フヤ

答 鋼ニ特種ノ性質ヲ賦與スル目的ヲ以テ時ニ「ニッケル」「クローム」「滿俺硅素其ノ他ノ原素ヲ添加シテ製造セル鋼ヲ言フ

問 鋼ヲ漣淬スルトキ注意スヘキ要件如何

答 漣淬温度ハ其限界ヲ超過スヘカラス何トナレハ若シ此ノ原則ノ限界ニ誤ルトキハ膨脹ノ過度ニ基因シ鋼ハ脆弱トナリ其實用ヲ侵害スルニ至ルヘシ

問 漣淬ノ効果ヲ呈スル温度ノ限界如何

答 通常暗紅色(攝氏七〇〇度)以上淡櫻色(一、〇〇〇度)以内ニ在リ

火工長ニ關スル事項ニ就テ

問 現今陸軍ニ於テ使用スル火藥ヲ大別スレハ何々ナルヤ

答 有煙藥無煙藥黃色藥ノ三種トス

問 填砂藥彈トハ如何ナルモノナルヤ

答 專ラ演習用ニ供スル砲彈ニシテ炸藥ヲ填實セス炸藥室ニ砂及鋸屑ノ類ヲ填實シ信管ノ装着セス各部ヲ結合密閉シ以テ其重量ヲシテ全備彈量ニ等シカラシメタルモノヲ謂フ

問 彈藥取扱所若クハ火工場ニ於ケル作業軍紀トハ如何

答 如何ナル場合ニモ作業間命令ヲ確實ニ實行シ作業ニ關スル諸規則ヲ嚴守スルヲ謂フ

問 作業間班長ノナスヘキ任務

答 班長ハ作業前命令ニ基キ工具火藥及材料ノ整備ヲ點檢シ特ニ分銅裝藥秤量器ヲ調査シ且完成品(内部品ヲモ)ノ點檢ヲ行ヒ又作業開始前及終了後ニ於ケル工具ノ着裝及

携帶品ノ検査ニ任ス

問 無煙薬ト有煙薬トヲ同一ノ火薬庫内ニ貯藏スルヲ禁シアル理由如何

答 無煙薬ハ貯藏中熱其他ノ交感ヲ受ケ漸次分解作用ヲ惹起シ逐次ニ自燒スルノ性質ヲ有シ有煙薬ハ温氣ノ交感ヲ受ケ變敗ヲ來ス等各性質ヲ異ニスルヲ以テ若シ同一庫内ニ貯藏シタル場合無煙薬ノ自燒發火スルヤ其傳播ヲ受ケ有煙薬ヲモ爆發セシムルニ至ル故ニ自ラ發火スルモノト發火ニ依リ爆發スルモノトヲ併セ貯藏スルヲ禁シアルナリ

工兵下士ノ部

問 作業實施ニ於ケル班長ノ責務ヲ問フ

答 所要ニ應シテ班ヲ組ニ區分シ兵卒ヲシテ確實ニ作業ノ諸規則ヲ遵守シ正當ニ器材ヲ使用シテ作業ヲ實施セシム

問 手榴彈ノ用途如何

答 近接戰ニ於テ我火器ノ威力ヲ發揚スル能ハサル場合即チ土地ノ稜線牆壁ノ背後又ハ壕内等死角ニ位置スル敵ニ對シテ使用スルヲ常トス

問 鐵條網ヲ破壞スル爲メ爆藥筒ノ挿入法如何

答 各兵協力シテ成ルヘク鐵線ニ觸ル音響ヲ發セサル如ク徐カニ鐵條網内ニ挿入シ杭脚ニ接着シテ鐵條網地帯ノ一般方向ニ直角ナル如ク裝置ス

問 敵前作業ノ主ナルモノヲ舉ケヨ

答 敵ノ障礙物ニ通路ヲ開キ攻撃陣地ヲ構成シ又特ニ堅固ナル堡壘ニ對シ地中戰ヲ實施スルコトアリ

問 敵前ニ於テ鐵條網鹿砦及外壕ニ通路ヲ開設スルニハ如何ナル方法アリヤ

答 鐵條網又ハ鹿砦ニ對シテハ之ヲ爆破シ或ハ器具ヲ以テ破壞シ時トシテ掩覆通過作業ヲ施シ外壕ニハ降下及攀登ノ設備ヲナシ要スレハ其ノ外岸ヲ爆破スル等ナリ

問 壕土對壕ハ如何ナル場合ニ用フルカ

敵ニ近接シ掩蔽シテ攻撃作業ヲ進メントスルトキ又ハ斷續シタル工事ヲ晝間連絡スルヲ要スルトキニ用フ

問 穹窿對壕トハ如何ナルモノナルヤ

答 土地硬質ナルカ又ハ凍結シアルトキ地表面下ニ穹窿狀ニ鑿開スルモノニシテ其頂ハ

一 地表面ニ至ルノ厚ハ約〇米二〇乃至〇米三〇トス

問 對壕ノ掘開ニ於テ班長ノ注意スヘキ件如何

答 一意掘開作業ノ進捗ニ勉メ且ツ絶エス對壕ノ方向及幅員ヲ點檢シ常ニ正確ニ之ヲ保持スルコトニ注意ス

問 垂坑道ヲ設クル目的如何

答 平坑道ノ構造ヲ容易ナラシムル爲ニシテ平坑道ノ設備後完成ノ上ハ之ヲ埋填スルヲ常トス時下シテハ直チニ其底ニ藥室ヲ設置スル爲ニ之ヲ設クルコトアリ

問 坑道ニ於テ藥室ノ填塞ニハ如何ナル物料ヲ用フルヤ

答 土糾草土囊日乾煉瓦及木材等ニシテ或ハ其ノ一種ヲ專用シ或ハ其ノ數種ヲ混用ス

問 間絶横牆ノ利害ヲ問フ

答 火線ヲ減少セサルノ利アルモ其構造煩雜ナルノミナラス又位置ニヨリ横牆ノ前面敵眼ニ曝露シ易キヲ以テ特ニ遮蔽ヲ設ケサルヘカラス

問 障碍物ヲ設置スヘキ位置ノ選定ニ關シ顧慮スヘキ件如何

答 我カ射撃ヲ妨クル事ナク又敵ニ發見セラレ難ク且ツ敵ノ破壞企圖ニ對シ我火力ニ依

リ十分ニ防護シ得ヘキ場所ヲ選定ス

問 射界清掃ノ着手順序如何

答 通常火線ニ近キ地域ヨリ着手シテ漸次敵方ニ及ホスモノトス

問 架柱橋ハ如何ナル川ニ適用スルヤ

答 流速一米五〇以下水深二、〇〇以下ニシテ河底平坦堅固ナル河川ニ適用ス

問 投錨ノ場合錨爪ノ水底ニ固定セシヤ否ヲ點檢スル方法如何

答 投錨點ヨリ約十五米突流下セシ時一旦錨ヲ支撐シテ十分ニ之ヲ曳キ點檢ス

問 補助渡河法ノ種類

答 繫留渡、滑網渡、線網渡、漕渡、

問 道路ノ補修中特ニ注意スヘキ點並ニ之カ爲施行スヘキ工事如何

答 道路ノ補修中特ニ注意スヘキハ路面ノ排水ナリ之カ爲要スレハ路面ノ凸形ヲ維持シ或ハ山腹道ノ如ク一側ニ横傾斜ヲ附シ其水ヲ下水溝ニ導クヘシ

工兵兵卒ノ部

問 突撃器材ノ主ナル種類ヲ問フ

答 滑棒(單滑棒復滑棒) 梯子突撃橋

問 鐵條鉄ヲ以テ鐵條網ヲ破壞スルニ方リ其截斷ヨリ生スル音響ヲ避クル爲ニ如何ニスルヤ

鐵線ノ全断面ヲ截リ離スコトアリ爾後兩手ヲ以テ靜ニ折リ取ル如クス之カ爲鐵條鉄ノ柄ニ近キ樞軸ノ後方ニ於テ跌身ニ布ノ類ヲ卷キ頭部ノ嚙合セヨ制限スルヲ可トス

問 對壕ノ種類如何

答 轆土對壕深對壕窪對壕土囊對壕

問 散兵壕ノ立射及膝射ノ照準高ハ幾何ナルヤ

答 立射照準高ハ一米三〇膝射照準高ハ〇米八〇トス

問 掩蔽部ヲ有セサル散兵壕内ニ於テ待機間散兵ハ如何ニシテ敵彈ノ危害ヲ避クルカ

答 壕ノ内斜面ニ背部ヲ密接シテ跌坐若ハ箕踞シ或ハ踏梁ニ腰掛クルモノトス

問 鐵條網ノ杭ノ高サ如何

答 其ノ高サハ不等ニシテ平均一米二〇

問 臂座ヲ設クル目的及其幅員如何

答 照準ノ際臂ヲ支ヘ又彈藥ヲ置ク爲メニシテ高〇米二〇幅〇米三〇トス

問 投錨ノ際投錨手ノ注意スヘキ點如何

答 錨綱ニ跨リ又ハ之ヲ踏ムコトナキニ注意シ且ツ錨身ヲ水流ノ方向ト平行スル如ク投入ス

問 架橋作業ニ於テハ一兵卒ノ動作ト雖モ直チニ全軍ノ運命ニ關スルコトアルハ如何ナルコトヲ言フヤ

答 例之錨綱摸合綱ノ緊張十分ナラス或ハ縁材其他ノ結束ノ緊確ナラサル等ハ何レモ橋

梁ノ抗力ニ影響ヲ及ホシ危險ヲ醸スコトアルカ如キヲ言フ
問 錨ノ種類如何

答 普通錨(單ニ錨ト稱ス)ト手違錨トノ二種アリ

問 道路ヲ構築スルニ當リ路面ニ凸形ヲ附スル理由如何

答 排水ヲ能クスル爲ナリ

問 工兵用黃色藥ノ種類及藥量如何

答 方形藥包圓形藥包ノ二種アリテ方形藥包ハ二百瓦圓形藥包ハ百瓦ナリ

問 緩燃導火索ヲ雷管ニ挿入スルニ當リ注意スヘキ件如何

答 雷汞ト摩擦セサル如ク注意ス

鐵道隊下士ノ部

問 鐵道兵ノ戰時業務

- 答 1、輕便鐵道ノ建築及運轉
 2、普通鐵道ノ短距離敷設、軌道ノ改築、停車場ノ新築増設破壞、鐵道ノ修理及敵ノ危害ヲ受クル虞アル線區ノ運轉
 3、鐵道ノ破壞

問 輕便鐵道一日ノ敷設工如何

答 (一) 中隊ヲ以テ少クモ一〇吉米(二) 中隊五吉米ト一停車場宛)
 輕便鐵道線路ノ曲半徑及勾配ノ限度如何

- 答 1、曲半徑ハ六〇米及三〇米ノ二種ヲ用フ
 2、勾配ハ四十分一以下ヲ可トス但シ勾配部ノ長サ一〇〇米以下ナラハ二十五分一迄ハ一機關車ヲ以テ牽引スルヲ得ヘク又惰力(勢ヲ附スルヲ云フ)ヲ附スルトキハ長サ七〇米以下ハ十八分一迄通過シ得ヘシ

問 輕便鐵道ノ曲半徑ハ以上二種ノ外用ヒサルヤ

答 材料ノ制式ハ以上二種ナルモ半徑二〇〇米以上ノ曲線部ハ直軌區ヲ以テ敷設シ得ヘシ

問 曲線部ト勾配部トノ關係如何

急峻ナル勾配ハ勉メテ直線部ニ置キ三〇米及六〇米ノ半徑ヲ有スル曲線ヲ六十分ノ

一ヨリ急ナル勾配部若ハ之ニ接シテ設クルハ地形止ムヲ得サルトキニ限ル

機關車カ炭水車ヲ携行スルトキ及携行セサルトキノ運轉勤務ニ耐ヘ得ル時間並ニ之ニ
ヨリ給水停車場ヲ設置スヘキ距離ヲ問フ

機關車カ炭水車ヲ携行スルトキハ五時間乃至六時間ノ運轉勤務ニ耐ヘ給水停車場ハ
毎三〇吉米ニ設置シ炭水車ヲ携行セサルトキハ二時間ノ運轉勤務ニ耐ヘ給水停車場
ハ每一五吉米ニ設置ス

輕便鐵道ヲ敷設スルニハ如何ナル班制ニ依リ行フヤ

通常拍地班(下十二兵卒八)敷設班(下十四兵卒六)ニシテ此人員ハ運搬組ノ交代兵

二四ヲ含ムヲ以テ直接敷設ニ任スルモノハ下十二兵卒三八ニテ可ナリ

接續班(下十二兵卒二)假填塞班(下十一兵卒一)完備作業班三乃至五組一班ハ
下十一兵卒一〇補修班(下十二兵卒一二)及建築列車推進班(下十一兵卒一二)トス

輕便鐵道一列車ハ何輛編成ナルヤ

通常八乃至九輛編成トシ容積大ニシテ重量少ナルモノヲ積載スルトキハ十二乃至十
四輛迄増加スルヲ得

(注意)新シキ線路ニテモ以上ノ編成ニテ可ナルヤ

建築中ニ在ル線路ハ六乃至八輛ニ減スルヲ要ス

輕便鐵道一車輛ノ積載量ハ何噸ナルヤ又一軌區車ニ積載シタル軌區ヲ以テ何米ヲ敷設

シ得ルヤ

積載量ハ五噸ニシテ一軌區車分ノ軌區ニテ一五〇米ヲ敷設シ得

輕便鐵道ノ建築定規ハ何米ナリヤ又停車場相互ノ距離及待避線ノ有効長ハ何米カ

建築定規高サ 三米 幅三米
停車場相互ノ距離 通常五吉米
有効長 約二〇〇米

輕便鐵道ノ運轉速度如何

1、良好ナル線路ニアリテハ一時間平均一五吉米
2、工事中ノ線路ニ在リテハ一時間平均一〇吉米
3、定期運轉ノ初期ニ在リテハ一時間平均一二吉米

一運轉區ニ於ケル線路一般ニ良好ニシテ其一部ノミ急勾配ヲ有スルトキハ如何ニ列
車ヲ編成スルヤ

普通ノ列車編成ト爲シ其局部ニ至リ列車分割ヲ行フヲ可トス

汽笛ヲ以テスル列車員ノ合圖中左ノ場合ハ如何ニスルカ

イ、制動機ノ緊締ヲ促ストキ 短急三聲
ロ、制動機ノ緩解ヲ促ストキ 適度ニ長キ二聲
ハ、保線員ヲ召集スル必要アルトキ 長緩數聲

機關車脱線シ容易ニ復線シ難キトキハ如何ニシテ運轉ヲ恢復スルヤ

問 地形之ヲ許サハ新ニ側線ヲ設ケ兩端ヲ接續ス

答 普通鐵道ノ五百米以下ノ曲線ニ餘高餘幅ヲ附スル理由ノ大要ヲ述ヘヨ

問 遠心力ニヨリ曲線ノ外方ニ列車ノ脫線スルヲ防ク爲メ外方軌條ニ餘高ヲ與ヘ列車ヲ内方ニ導キ又軌間ヲ少シク廣クシテ曲線部ノ通過ヲ容易ナラシムルニアリ

鐵道隊兵卒ノ部

問 鐵道兵ハ戰時如何ナルコトヲ爲スヤ

答 1、輕便鐵道ヲ敷設シ兵器彈藥糧秣及時トシテ人員ノ輸送ニ任ス

2、普通鐵道ノ修理並運轉ニ任ス

3、鐵道ノ破壞

問 鐵道ノ建築ハ鐵道兵ノミヲ以テ行フヤ

答 輸卒又ハ人夫ヲ使役スルコトアリ

問 濕地ニ於ケル鐵道線路ノ補修法如何

答 排水ヲ良好ナラシメ要スレハ下敷枕木ヲ插入ス

問 輕便鐵道軌區ニハ如何ナル種類アリヤ

答 直軌區曲軌區(半徑三〇米及六〇米ノ二種)

問 一軌區車ニハ區軌何箇ヲ積載シ得ルヤ

答 三〇箇

問 餘高及餘幅トハ如何

答 餘高トハ曲線部ニ於テ列車ノ脫線セサル爲外側ノ軌條ヲ内側ノ軌條ヨリ稍高クシ餘幅トハ軌間ヲ普通ヨリ稍廣クスルヲ云フ

問 車輛ノ檢査ニハ先ツ如何ナル點ニ着眼スルヤ

答 1、軸筐ニ油ノ有無ヲ檢ス是車軸ノ熱スルヲ防カンカ爲ナリ

2、制動機ノ機能ニ注意ス是不時ノ危害ヲ避ケンカ爲ナリ

問 釘着ノ際内方鈎釘ト外方鈎釘トヲ斜方向ニスル理由

答 枕木ノ挫ケサランカ爲ナリ

問 列車ヲ發車セシムルニハ何人ノ命ニ從フヤ

答 列車長

問 列車長ハ發車ノ準備終レハ適宜發車シ可ナルヤ

答 停車場ニ於テハ驛長ノ指示ニ從フ

問 列車運行途中ニテ故障起リシトキハ列車長トシテ如何ニスルヤ

答 1、最近ノ停車場ニ通報ス

2、附近ニ保線員アラハ同時ニ通報ス

問 鐵道ヲ破壞スルニハ裝藥ヲ軌條ノ外側ニ附スル理由

答 列車ノ脫線容易ナリ

問 合圖燈手旗及手ヲ以テ列車ヲ停止セシムルニハ如何ナルコトヲナスヤ

合圖燈ハ圈狀ニ振回ス(時間許サハ赤色燈ニス)

手旗ハ赤色ノ旗ヲ振ル

手合圖ハ兩腕ヲ高ク舉ク

輕便鐵道一軌匡ノ長サ及軌隔ヲ問フ

長サ五米ニシテ軌隔ハ六十珊ナリ

軌匡ヲ運搬スルニハ何人ヲ要スルヤ又組長ハ何處ニ位置スルヤ

六人ヲシテ組長ハ左側ノ後尾ナリ

電信隊下士ノ部

野戰建築柱班ニ要スル器具ノ種類ヲ問フ

梯子塵足鏡單旗手旗呼子笛鐵地鑿片鶴嘴鉋

野戰建築補繕班長ノ任務ヲ述ヘヨ

補繕班長ハ線路ノ各部分ヲ綿密ニ點檢シ補繕ヲ要スル部分ハ之ヲ作業手ニ指示シテ

實施セシメ且ツ自ラ之ヲ檢シ以テ強固ナル線路ヲ完成セシムルヲ任トス

普通ノ地形ニ於テ一里ニ要スル主ナル野戰建築裸線材料ノ標準ヲ問フ

電柱五二繼柱六掛碍子二〇曲柄碍子三十六番銅覆鋼線四吉米十四番鐵線三〇〇米

七十米突ノ柱間距離ニ於ケル十六番銅覆鋼線ノ垂度ハ幾何ヲ可トスルヤ

二十五珊米

碍碍子ヲ使用スヘキ場合ヲ述ヘヨ

川越谷越等ニ於テ支點間ノ距離百五十米以上トナリタル場合ニ用フ

十六番銅覆鋼線ヲ以テ川越線ヲ架設スル場合柱間距離ノ最大限如何

三百米突

回線ノ上部及下部ハ何ニヨリ決定セラルルヤ

電信回線中敵ニ近キ通信所ヲ上部トシ之ニ反スル通信所ヲ下部トス又橫方向ノ線路

ニアリテハ敵ニ對シテ右手ヲ上部左ヲ下部トス

問 軍用電報ノ種類並ニ其傳送順位ヲ問フ

答 傳送ノ順序ニ其種類ヲ舉クレハ左ノ如シ

一 軍機電報 二 障碍所報 三 至急官報 四 至急所報 五 通常官報 六 通常所報

問 線路障碍ノ種類ヲ問フ

答 斷線(全斷線半斷線時々斷線)混線(全混線時々混線)地氣(全地氣半地氣時々地氣)

問 現字機ニ於テ地氣障碍ノ場合ニ於ケル徵候ヲ述ヘヨ

答 檢電器指針常態ニ比シ強ク感動スルモ相互通信不能ナリ

問 避雷器ノ效能並ニ用途

答 空中電氣ノ通信機ニ侵入シ其機能ヲ害スルヲ防ク之レカ爲引込線中ニ挿入接続セラ

ル而シテ軍用制式ノモノハ其紐栓ノ應用ニヨリ線路轉換ノ用ニ供スルコトヲ得

問 異ナル電話線ヲ近接シテ架設スルトキハ如何ナル不利ヲ生スルヤ

答 並行シテ架設スルトキハ誘導作用ニヨリ相互混話ヲ生シ通話ヲ妨害セラル其他風等

ノ爲混線ヲ生スルコトアリ

問 電鈴式電話機ノ點檢法ヲ述ヘヨ

答 通話部ノ點檢兩接續螺子ヲ短絡シ押釦ヲ壓シ送話口ニ向ヒ音聲ヲ發シテ明瞭ニ受話

器ニ感シ次ニ短絡ヲ斷チタルトキ全ク受話器ニ感ナキトキハ通話部ニ故障ナキヲ知

ルヘシ

信號部ノ點檢發電器ヲ廻ハストキ電鈴鳴リ且ツ兩接續螺子ニ二指ヲ觸レ電流ノ通過

ヲ感スレハ信號部故障ナシ

問 軍用電話機ノ種類ヲ問フ

答 電鈴式電話機及震動式電話機ノ二トス

問 視號通信ノ種類ヲ問フ

答 手旗信號單旗信號回光通信ノ三トス

電信隊兵卒ノ部

問 軍用大被覆線一卷ノ長サ如何

答 五百米

問 軍用電柱ハ通常幾本ヲ以テ一梱包トスヘキヤ

答 十三本

問 野戰建築ニ於ケル控線ノ開キハ幾何ノ長サトスヘキヤ

答 地上ニ於ケル電中長ノ二分ノ一

問 兩横控線ノ用途ヲ述ヘヨ

答 長キ直線路ニ於テ線路ノ横振レヲ防キ又線路ニ高低アル場合低所ノ電柱ノ脱ケ扛ル

ヲ防クニ用ヒラル

問 野戰建築ニ於ケル電柱々間距離ノ標準如何

答 七十米突

問 大被覆線ヲ懸架スル際ニハ何米突毎ニ支点ヲ設クヘキヤ

答 三十米突以下

問 軍用電報ノ種類ヲ問フ

答 官報(軍機電報至急官報及通常官報ニ區分シ傳送順位ヲ定ム)

所報(障碍所報至急所報及通常所報ニ區分シ其傳送順位ヲ定ム)

問 現字機ニテ通信中其檢電器指針全ク動カサルニ至リシハ如何ナル徵ナリヤ

答 斷線

問 地線埋設位置ハ如何ナル處ヲ選フヘキヤ

答 濕潤セル土地若ハ水中ニ埋設スルヲ可トス

問 携帶檢電器ハ何ニ使用セララルモノナルヤ

答 線路ノ導通及電池ノ良否ヲ檢スルニ用フ

問 電鈴式電話回線ニ於テ自所ノ信號ニ依リ對所ノ應答ナク且ツ信號ニ當リ轉把ノ廻轉平常ヨリ輕キハ如何ナル徵ナリヤ

答 常ヨリ輕キハ如何ナル徵ナリヤ

問 斷線ノ徵トス

答 電鈴式電話機ト震動式電話機トヲ接続シ信號ヲナシ得ルヤ

信號シ得ス

問 電話機三欄以上ヲ接続セル回線ニ於テ通話セントスル場合ニ於ケル注意スヘキ件

答 他所ノ通話中ニアラサルヤ否ヤヲ確メタル後呼出信號ヲナス

輜重兵下士ノ部

問 輜重兵ノ本領如何

答 戰役間終始間斷ナク且ツ迅速ニ軍需品ヲ輸送シ之ヲ軍隊ニ補給スルニアリ而シテ軍隊ノ戰鬥力ヲ維持シ其ノ活動力ヲ保有スルト否トハ一ニ輜重兵ノ行動如何ニ依ルモノナリ

問 大行李監視員分進ノ命令ヲ受ケタル後ナスヘキ事ノ概要ヲ述ヘヨ

答 直チニ部下ヲ引卒シテ宿營地ニ到リ要スレハ自ラ先行シ所屬隊ニ就キ積載品卸下地車廠馬繫場宿舍ヲ承知シタル後先ツ積載品卸下地ヲ實視シ尙之ニ到ルヘキ道路ヲ選定シ然ル後大行李ヲ宿營地ニ進入セシメ積載品ヲ卸下シ車廠ヲ作り馬繫ヲ爲サシム

問 所屬歩兵大隊ノ展開前進スルニ當リ小行李長ハ如何ニシテ所屬大隊ト連絡スルヤ

答 小行李高級監視員ハ自ラ適當ノ地點ニ位置シテ目視ニ依リ連絡スルカ或ハ所屬大隊一長ノ許ニ至リテ命ヲ待ツカ又ハ所要ノ連絡兵(展望兵)ヲ出ス

問 小行李開濶シ且ツ敵砲火ニ曝露セル土地ニ於テ所屬隊ハ跟随セントスルトキノ隊形

答 二個ノ縱隊トナシ大ナル間隔ニ併列シテ行進スルカ或ハ各縱隊毎ニ通過セシム而シテ各縱隊ハ次級監視員ヲシテ引卒セシム

問 小行李敵ノ歩兵火ヲ受クヘキ土地ニ於テ一層戰線ニ近接セントスルトキノ隊形

答 損害ヲ減少スル爲メ數頭毎ニ一列ノ橫隊トナシ前進セシムルカ又ハ數頭毎ニ速歩ヲ

以テ逐次躍進セシム

問 歩兵大隊小行李監視員ハ戦闘間常ニ如何ナルコトニ着意スヘキヤ又其ノ理由

答 其ノ行動ヲ敏活ニシ所屬隊ノ進退ニ注意シ之ト確實ニ連絡シ常ニ彈藥ヲ交付スルノ

準備ヲ怠ルヘカラス是彈藥補充ノ良否ハ戦闘ノ勝敗ニ至大ノ關係ヲ有スレハナリ

問 行軍間大行李縦列敵ノ奇襲ヲ受ケ之ヲ避クルコトヲ得サルトキ如何ニ處置スルヤ

答 車陣ヲ作り之ニ據リ全力ヲ盡シテ防禦ス

問 車廠ハ如何ナル處ニ設クルカ

答 成ルヘク馬繫場ノ近傍廣キ空地ニシテ且ツ出入容易ナル所ヲ選フヘシ已ムル得サレ

ハ廣キ道路上ニ設クルコトアリ

問 大小行李ハ敵ニ觸接スヘキ虞ナキトキハ如何ニシテ行進スルヤ

答 聯(大)隊毎ニ合シテ其ノ所屬部隊ニ隨從ス

問 敵ニ觸接スヘキ虞アル時ハ大行李ハ如何ニシテ行進スルヤ

答 高級指揮官ノ命令ニ依リ一團トナリ本隊ノ後方若干距離ニアリテ行進ス

問 大行李行軍ノ爲メ集合スル場合ニ於テ監視員ノ注意ヲ要スル件如何

答 集合ノ位置時刻ヲ誤ラスシテ特ニ他部隊ノ行動ヲ妨碍セサルコトニ注意ヲ要ス

問 小行李ノ行進間及所屬隊開進ノ場合ニ於ケル位置如何

答 行軍間ハ所屬隊ノ後方十六歩所屬隊開進セハ通常横隊トナリ其ノ左翼後十六歩ニ位

置ス

問 小行李夜間ノ動作ハ特ニ靜肅ナルヲ要スル理由

答 然ラサレハ敵ヲシテ我軍隊ノ所在ヲ察知セシメ所屬隊ノ任務達成ヲ阻害スルヲ以テ

ナリ

問 輜重車輛ノ通過ヲ許ス路巾及傾斜如何

答 路巾約一米七十以上傾斜約六分ノ一以下

問 渡渉ヲ許ス水深如何

答 三九式五十珊三六式四十珊

問 斥候長トシテ敵情ノ報告ヲナスニ必要ナル要件

答 兵數時刻地點敵ノ行動斥候其後ノ處置

問 渡船中馬ノ水中ニ陥ルハ何處ヨリスルヤ又其ノ豫防法如何

答 多クハ後肢ノ移動ヨリ生スルモノトス故ニ後肢ノ後方ニ若干ノ餘地ヲ存スル如ク馬

ヲ保ツヘシ

問 馬繫場ヲ撰定スルニ當リ地方在來ノ厩ヲ使用スル時ノ注意如何

答 傳染病ナキコトヲ確メタル上ニアラサレハ使用スヘカラス

輜重兵兵卒ノ部

問 戰時主トシテ勤務スル隊ノ名稱如何

答 大小行李、縦列

問 小行李ハ如何ナルモノヲ積載シ大行李ハ如何ナルモノヲ積載スルヤ

答 小行李ハ主トシテ戦闘間必要ナル物品大行李ハ主トシテ宿營間必要ノ諸物品ヲ積載ス

問 縦列ノ種類如何

答 歩兵彈藥縦列砲兵彈藥縦列糧食縦列

問 行軍休止ノ際分隊長トシテ注意スヘキ要件如何

答 馬ノ状態特ニ蹄鐵ヲ検査シ負傷疾病ノ徴候アルカ検査シ次ニ馬裝、積載ノ有様ヲ検査シ不可ナルモノハ修正セシム

問 蹄鐵ノ検査ニハ如何ナルコトニ注意スルヤ

答 釘節完全ニシテ六本アルヤ鐵ト蹄トノ間ニ間隙ノナキヤヲ検査ス

輜重輸卒ノ部

問 輜重兵ハ馬ノ愛護ニ特ニ力ヲ用ヒサルヘカラサルハ何故カ

答 馬ハ輜重勤務ヲ達成スルニ最必要ノモノニシテ其ノ任務ヲ達シ得ルト否トハ馬ノ健否如何ニアリ故ニ之ヲ愛護シ必要ノ際充分活動シ得ル様爲シ置クヲ要ス

問 馬ハ如何ナル感念ヲ以テ之ヲ遇スルヤ

答 自己ノ身体ヨリモ大切ニ保護シ戰場ニ於テ生死ヲ共ニスルノ親友ノ如ク愛護ス

問 行軍休憩宿營等ニ於テ如何ニセハ右ノ趣旨ニ合スルヤ

答 1、疾病負傷ナカラシムル爲メ馬裝積荷ニ注意スルコト

2、非常ナル勞働ヲナシ疲勞ノ増加スルニ從ヒ益手入取扱ヲ懇切ニナスコト

3、水飼飼與ヲ充分ニ爲シ食慾ヲ旺盛ナラシムル如ク注意スルコト

問 輜重兵ハ任務達成上馬ニ次テ必要ナルハ何カ

答 車輛ニシテ車輛ノ保護充分ナラサレハ破損シテ輸送力ヲ減少スルニ至ル

問 車輛ノ保護ハ如何ニシテ爲スカ

答 轂内ヲ清潔ニシ注油ヲ充分ニシテ摩擦ヲ防クト各螺子ヲ緊締シテ破壊ヲ豫防スルニアリ

問 馭者トシテ行軍中小休止ニ第一ニ何ヲ爲スカ

答 蹄鐵ノ堅固ナルヤ否ヤヲ検査ス

問 蹄鐵ノ徴候如何

答 釘節ノ缺損釘ノ脱失蹄ト蹄鐵間ニ間隙ヲ生シタルモノ

問 歩兵大隊ノ小行李ニ在リテ衛生材料ヲ積載セル馭馬ノ馭者トシテ隊綱帶所ニ至ラントス然ルニ敵砲彈ノ落下スル場所ヲ通過セサルヘカラス如何ニスルヤ

答 速歩ヲ以テ危険地ヲ通過ス

問 前記ノ場合馭馬ハ砲彈ニ斃ル如何ニスルヤ

答 荷物ヲ卸脱シ自ラ材料ヲ負フテ指命ノ位置ニ至ル

問 縦列ノ馭者(又ハ豫備卒)トシテ舍營中警報ヲ聞ク如何ニスルヤ

答 1、直チニ起床武装シテ馬繋場ニ至リ轆馬ニ裝鞍シ命ヲ待ツ

2、豫備卒ハ車廠ニ至リ繋駕シ得ル如クシ命ヲ待ツ

問 宿營間緊急集合ハ如何ナル時ニ行フモノナルヤ

答 不意ニ敵襲ヲ受ケタル時等ニ速ニ集合スル爲行フ

問 大行李又ハ縦列ニアルモノノ緊急集合所ハ何處ナルヤ

答 車廠トス

問 馬ノ手入ノ際大切ナルコトハ何カ

答 馬体ノ異状ナキヤ頭ノ先キカラ蹄ノ先キ迄仔細ニ検査スルコト

問 馬若シ抵抗スルトキハ如何

答 音聲ヲ以テ威シ馬ノ眼ヲ見詰メルヲ可トス

問 此場合打ツタリ蹴タリシテ如何

答 反テ馬ノ反抗心ヲ強ムルヲ以テ不可ナリ

問 馬ニ近クトキノ心得如何

答 必ス聲ヲ掛クルヲ要ス否ラサレハ不慮ノ負傷ヲ爲スコトアリ

問 駄馬ノ鞍傷豫防上ノ注意如何

答 馬ノ手入ヲ能クスルコトト裝鞍積載ヲ適當ニスルコトニ注意シ尙脱鞍後局部ヲ按摩スルニ在リ

經理部

精神教育ニ就テ

問 經理官トシテ精神上特ニ如何ナル修養ヲ要スルヤ

答 品性ヲ高潔ニシ金錢物品ノ取扱ヒニ就テハ最モ溜正ヲ守リ公私ノ別ヲ嚴守スルコトノ修養ヲ要ス

問 經理官トシテ在郷中如何ナル心掛ヲ要スルヤ

答 軍人精神ヲ益強固ニシ勤儉力行ヲ以テ質素ノ範ヲ示シ常ニ法規ノ改廢等ニ注意シ之カ研究ヲ怠ラス且ツ經濟的志操ノ涵養ニ勉ムルヲ要ス

問 縫靴工長トシテ在郷中如何ナル心掛ヲ要スルヤ

答 軍人精神ノ涵養ヲ勉メ常ニ技術上ノ研究ヲ怠ラサルヲ要ス

軍隊經理ニ就テ

問 軍隊ニ經理ヲ委任セラレタルモノノ種類如何

答 糧食、被服、消耗品、陣營具馬匹ノ給與ニ係ル經理トス

問 如何ナル部隊ニ於テ糧秣委員ヲ設クルヤ

答 歩兵聯隊下ノ大隊ニ於テ之ヲ設ク

問 金櫃ニ收藏スヘキモノハ何々ナルヤ

答 前渡金並ニ委員經理ニ屬スル現金其ノ他法規上取扱フヘキ現金及之等ノ現金ニ代ル

へキ書類出納官吏ノ印章、引出切符、保管證書、現金出納簿トス但シ現金出納簿ハ確實ナル方法ニヨリ金櫃外ニ格納スルコトヲ得

問 軍隊ニ於テ物品ヲ購買スル手續如何

答 物品ノ數量、品質、價格、供給者ノ撰定並検査ノ方法等ヲ經理委員商議ノ上首座之ヲ決シ聯隊長ノ認可ヲ受ケ聯隊長ノ名ヲ以テ供給契約ヲナスモノトス
但シ日常所要ノ物件ニ係ル調辦ハ委員商議ノ上概括シテ聯隊長ノ認可ヲ受ケ委員タル主計之ヲ行フ

問 中隊ニ於ケル下士以下ノ金錢給與ハ如何ナル手續ニテ行フヘキヤ

答 金錢給與原簿ニ支給額ヲ記入シ中隊長立會ノ上曹長ヨリ各人ニ支給シ給與原簿ニ捺印セシムルモノトス

問 經理委員ノ職務如何

答 經理委員ハ諸給與ノ定額受領、給與ノ實施、金錢物品ノ出納保管ニ係ル事務及工卒ノ教育ヲ掌ル

問 工場ニ於テ工場ノ注意スヘキ要件如何

答 作業中雜談喫煙等ヲナサシメサルコト
私ニ他人ノ依頼ヲ受ケ諸物品ヲ製作修理シ又ハ諸材料等ヲ工場外ニ持出サシメサルコト
日々作業ノ終リニ於テ工場内外ノ掃除、諸物品ノ整頓其ノ他火氣ノ消火ヲ検査スル

コト

問 計手ノ職務如何及一朝就職ノ場合ニ於テ此職務ヲ完全ニ遂行セン爲ニハ在郷間ニ於テ平素如何ナル心掛ヲ要スルヤ

答 主計ノ附屬シアル部隊ニ在リテハ其ノ命ヲ受ケ計算記簿及會計經理ノ細務ニ服シ然ラサル部隊ニ在リテハ經理委員又ハ直屬將校ノ命ニヨリテ服務ス

在郷中ト雖經理法規ノ改廢等ニ關シテハ常ニ注意ヲ怠ラサルヲ要ス

問 被服修理上工場ノ注意スヘキ要件如何

答 修理スヘキ被服ノ地質ト同程度ノ修理材料ヲ用ユルコト
可成經濟的ニ材料ヲ使用スルコト
堅牢ヲ主トスルモ亦外觀ヲ損セサルコト
軍靴ニアリテハ特ニ原形ヲ維持シ修理シテ却テ靴傷ヲ起スカ如キ事ナキ様注意スルコト

平時給與ニ就テ

問 准士官以上ニ給スル俸給ノ支給區分如何

答 在職中ノモノニハ在職俸、休職停職中ノモノニハ休職停職俸、待命中ノモノニハ在職俸十分ノ八ヲ給ス

問 諸加俸ノ種類如何

- 答 隊長加俸、在勤加俸、憲兵加俸、外泊加俸、技術加俸、憲兵通譯加俸、在隊加俸トス
- 問 下士退營賜金ニ如何ナル場合ニ給スルヤ
- 答 五年以上營内ニ居住シテ下士タルモノニハ准士官トナリタルトキ現役滿期若ハ現役免除又ハ死亡ノトキ營外居住ニ轉シタルトキ之ヲ支給ス
- 問 平時准士官以上及營外居住下士以下ニ糧食ヲ給スル場合アリヤ
- 答 野外演習中自炊ヲナストキ若ハ演習召集ノ際兵營内ニ詰切ヲ命セラレタルトキ又ハ衛戍分遣隊服務中ハ糧食ヲ給ス
- 問 野外増賄料ハ如何ナル場合ニ給スルヤ
- 答 野外演習中自炊ヲナス場合之レヲ給ス
- 問 目下兵食一日ノ定量ハ幾何ナルヤ
- 答 精米四合二勺精麥一合八勺合計六合ヲ一日ノ定量トス
- 問 補助賄料ハ如何ナル場合ニ給スヘキモノナルヤ
- 答 戰用糧食品ヲ新陳交換ノタメ平時軍隊ノ糧食ニ換給シタル場合ニ給スルモノトス
- 問 馬裝手當ハ如何ナルモノニ給スルヤ
- 答 士官初メテ乘馬本分ノ職ニ就キタルトキ又ハ乘馬本分タル上長官ノ職務心得ヲ命セラレタルトキニ給スルモノトス

戰時經理ニ就テ

- 問 戰時ニ於テ臨戰合圍地境ニアル者ニ給スヘキ増給ハ幾何ナルヤ
- 答 准士官以上軍屬ニハ俸給五分ノ一下士以下ニハ給料ノ四分ノ一ヲ増給ス
- 問 戰時就職手當ハ如何ナルモノニ給スルヤ
- 答 豫備後備ノ軍籍ニ在ル准士官以上ニシテ召集ニ應シ就職スルモノニ對シ一回限リ支給スルモノトス
- 問 戰地ニ於テ加給品ヲ給スル場合如何
- 答 特別ノ狀況ニ依リ其ノ地所在ノ最高等司令官ニ於テ必要ト認ムルトキ之ヲ給ス
- 問 生獸ヲ給養ニ充テントスル時ハ其屠殺前後ニ於ケル注意如何
- 答 生獸ハ屠殺前二三時間ノ休息ヲ與ヘ且ツ其ノ肉ハ屠殺後二十四時間ヲ經テ用フルヲ可トス
- 問 携帶口糧ハ一人何日分ヲ携帶スルヤ
- 答 甲一日分乙一日分合計二日分ヲ携行ス
- 問 携帶馬糧ハ一馬幾何携帶スルヤ
- 答 各馬大麥二升五合ヲ携帶ス但シ騎兵及之ト行動ヲ共ニスルノ乘馬ハ二升ヲ携帶ス
- 問 携帶口糧甲乙ノ區分如何
- 答 甲ハ精米六合鑊詰肉四十匁食鹽六匁乙ハ乾麵匁百八十匁鑊詰肉四十匁食鹽六匁トス

但シ騎兵及之ト行動ヲ共ニスル部隊ノ乗馬者ハ鐘詰肉ニ限リ二十トス

問 軍隊ノ携行スル豫備被服ハ如何ナル場合ニ使用スヘキヤ

答 戦地ニ於ケル着裝被服ノ補欠ニ充ツルモノトス

問 戦時ニ於ケル支拂命令官及現金前渡官吏ハ誰ナルヤ

答 仕拂命令官ハ東京經理部長現金前渡官吏中主任現金前渡官吏ハ中央金櫃部長分任現金前渡官吏ハ各師團金櫃部長各部隊主計ハ分任官トス

問 金錢ノ仕拂ニ當リ如何ナル事ヲ調査スルヤ

答 正當債主ナルヤ否ヤ代理人ナルトキハ委任狀ヲ有スルヤ否ヤ其ノ費用ハ正當ニシテ必要ナルヤ否ヤ金額ノ計算ニ違算ナキヤ否ヤ

問 証明上必要書類ノ完備セルヤ否ヤ

答 野戦軍ニ於ケル各部各隊ノ所要金額ハ何レヨリ受領スルヤ所属金櫃部長ヨリ受領ス

問 計算証明上証憑書類ノ編纂法如何

答 各目ニ區分編纂シ其ノ金額紙數ヲ表紙ニ記載シ概算渡ニ係ルモノアルトキハ其ノ金額ヲ附記ス

但シ各目ニ區分シ難キモノハ其ノ關係書類ト共ニ各項ニ區分編纂シ各目仕譯書ヲ添付ス

衛生 一部

精神教育ニ就テ

問 看護者ノ本分ヲ問フ

答 看護者ハ平時ト戦時トニ患者ヲ看護スルヲ本分トス

問 看護者カ其ノ本分ヲ全フスルニ當リ特ニ勇氣ト服従トヲ要スル所以

答 看護ニ伴フ種々ノ不快ナル感覺ト悲惨ナル境遇トヲ意トセス危険ナル位置ニアリテ従容トシテ動作シ又傳染病ヲ忌ミ嫌フコトナキハ勇氣アルモノナラテハ能クセザル所ナリ

患者ノ手當ニハ定マリタル方法ト順序トアリ若シ之ヲ誤マルトキハ治癒スヘキ期ヲ長クシ甚タシキハ死セシムルコトアリ始終上官ノ命令ニ服従スルニアラテハ手當ノ完キコトヲ得ス

問 患者ヲ看護スルニ當リテハ患者ヲジテ信頼セシムル事最必要ナリ如何ニ心掛クヘキカ

答 慈愛誠實ヲ旨トシ言語舉動ヲ慎ミ患者ノ苦痛ニ同情シ穢シキ事ヲモ快ク爲スヘシ苟モ粗暴殘忍輕操浮薄等ノ舉アルヘカラス

問 衛生材料ハ武器ト同一ニ大切ナリ其ノ所以

答 衛生部員ノ任務ヲ遂行スル上ニハ衛生材料ヲ寸時モ缺クヘカラサルモノニシテ兵科ノ武器ニ於ケルカ如シ常ニ大切ニ取扱フヘシ

問

看護者トシテノ名譽ト直接武器ヲ執リテ敵ニ當ルモノノ名譽トニ差違アリヤ

答

看護者ハ已ニ軍事上ノ教育ヲ受ケ更ニ學術上ノ特科ヲ修メ得テ軍役ニ服スルモノナリ故ニ其ノ學術科ヲ適用シテ患者ヲ看護スル名譽ハ武器ヲ執リテ敵ニ當ルモノト異ルコトナシ

問

在郷看護長卒トシテ學術上ノ智識ヲ如何ナル方法手段ニ依リ増進ヲ計ルヤ

答

家族ハ勿論近隣者中ニ病氣或ハ不慮ノ傷病ニ罹リタルモノアル時ハ豫テ習得シタル學術ヲ實用シ以テ看護ノ世話ヲナシ又軍隊所在地ニ到ル時ハ必ス衛戍病院又ハ醫務室ヲ訪問シ衛生勤務ノ實況ヲ見學シ新式衛生材料器械ノ説明ヲ乞ヒ徵兵検査衛生隊演習等ノ際ハ勉メテ見學シ滿期退營者アル時ハ必要ナル講話ヲ聽取スル等ノ手段ヲ講スルニアリ

看護教程ニ就テ

問

戰時衛生機關ノ名稱ヲ戰線ヨリ始メテ列述セヨ

答

隊附衛生部(人員ノ半數ニテ隊繙帶所(大正四年改)ヲ設クルコトアリ)衛生隊(本部及擔架中隊車輛中隊ヨリナリ戰團始マレハ本部ハ繙帶所ヲ開キ中隊ハ患者ヲ運搬ス)野戰病院、野戰豫備病院、兵站病院
此外患者輸送部(野戰病院以後ノ諸病院ヨリ後方ニ患者ヲ送ル)患者宿泊所、患者集合所アリ又患者ヲ送ルニ病院列車、病院船、患者列車、患者輸送船等アリ又内地ニ

ハ衛戍病院アリ

問

軍醫カ患者ヲ診斷シテ如何ナル種類ニ區分スルカ(診斷區分)

答

就業、練兵休、乘馬休、入室、入院

問

病症等差トシテ一等症トナスヲ得ルモノハ如何(下士)

答

戰鬪ノ爲傷痕ヲ受ケタルモノ
公務ノ爲メ傷痕ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタルモノ
戰地ニテ若ハ公務旅行中流行病ニ罹リタルモノ
以上各項ノ傷病一旦癒エタル後再發シタルモノ

問

行軍患者ノ等差ヲ述ヘヨ

答

一等患者、二等患者、三等患者

問

行軍患者等差ノ區分ヲ問フ

答

一等患者、歩行ニ堪ヘサルモノ又乘馬ノモノニアリテハ歩行乘馬共ニ堪ヘサルモノ
二等患者、歩行シ得レトモ武器背囊等ヲ携行スルコト能ハサルモノ又乘馬ノ者ニ在リテハ乘馬シ得レトモ武器等ヲ携帶スルニ堪ヘサルモノ或ハ武器ヲ携帶シ得ルモ乘馬スルニ堪ヘサルモノニシテ歩行スルコトヲ得ルモノ
三等患者、武器背囊ヲ携帶シ得レトモ又乘馬者ニアリテハ乘馬スルコトヲ得レトモ隊伍ニ列スルコト能ハサルモノ
而シテ一等患者ハ馬車ニテ送リ二等患者ハ携帶品ヲ卸シテ徒歩セシメ或ハ自ラ馬ヲ

牽キ徒歩セシメ三等患者ハ隊伍ヲ除キ步行セシムルモノトス
 行軍途中晝食直後ノ行進ニ際シ駆歩ニ當リ胃部引ツル如キ痛ミアリテ隊伍ニ列シテ行
 動シ難キ兵卒生セシ時看護卒ノ處置

中隊長及軍醫ニ報告後軍醫ノ指示ヲ受ク
 軍醫アラサルトキハ行軍患者等差證ニ所用ノ記入ヲナシ三等患者トシテ隊伍ヲ除キ
 步行セシメ便意ノ有無ヲ聞キ健胃散位ヲ與フ以上ノ處置ハ同時ニ中隊長及軍醫ニ報
 告スルモノトス

胸腔内ノ主ナル臓器ノ名稱

心臟、肺臓、食道、氣管、胸管、大血管

四肢ニハ六大關節アリ其ノ名稱及各關節ヲナス骨ノ名稱

- (1)、肩胛關節、肩胛骨ト上膊骨トノ關節
- (2)、肘關節、上膊骨ト前膊骨トノ關節
- (3)、腕關節、前膊骨ノ二骨ト腕骨第一列トノ關節
- (4)、跨關節、腕骨ト大腿骨トノ關節
- (5)、膝關節、大腿骨ト脛骨トノ關節
- (6)、足關節、下腿骨ト距骨トノ關節

食物中ノ養素ハ何處ヨリ血中ニ吸入サルルヤ
 一分ハ胃壁ノ血管ヨリ大分ハ腸内面ノ淋巴管及血管ヨリ吸收サル淋巴管ヨリ吸收サ

レタルモノハ胸管ニ入り左ノ鎖骨下靜脈ニ達ス斯クシテ全身ノ組織ニ分配サル
 銃創ヲ受ケ創内ニ彈丸ノ留マレルモノハ彈ヲ除キテ手當スルカ又除ク必要ナキカ

出血ノ處置ノ種類

- (1)、創部ヲ高ク擧ケ壓縮帶ヲ施ス
- (2)、創ヨリ心臟ニ近キ關節ノ屈側ニ丸メタル布片ノ類ヲ挟ミ關節ヲ強ク曲ケ固定ス
- (3)、一時ノ止血法トシテ以上ノ他指壓彈性帶及創内ニ施ス損傷血管閉鎖
- (4)、肢ノ挫折セラレ大血管傷キタルニ出血セサルハ不時ノ出血ニ備フル爲緩ク止血
 帶ヲ施ス

狂犬又ハ毒蛇ニ四肢ヲ咬マレシトキ看護長卒トシテ施スヘキ處置

傷及ヲ創ノ上ニテ布片紐帶等ヲ以テ緩ク縛リ棒ヲ帶ノ下ニ挟ミテ廻ハシ強ク緊約シ
 然ル後毒ヲ除ク爲創部ニ吸角ヲ貼スヘシ但シ吸角若ハ之ニ代用スヘキモノナキトキ
 ハ毒ヲ火方ヲ以テ燒キ滅シ若ハ藥劑ニテ蝕シテ滅スヘシ

寒冷風雪ノ爲倒レタルモノノ救急處置

風ヲ受ケサル地又ハ冷ナル地ニ移スヘシ
 被服ヲ除キ雪又ハ水ニ浸シタル布ニテ輕ク擦ルヘシ
 體柔クシレハ冷ナル寢具ニ移シ乾キタル毛織物又ハ布片等ニテ全身ヲ摩ルヘシ要ス
 ルトキ 人工呼吸法ヲ行フ

醒メントキハ微温湯茶ヲ吞マシメ次テ少量ノ酒類アラハ飲マシムヘシ
寢具ハ次第ニ厚クシ室ハ徐々ニ暖ムヘシ

問 法律ノ傳染病トハ如何

答 虎列刺、赤痢、腸室扶斯、發疹チフス、痘瘡、ヂブテリヤ、ベスト、猩紅熱、バラ
チブス、流行性腦脊髄膜炎

問 病芽ノ體ニ入ル門ヲ述ヘヨ

答 (1)、空氣ニ含マル、モノハ呼吸器ヨリス
(2)、飲食物ニ含マル、モノハ營養器ヨリス
(3)、創ヨリス

問 痲刺里亞ノ豫防法

答 (1)、患者ヲ隔離シテ蚊ニ螫サシメサルコト
(2)、蚊ヲ撲滅スルコト
(3)、他人ニ蚊ヲ避ケシムルコト

問 服藥ヲ拒ム患者ニハ如何ナル心掛ト方法ヲ以テスルカ

答 懇切ト熱心トヲ以テ目的ヲ達スルヲ得ヘシ
一旦口ニ銜ミ看護者ノ去ルヲ窺ヒ吐クモノアリ此時ハ服用セシメタル後談話スヘシ
如何ナル場合モ暴力ヲ用フヘカラス
患者ニ眠ヲ促スニハ如何ニスヘキカ

答 (1)、眠ニヨロシキ位置ヲ取ラジメ室ヲ暗クスヘシ
(2)、近傍ニテ音響ヲ發スヘカラス私語スヘカラス
(3)、靜ニ話シ又物ヲ讀ミ聞カセ慰ムヘシ
(4)、四肢ヲ輕ク靜ニ摩ルヘシ
(5)、夏ハ涼シク熱アルモノニハ清涼飲料ヲ與フヘシ
(6)、汗多ク出タルトキハ襦袢若ハ病衣ヲ更フヘシ又濕リタル敷布藁布圍ヲ換フヘシ

問 眠ヲ促ス藥ハ軍醫ノ處方ニ依ル

健康ナル大人ノ脈搏及呼吸體温ハ幾何
答 脈搏ハ一分間六十乃至八十平均七十二、呼吸ハ一分間十五乃至十八、體温ハ攝氏三
十六度三分ヨリ三十七度

問 繃帶ノ効用

答 (1)、患部ヲ被ヒテ外ヨリ來ル害物(例之ハ塵蟲空氣中ノ病芽等)ヲ遠サク
(2)、創ノ縁ヲ合セ血ヲ止メ創ノ液ヲ吸ヒ取ル
(3)、弛メル部又ハ傷ケル部ヲ支フ
(4)、脱臼若ハ骨折ヲ整復シタル後其跡ヲ固定ス
(5)、外用藥ヲ體ノ表面ニ附ケ置ク
(6)、體ノ一部殊ニ四肢ニ壓(壓迫)若ハ引(牽引)ヲ行フ
大便ヲ通セシムルタメノ灌腸藥ヲ問フ(下士)

圖 催下ノ灌腸ニハ水若ハ之ニ少シノ食鹽石鹼、オレーフ油、蓖麻子油等ヲ加ヘタルモノ若ハ「グリセリン」ヲ用フルナリ共ニ微温ナルヲ要ス

「グリセリン」ヲ用フルトキハ「グリセリン」灌腸器ヲ以テ施スヲ例トス

圖 按摩ハ按摩スル體部ノ血流ヲ増シ營養状態ヲ善クス其理由如何(下士)

答 (1)、其部ノ血流ハ器械的ニ促サル

(2)、其部ノ筋ハ作業ヲナス時ノ如ク收縮ス此ノ時ノ筋ノ血流ハ休ム時ヨリモ早ク又多シ

(3)、其部ノ小血管ヲ擴カラシム血管ヲ流ルル血ハ縮ミタル血管ヲ流ルルモノヨリ多シ

圖 消毒方法ニ適用スルモノハ如何(下士)

答 (1)、蒸氣熱

(2)、煮沸熱

(3)、火熱

(4)、藥物——昇汞水(千倍或ハ五千倍)石炭酸水(五千倍或ハ二千倍)クレゾール水(百倍或ハ五十倍)クレシン(二十倍以上ノモノ)石灰乳、フオルマリン、蒸氣等

圖 喝病ノ原因及救急法

答 原因、暑キトキ空氣濕ヒ風ナキニ劇動シ又久敷密集シテ行進スルニヨリ發スルコト多シ其誘因左ノ如シ

- 1、虛弱
- 2、病後及過勞
- 3、眠ノ不足
- 4、飢渴

- 5、飲食及性交ノ過度
- 6、勞働ニ慣レサルコト

救急法背囊ヲ卸シ被服ノ束縛ヲ解キ空氣ノ流通好キ處ニ臥サシムヘシ臥サシムルニハ蔭アル地ヲ撰フヘシ

頭ヲ高クスヘシ扇ノ類ニテ風ヲ送ルヘシ

顔胸ニ水ヲ灌キ濡シタル布片ニテ胸ヲ覆フヘシ

水アラハ手拭ニ包ミ頭胸ニ當ツヘシ

上肢下肢ヲ摩ルヘシ

呼吸弱キトキハ人工呼吸法ヲ行フヘシ

醒メタル後ハ冷タキ湯茶又ハ水ヲ吞マシメ醋ノ如キ臭強キモノヲ嗅カシメ再ヒ失念スルコトヲ防クヘシ

醒メテ忽チ眠ルモノハ生命危シ監視ヲ怠ルコト勿レ

腸病起ルニ先タチ顔赤クナリ頭痛スルニ心附カハ早ク腸病ノ處置ヲナスヘシ

圖 乳劑トハ如何ナルモノカ(下士)

答 乳劑トハ油等本來水ト混シ難キ藥物ヲ「アラビヤゴム」末若ハ卵黃ノ媒ニ由リテ水ト親密ニ混セシメタル乳濁液ナリ其目的ハ不快ノ臭味アル藥物ヲ服用シ易カラシムルニアリ

圖 處方トハ如何ナルモノカ

問 藥名分量及用法ヲ示スモノニシテ處方録ト處方箋トノ別アリ處方録ハ入院患者ニ處方箋ハ營内患者ニ用ヒラル

問 毒藥、劇藥、尋常藥ヲ容器ニ入レテ貯ヘルニ如何ナル區別ヲナスカ

答 毒藥ノ容器ニハ赤欄赤字、劇藥ニハ赤欄黒字、尋常藥ニハ黒欄黒字ノ名標ヲ附ク

問 戰時各自携帶スル衛生材料ハ何ナルカ

答 1、將校以下一般ニ繙帶包 2、軍醫ハ軍醫携帶囊又ハ此ト携帶外科囊ノ二ヲ 3、看護長ハ醫療囊 4、看護卒ハ繙帶囊

問 擔架卒ト補助擔架卒トノ差異

答 擔架卒ハ左腕ニ赤十字ノ徽章ヲ着ケ補助擔架卒ハ右腕ニ白布ヲ纏フ前者ハ衛生隊ニ屬シ後者ハ隊繙帶所開設ニ際シ隊長ノ命ニヨリ一時患者ヲ救助スルモノナリ

問 如何ナル處ニ注意シツツ患者ヲ搜索スルカ

答 搜索ニハ患者ノ據ルヘキ地物(岡ノ蔭、地隙、垣ア下、溝、家屋ノ蔭)ニ注意スヘシ 創ヲ受ケテ卒倒セシモノ又ハ重キ傷アルモノモ戰友ノ助ニ依リテ地物ニ據ル事アリ 火線ノ現位置ニ進ム前ニ一タヒ火線タリシ地點ニ注意スヘシ 戰闘前ニ隊ノ前進セシ道路戰闘前後ニ休止シ又ハ飲食セシ地點ニ注意スヘシ 兵食被服等ノ遺棄シアル處ニ注意スヘシ 布片等ノ乘アル處ニ注意スヘシ 搜索ニハ患者ノ救ヲ求ムル聲、呻吟、呻聲等ニ注意スヘシ夜間ニ於テ殊ニ然リ

敵ヲシテ聞カシメサル程ノ聲ニテ患者ヲ喚フヘシ

問 野戰病院ニ負傷者ノ收容サルニハ普通如何ナル處ヲ通ルカ

答 直ニ戰線ヨリ野戰病院ヘ行クコトアリ隊繙帶所ヲ通り行クコトアリ隊繙帶所繙帶所ノ二ヶ所ヲ經ルモノアリ繙帶所ノミヲ經ルコトアリ

問 夜間敵前ニ於テ作業スルトキノ注意

答 夜間ハ殊ニ沈勇ナランコトヲ心掛クヘシ 高聲ヲ發スヘカラス外套ハ裾高ク掲ケ步行ハ拔足ヲナスヘシ 裝具ハ確實ニ裝ヒ音ヲ發セサル様ニシ擔架ニヨル動作ハ凡ヲ靜ニナスヘシ

問 繙帶包ハ各自ノ衣ノ何處ニ納メ置クモノナリヤ又何々ヨリ成ルヤ

答 衣ノ左裾裏ニ納ムルモノトス 三角巾一枚、昇冪ガーゼ四枚、ガーゼ包紙二枚及被包布一枚ヨリ成ル

問 繙帶包ノ使用法如何

答 被包布ヲ解キ包紙ヲ破リ「ガーゼ」ヲ兩指ニテ撮ミ物ニ觸レサル様「ガーゼ」ヲ開キ指ノ觸レサル所ヲ創ニ當テ殘レル「ガーゼ」ヲ其上ニ重ネ三角巾ニテ卷クヘシ 一タヒ開キタル繙帶包ノ中ノ「ガーゼ」ハ一時ニ使ヒ盡スヲ要ス被包布及包紙ハ創ニ用ヒサルモノトス 創口ニ箇所アラハ「ガーゼ」一包宛ニ箇所以上アラハ一枚宛用ヒ殘レル「ガーゼ」ハ重キ創口ニ當ツヘシ

- 問 衛生部員敵ノ手ニ陥リタルトキハ如何ナル待遇ヲ受クルヤ(下士)
- 答 俘虜トシテ取扱ハルルコトナク赤十字條約ニヨリ尊重保護セラレ其期間敵國軍隊ニ於ケル同一階級ノモノト同様ノ給與及俸給ヲ敵國ヨリ受クルモノナリ
- 問 衛生部員武器ヲ把リテ敵ニ抵抗スルモ赤十字條約ニ依ル保護ノ特權ヲ失ハサル場合アリ如何ナル場合ナリヤ
- 答 自己及傷病者ヲ防衛スル場合ナリ
- 問 赤十字ノ徽章ハ如何ナル場合ニモ使用スルコトヲ得ルヤ
- 答 赤十字條約ニ依リ保護セララルモノヲ標榜スル爲ノ外戰時ニ於テノミナラス平時ニ於テモ使用スルコトヲ得ス
- 問 ペロツク氏管ハ如何ナルコトヲナスモノカ(下士)
- 答 鼻腔ヲ後方ヨリ栓塞シ衄血ヲ止ムルニ供ス
- 問 套管針ハ如何ナル部ヨリ成ルカ(下士)
- 答 針、套管、鞘帽ノ三種
- 問 醫療囊、繃帶囊ノ最モ簡單ニ識別スルニハ何ニヨルカ
- 答 方形ノ白地ニ赤十字章ヲ附スルハ醫療囊ニシテ赤十字章ヲ楕圓形ノ白地ニ現ハスハ繃帶囊ナリ
- 問 天幕ハ何ノ用ニ供スルヤ
- 答 野外ニ建テ患者ヲ容レ又衛生勤務ヲ行フ所トナスニ用フ

軍隊内務書

- 問 道路行進上ノ注意如何
- 答 道路ハ左側ヲ通行シ人道車馬道ノ別アル所ニ於テハ其ノ區別ヲ守リ數人同行スルトキ狭キ道路ニ在リテハ二人以上廣キ道路ニ在リテハ三人以上併列セヌ又高聲ニ談話スルコトナク上級者又ハ古參者ノ步調ニ倣ヒ雨雪天ノ外ハ外套ノ頭巾ヲ冠リ又ハ衣袴ノ「カワシ」ニ手ヲ入ルル等懦弱ノ行爲ヲナササルコト
- 問 營内ニ在リテハ水ノ不足ヲ感スルカ如キコトナキニ拘ラス常ニ其節約スヘキヲ注意セラルルハ何故ナルカ
- 答 戰地ニ於テハ充分ニ水ヲ得ルコト困難ナルヲ以テ平素ヨリ之レカ良習慣ヲ養成センカ爲ナリ
- 問 被服ノ小修理ヲ兵卒各自ニ行ハシムルハ何故ナルヤ
- 答 戰地ニ於ケル豫習トシテ巧ニ補綴シ得セシメンカ爲メナリ
- 問 召集中ニ於テ現役者ニ對スル態度如何
- 答 先輩者トシテ中隊家庭ヲ益々圓熟セシメ在郷中ノ所感又ハ滿期退營後ニ於ケル覺悟等ニ就キ談話シ教ユルヲ可トス
- 問 在郷軍人トシテ公衆ニ對スル心懸如何
- 答 穩和謙讓ヲ旨トシ決シテ粗暴野卑ナル言行アルヘカラス老幼婦女ニ對シテハ道ヲ避

ケ席ヲ讓ル等諸事親切ヲ旨トシ常ニ自ラ衆ノ模範トナリ後進者ヲ指導シテ良民タラシムルノ覺悟ヲ要ス

問 何故官物ヲ大切ニセサルヘカラサルヤ

答 軍隊ノ使用セルモノハ總テ租稅ヨリ成リ國家ノモノニシテ個人ノモノニアラス故ニ國家ヲ思フモノハ之ヲ粗末ニ扱フヘカラサルハ明カナル理ナレハナリ

問 軍隊ニ於テ隊長カ規定セシ以上ノ金錢ヲ所持スルコトナキ様制限セラレアルハ何ノタメカ

答 軍人ハ勅諭ニ質素ヲ旨トスヘシト諭サレ給ヘリ故ニ軍人ハ軍人ラシク兵卒ハ兵卒ラシク質素ニ各階級ニ應シ身分相應ニセヨトノ御趣旨ナリ

問 休暇ニ於テ營内ニ於テ休養スルヲ立前トスルハ何ノタメカ

答 外出度數多ケレハ驕奢ノ風ニ感シ易ク餘計ノ金錢ヲ費スノ弊アレハナリ夫レカタメ隊ニハ外出セサルモ差支ナキ様酒保ニテ飲食物日用品等ヲ廉價ニ販賣スルノ便ヲ設ケラレアリ

問 何故ニ衛生ニ注意セサルヘカラサルカ

答 何ヲナスニモ身體ノ健康ナルカ最モ肝要ナリ殊ニ一旦緩急アルニ際シテハ直チニ應召シ得ル爲ニハ常ニ健全ナラサルヘカラス乃チ平素衛生ヲ守リ筋骨ヲ練リ置クヲ要スル所以ナリ

問 各自ノ平素心掛クヘキ衛生上ノ注意ハ如何

答 一、入浴ヲ怠ラス頭、面、手足等ヲ洗ヒ爪ヲ剪リ齒ヲ磨キ總テ身體ヲ清潔ニスルコト

二、被服寢具ハ時々日光ニ曝シ能ク塵ヲ掃ヒ殊ニ夏期被服ノ洗濯ヲ怠ラサル様注意スルコト

三、被服ニ塵ノ附キシ時ハ室内ニ入ル前能ク掃除スルコト

四、家屋ノ内外ノ掃除ヲ勵行シ殊ニ便所勝手ヲ清潔ナラシムルコト

五、過飲過食ヲ慎ミ殊ニ變敗ノ兆アル飲食物、未熟ノ果實ヲ避クルコト又劇動後一時ニ多量ノ飲食ヲ用ヒルコトナキ様注意スルコト又食物ハ能ク咀嚼スルコト肝要ナリ

六、茶碗、箸、手拭等ハ各自ノ專用ト爲シ決シテ貸借シ又ハ二人以上混用スヘカラサルコト

問 工場内ニ於テ工卒ノ服膺スヘキ事項

答 一、作業中靜肅ヲ旨トシ雜談喫煙ヲ許サス又工場ハ清潔ヲ保ツヘシ

二、工場ノ許可ナク工場ヲ離レサルコト

三、他人ノ依頼ニヨリ諸物品ヲ製作修理シ又ハ持出サルコト

四、貸與器具ヲ叮嚀ニ取扱ヒ破損紛失等アレハ工場ニ届出ツルコト

五、作業ノ終リニ於テ掃除整頓ヲナシ火ヲ消シ工場ノ検査ヲ受クヘシ

(軍隊内務書第二十四章第十四ノ十一)

病馬看護法ニ就テ

100

問 野外ニ於テ蹄葉炎發生セル時ハ如何ニスルヤ

答 直チニ其旨上官ニ報告スルト共ニ脱鞍シ多量ノ飲水ヲ與ヘ河川等ニ導キ脚ヲ冷スヘシ

問 野外ニ於ケル熱射病ノ應急手當如何

答 病馬ヲ樹蔭ニ導キ速ニ脱鞍スルト共ニ全身ニ東葉摩擦ヲ行ヒ一方多量ノ氷或ハ水ヲ以テ頭部ヲ冷スヘシ此際耳ニ水ノ入ラサル様注意スヘシ

問 疝痛ノ原因如何

答 穀類ノ飽食飲水及運動ノ不足氣候ノ急變不良ノ飼料等其主ナル原因ナリ殊ニ平素胃腸加答兒(下痢)等ヲ患フル馬ハ罹リ易シ

問 疝痛ノ應急手當法

答 毛布ヲ以テ馬體ヲ被ヒ輕キ牽運動ヲナサシメ或ハ腹部ニ東葉摩擦ヲ行ヒ又洗腸ヲ行フコトアリ

問 疝痛馬ノ徵候

答 食慾ナク不安ノ狀ヲ呈シ前掻キヲナシ或ハ腹部ヲ蹴ルカ如キ狀ヲ呈シ或ハ頭頸ヲ延シ體ヲ曲ケ腹部ヲ嗅クノ狀ヲ呈シ或ハ排尿便通ヲ試ミントシ或ハ伏臥セントシ或ハ突然轉倒苦悶スルモノ等アリ

問 縋帶ノ卷方ニ幾種アリヤ

答 環行帶、螺旋帶、折轉帶、交叉帶トス

問 健康馬ノ體温呼吸

答 體温三八・五——三八・〇
呼吸一〇——一二

問 繁輝ノ原因如何

答 手入ノ不良濕氣、寒冷等ヲ主トス又甚シキ不良ノ裝蹄モ其原因トナルコトアリ

問 蹄又腐爛トハ如何ナルモノヲ言フヤ

答 蹄又ノ腐レタルモノニシテ患部ヨリ灰黑色ノ惡臭アル液汁ヲ排泄シ蹄又遂ニ萎縮ス蹄又腐爛ノ治療法如何

答 毎日患部ヲ清潔ニシ木「ターム」「セラット」氏液等ヲ浸シタル棉花ヲ挿入シ置クヘシ又食鹽ヲ入ルルモ可ナリ

蹄鐵術教程ニ就テ

問 蹄鐵術ノ目的ヲ問フ

答 裝蹄及造蹄ノ術ニ熟シ以テ馬ノ蹄ヲ保護スルニアリ(總則第一)

問 裝蹄ニ缺クヘカラサル要件ヲ問フ

答 蹄形ヲ肢勢ニ適セシメ且ツ蹄鐵ヲ蹄形及馬ノ服務ニ適セシムルニアリ(總則第二)

問 制式ノ蹄鐵ニ幾種類アリヤ又其大サヲ問フ

答 尋常蹄鐵及氷ト蹄鐵アリ而シテ第一號ヨリ第六號迄トス(第一章第一)

問 蹄ノ構造

答 彈力部、知覺部、角質部、骨部ヨリ成ル(第四章第二二八)

問 蹄壁ハ一ヶ月ニ幾何生長スルヤ又蹄冠部ヨリ角質降下シテ負縁ニ達スル迄ノ期日蹄尖部ハ凡ソ幾月ヲ要スルヤ

答 蹄壁ノ生長ハ一ヶ月平均八耗トス而シテ蹄尖部ニ於テ蹄冠部ヨリ負縁ニ達スル期日ハ凡ソ十乃至十二ヶ月トス(第四章第三二)

問 裝蹄器械ヲ散亂セハ如何ナル害アリヤ

答 人馬ノ負傷或ハ器械ノ毀損ヲ招クノ虞レアルヲ以テ使用終ル毎ニ裝蹄器械箱ニ容レ肢ノ觸レサル所ニ置クヘキモノトス(第九章第六五)

問 舊蹄鐵ノ取除ケ及裝蹄ハ何蹄宛行フヤ

答 前二蹄若クハ後二蹄毎ニ行フモ跛行若クハ負縁缺損ノ虞レアルカ或ハ地盤不良ナル場合ハ一蹄宛行フ(第九章第六七)

陸軍禮式

問 最敬禮ヲ行フ場合及其方法如何

答 1、最敬禮ハ 天皇(御眞影)ニ對シ奉ルトキ及拜神ノ時ニ行フ
2、不動ノ姿勢ヲ取り先ツ 天皇(御眞影)ニ對シ注目シ次ニ體ノ上部ヲ前約四十五度ニ傾テ頭ヲ正シク上體ノ方向ニ保テ帽ハ右手ニテ其庇ヲ摘ミ之ヲ右股ニ接シテ提ケ帽ノ内部ヲ右股ニ對セシム
3、和服着用ノ際モ亦右ニ準ス

問 軍人ノ敬禮ヲ行フハ軍服着用ノ時ノミニ限ルヤ

答 面識アル上官ニ對シテハ其着裝ノ如何ヲ問ハス敬禮ヲ行フモノトス

問 宴會集會等總テ公會ノ席上ニ於テ上官又ハ先輩ト同席スルトキノ心得如何

答 先ニ椅子ニ倚ルコトナク先ニ食卓ニ就キ又ハ離ルルコトナク先ニ喫烟スルコトナキヲ禮トス

問 軍人集團シアル(指揮者ナキ場合)時上官ニ對スル敬禮上ノ注意

答 最初之ヲ認メタルモノ「敬禮」ト呼ヒ注意スヘシ

問 拜禮ハ如何ナル場合ニ行フヘキモノナルヤ及其方法ヲ述ヘヨ

答 賢所參拜其他拜神ノトキニ行フ神靈ニ對シ最敬禮ト同一ノ方法ヲ以テ行フ
在郷軍人會又ハ小學校等ニテ「君カ代」ノ奏樂ヲ聞クトキハ如何ニスルカ

答 不動ノ姿勢ヲトル若シ和服ノトキハ帽子ヲ脱ス

問 軍人カ停止シテ敬禮ヲナス場合

答 行幸啓ニ遇ヒトキ、軍旗ニ遇ヒシトキ、直屬上官ニ遇ヒシトキ

問 軍人單獨ニテ軍人ノ喪儀ニ遇ヒシトキハ如何ニスルカ

答 死者ノ階級ヲ論セス柩ニ對シ敬禮ス

問 在郷軍人ノ敬禮ト軍服着用ノ軍人トノ敬禮ニ差異アリヤ

答 在郷軍人ハ服裝ノ關係上形式ニ於テハ陸軍禮式ニヨル場合多カルヘシト雖トモ其ノ

長上ニ敬禮シ同輩ハ之ヲ交換シ又ハ敬禮スルノ精神ニ於テハ決シテ差アルコトナシ

問 軍旗ニ對スル敬禮法

答 之ニ對シテ停止シ敬禮ヲ行フ(而シテ國民ハ全部行フヘキモノトス)

問 今日軍服ヲ着セスシテ余(執行官)ニ對シ必ス敬禮ヲ行ハサルヘカラサルハ如何ナル趣旨ナルカ

答 本日ハ在郷軍人トシテノ身分ヲ表ハス場合ナルヲ以テ假令軍服ヲ着用セサルモ元ヨリ立派ナル軍人ナリ即チ軍人トシテ美德タル尊敬服従ノ誠心ヲ表ハス趣旨ノ下ニ必ス敬禮セサルヘカラス

陸軍刑法並同懲罰令

問 哨兵故ナク守地ヲ離レタルトキハ如何ニ處斷セラルルヤ

答 敵前ナルトキハ死刑ニ處セラル、軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ三年以上ノ禁錮ニ處セラル其他ノ場合ナルトキハ一年以上ノ禁錮ニ處セラル

問 從軍ヲ免レ又危險ナル勤務ヲ避クル目的ヲ以テ疾病ヲ作爲シ身體ヲ毀傷シ其他詐僞ノ行爲ヲ爲シタルモノハ如何ニ處斷セラルルヤ

答 敵前ナルトキハ五年以上ノ有期懲役ニ處セラル、其ノ他ノ場合ナルトキハ五年以下ノ懲役ニ處セラル

問 上官ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ如何ニ處斷セラルルヤ

答 敵前ナルトキハ一年以上十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處セラル、其他ノ場合ナルトキハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處セラル

問 在郷軍人故ナク召集ノ期限ニ後レタル時ハ如何ニ處斷セラルルヤ

答 戰時ニ際シ又ハ事變ノ爲メ召集ヲ受ケタル場合ニ於テ五日ヲ過タルモノハ二年以下ノ禁錮ニ處セラル、其他ノ場合ニ於テ十日ヲ過キタルモノハ一年以上ノ禁錮ニ處セラル前二項ノ日時以内ナルトキハ懲罰處分ヲ受ク

問 在郷軍人(召集中又ハ部隊ニ在リテ陸軍々人ノ勤務ニ服スルモノ)ニシテ陸軍懲罰令ヲ適用セラルル場合及其懲罰科目如何

答 下士ニ對シテハ 免官 譴責

兵卒ニ對シテハ 降等 譴責

問 在郷軍人召集ヲ免レン爲メ疾病ヲ作り身體ヲ毀傷シ其他詐欺ノ行爲ヲナシタルモノハ如何ナル罪ニ處セラルルヤ

答 三年以下ノ懲役ニ處セラル

問 服從ノ義務ニ違フヘキコトヲ目的トシテ黨ヲ結ヒタルモノハ如何ニ處分セラルルヤ

答 首魁ハ六月以上五年以下其他ハ二年以下ノ禁錮ニ處セラル

問 簡閱點呼中不都合アリシヲ解散後發見セラレシトキハ如何ニ處分セラルルヤ

答 解散後ト雖モ陸軍懲罰令ニ依リ處分セラル

徵 兵 令

問 兵役ハ如何ニ區分セラレアリヤ

答 常備兵役、後備兵役、補充兵役及國民兵役トス

問 常備兵役トハ如何又其服役年限幾程ナルヤ

答 常備兵役ハ現役及豫備役ニ區分セラレ現役ハ三ケ年豫備役ハ四年四ケ月ニシテ現役ヲ終リタルモノ之レニ服ス

問 後備兵役ノ年限如何

答 常備兵役ヲ終リタリ者ニシテ十ケ年此ニ服ス

問 補充兵役服役年限如何

答 十二年四ケ月ナリ

問 國民兵役ノ區分如何

答 第一國民兵役第二國民兵役トス

問 第一國民兵役ト第二國民兵役トノ差如何

答 第一國民兵役ハ後備兵役又ハ召集セラレタル補充兵ニシテ其役ヲ終リタルモノ此ニ服シ第二國民兵役ハ右以外ノ者即チ滿十七歳以上四十歳未滿ニシテ軍隊教育ヲ受ケサル者此ニ服シ但シ六週間現役兵ヲ終リ滿二十八歳迄ニ教職ヲ止メサル者ハ軍隊教育ヲ受ケタルモノナレトモ特ニ第二國民兵役ニ服スルモノトス

問 現役、豫備役、後備役ノ合計服役年數如何

答 十七ケ年四ケ月ナリ

問 輜重輸卒ノ現役年限如何

答 二ケ年四ケ月ナリ

問 輜重輸卒ト其他ノ兵種ト服役總年數ニ差異アリヤ

答 無シ輸卒ハ現役年限短キモ豫備ノ期間五ケ年アルヲ以テ總年限ハ同一トナルナリ

問 現役、豫備役、補充兵役、後備兵役ノ服役年期ノ計算ハ何レヨリ起算スルヤ

答 現役、豫備役、補充兵役ハ其役ニ就ク年ノ十二月一日、後備役ハ其役ニ就ク年ノ四月一日ヨリ起算シ各所定ノ年限服役スルモノトス

陸軍軍人服役令

一〇八

問 在郷軍人ハ如何ナル場合ニ召集セラルルヤ

答 左ニ掲クル場合トス

- 1、戦時又ハ事變ノ際
- 2、平時ニ於テ勤務演習、補充兵ノ教育兵員ノ補欠ヲ要スル時
- 3、右ノ外毎年一回簡閲點呼ヲ受ク

問 下士上等兵又ハ之ト同等階級兵卒ニシテ其ノ官又ハ等級ヲ失フハ如何ナル刑ニ處セラレタルトキナルヤ

答 普通刑法ニ在リテハ禁錮以上陸軍刑法及海軍刑法ニ在リテハ禁錮ハ一年以上ニ限ル豫備役下士ノ服役期間ヲ問フ

問 志願ニヨラスシテ兵卒ヨリ下士ニ任セラレタル者ニ在リテハ徵集年ノ十二月ヨリ其他ノ者ニ在リテハ任官年ノ十二月ヨリ起算シ七年四ヶ月ニ當ツル日

問 後備役下士ノ服役期間ノ終期ヲ問フ

答 志願ニ依ラスシテ兵卒ヨリ下士ニ任セラレタル者ニ在リテハ徵集年ノ十二月ヨリ其他ノ者ニ在リテハ任官年ノ十二月ヨリ起算シ七年四ヶ月ニ滿ツル日

問 兵卒ニシテ現役下士ヲ志願シ得ル資格及其手續キヲ問フ

答 豫備役上等兵及之ト同等階級ノ者ニシテ下士適任證書ヲ有シ現役期限滿ツル後二年

以內(歸休ヲ命セラレ豫備役ニ入リタル者ニ在リテハ一年以內)ニ於テ志願スル者又其手續ハ願書ヲ原所屬部隊、現役滿期(退營)ノ年月日、現役滿期(退營)後ノ職業並ニ服役セントスル部隊等ヲ記シ本籍地所管ノ市區町村長及聯隊區司令官ヲ經テ服役セントスル部隊長ニ差出ス

問 豫備役兵卒ノ服役期間ノ終期ヲ問フ

答 前服役年月ヲ通算シ七年四ヶ月ニ滿ツル日

問 後備役兵卒ノ服役期間ノ終期ヲ問フ

答 前服役年月ヲ通算シ十七年四ヶ月ニ滿ツル日

問 補充兵ノ服役期間ノ終期ヲ問フ

答 徵兵検査ノ年ノ十二月一日ヨリ起算シ十二年四ヶ月ニ滿ツル日

問 在郷中傷痍ヲ受ケ又疾病ニ罹リ永久服役ニ堪ヘサル者ハ如何ナル手續ヲナスヤ

答 在職陸軍々醫ノ診斷書若ハ醫師ノ病況書ヲ添へ本籍地聯隊區司令官ニ届出ツ

問 輜重輸卒ノ現役及豫備役ヲ問フ

答 現役二年四ヶ月但シ三ヶ月在營ノ後歸休、豫備役五年

問 十四日以上本籍外ニ旅行、滞在若クハ寄留又ハ外國ニ旅行若ハ在留セントスル者ノ手續ヲ問フ

答 又此等ノ者手續ヲ爲ササル場合ハ如何ナル處分ヲ受クルヤ
答 本籍地市區町村ニ於テハ召集其他軍衛ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ者ヲ定メ出發前

一〇九

運署ヲ以テ其行先ト共ニ本籍地聯隊區司令官ニ届出ツ

又此ノ手續ヲ爲ササル時ハ十日以上ノ拘留又ハ五圓以上ノ科料ニ處セラレ

問 外國ニ旅行又ハ在留スヘキ届出ヲ爲シタル者其ノ届出ノ日ヨリ十四日以内ニ内地ヲ離レサルトキハ如何ナル手續ヲナスヤ又手續ヲ爲ササルトキハ如何ナル處分ヲ受クルヤ

答 其旨同期日以内ニ本籍地聯隊區司令官ニ届出ツ

問 又此ノ手續ヲ爲ササルトキハ拘留又ハ一圓以上ノ科料ニ處セラレ

答 歸休兵ハ外國ニ旅行又ハ在留スルコトヲ得ルヤ

問 外國ニ旅行又ハ在留スルコトヲ得ス

答 召集通報人死亡其ノ他ノ事故ニヨリ變更ヲ要スルトキハ如何ナル手續ヲナスヤ

又手續ヲ爲ササルトキハ如何ナル處分ヲ受クルヤ

問 更ニ通報人ヲ定メ運署ヲ以テ十四日以内ニ本籍地聯隊區司令官ニ届出ツ

答 右ノ手續ヲ爲ササルトキハ十日以上ノ拘留又ハ五圓以上ノ科料ニ處セラレ

問 本籍地ニ親族知己等ナクシテ召集通報人ヲ定ムルコト能ハサル場合ハ如何ニスルヤ

答 本籍地ノ分會長若クハ本籍地市區町村ノ兵事係ニ依頼ス

問 旅行、滞在、寄留又ハ外國ニ在留シタル者本籍地ニ復歸又ハ寄留地ヲ變更シタルトキハ如何ナル手續ヲナスヤ

答 又手續ヲナスサル者ハ如何ナル處分ヲ受クルヤ

復歸又ハ變更シタル日ヨリ十四日以内ニ本籍地聯隊區司令官ニ届出ツ

又右ノ手續ヲ爲ササル者ハ拘留又ハ一圓以上ノ科料ニ處セラレ

問 外國ヨリ歸朝シタル者内地歸着ノ日ヨリ十四日以内ニ本籍地ニ復歸セサル時ノ手續ヲ問フ

又手續ヲ爲ササルトキハ如何ナル處分ヲ受クルヤ

答 其旨同期日以内ニ本籍地聯隊區司令官ニ届出ツ

又此手續ヲ爲ササルトキハ一圓以上ノ科料又ハ拘留ニ處セラレ

問 寄留地附近ノ軍隊ニ於テ勤務演習ヲ爲サントスル者ノ手續ヲ問フ

答 毎年三月一日迄ニ本籍地聯隊區司令官ニ願出テ其ノ許可ヲ受ケタルトキハ四月一日迄ニ其旨寄留地市區町村長及島司郡長ヲ經テ寄留地聯隊區司令官ニ届出ツ

問 寄留地ニ於テ簡閱點呼ヲ受ケントスルモノノ手續ヲ問フ

答 毎年四月一日迄ニ本籍地聯隊區司令官ニ願出テ其ノ許可ヲ受ケタルトキハ五月一日迄ニ其旨寄留地市區町村長及島司郡長ヲ經テ寄留地聯隊區司令官ニ届出ツ

問 寄留地ニ於テ勤務演習及簡閱點呼ヲナスノ許可ヲ受ケタル者其ノ許可ヲ受ケタル旨寄留地聯隊區司令官ニ届出テサルトキハ如何ナル處分ヲ受クルヤ

答 拘留又ハ一圓以上ノ科料ニ處セラレ

問 寄留地ニ於テ勤務演習及簡閱點呼ヲ爲スノ許可ヲ受ケタル者其ノ許可ノ取消ヲ爲シ得ル場合及其ノ手續ヲ問フ

答 本籍地ニ於ケル勤務演習又ハ簡閱點呼開始前

其ノ手續ハ本籍地聯隊區司令官ニ願出テ其ノ許可ヲ受ケタルトキハ速カニ其ノ旨寄留地市區町村長及島司郡長ヲ經テ寄留地聯隊區司令官ニ届出ツ

寄留地ニ於テ勤務演習及簡閱點呼ヲ爲スノ許可ヲ受ケタル者寄留換ヲ爲シ又ハ本籍地ニ復歸シタル場合ハ何レノ地ニ於テ勤務演習ヲナシ又ハ簡閱點呼ヲ受クヘキヤ

其ノ取消許可ヲ受ケタルモノヲ除クノ外其ノ許可ヲ受ケタル地ニ於テ勤務演習ヲ爲シ又ハ簡閱點呼ヲ受クヘキモノトス

歸休兵中寄留地ニ於テ勤務演習及簡閱點呼ヲ爲スノ許可ヲ得ルコト能ハサル者ハ如何ナル者ナルヤ

服役令第六十條ニ依ル歸休兵即チ在營二年ニシテ歸休スル歩兵科兵卒電信隊附工兵科兵卒及衛生部兵卒トス

但シ臺灣ノ軍隊ニ在リテ歸休ヲ命セラレ臺灣ニ居住スルモノハ此ノ限リニアラス

寄留地ニ於テ勤務演習ヲナシ又ハ簡閱點呼ヲ受クルノ許可ヲ得タル者十四日以上其地以外ニ旅行又ハ滞在セントスルトキノ手續ヲ問フ

又手續ヲ爲ササルトキハ如何ナル處分ヲ受クルヤ

寄留地市區町村ニ於テ勤務演習又ハ簡閱點呼ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ者ヲ定メ出發前連署ヲ以テ其ノ行先ト共ニ寄留地市區町村長及島司郡長ヲ經テ寄留地聯隊區司令官ニ届出其ノ寄留地ニ歸還シタルトキハ十四日以内ニ前段ニ準シ其ノ旨届出ツ

又前段ノ手續ヲ爲ササル者ハ十日以上ノ拘留又ハ五圓以上ノ科料、後段ノ手續ヲ爲ササル者ハ拘留又ハ一圓以上ノ科料ニ處セララル

已ムヲ得サル事故ノ爲メ勤務演習召集ノ猶豫及簡閱點呼ノ免除ヲ願ハントスル者ノ手續ヲ問フ

其ノ事實ヲ證明シ願書ニ本籍地市區町村長ノ奥書證印ヲ受ケ本籍地聯隊區司令官ニ願出テ許可ヲ受ク但シ令狀受領前ニ限ル

市町村長助役收入役其ノ他之レニ準スヘキ職ニ就キ又帝國議會、府縣會、郡會、市町村會、其ノ他之ニ準スヘキモノ議員ト爲リ勤務演習及簡閱點呼ヲ免セラルヘキ者ノ手續及手續ヲ爲ササル者ノ處分方ヲ問フ

其ノ職ニ就キタル日ヨリ十四日以内ニ本籍地聯隊區司令官ニ届出ツ其ノ事故止ミタルトキ亦同シ又此ノ手續ヲ爲ササル者ハ拘留又ハ一圓以上ノ科料ニ處セララル

氏名ヲ變更シタル時ノ手續及手續ヲ爲ササル者ノ處分方ヲ問フ

十四日以内ニ本籍地聯隊區司令官ニ届出ツ

又手續ヲ爲ササル者ハ拘留又ハ一圓以上ノ科料ニ處セララル

轉籍シタルトキノ手續及手續ヲ爲ササル者ノ處分方ヲ問フ

十四日以内ニ轉籍地ノ市區町村長及島司郡長ヲ經テ轉籍地ノ聯隊區司令官ニ届出ツ

又此手續ヲ爲ササル者ハ拘留又ハ一圓以上ノ科料ニ處セララル

歸休兵ハ官廳ニ奉職シ得ルヤ否ヤ又奉職ノ故ヲ以テ召集ヲ猶豫シ又ハ簡閱點呼ヲ免除セラルルヤ否ヤ

セラルルヤ否ヤ

奉職スルコトヲ得ルモ夫レカ爲メ召集ヲ猶豫シ又ハ簡閱點呼ヲ免除セラレヌ

本籍出發前通報人ヲ定メ内地ニ旅行滞在寄留外國在留ナシ居ルモノ甲地ニ轉籍シタル時ハ更ニ通報人ヲ定メ届出ノ必要ナキヤ

届出スヘキモノトス

外國、滿洲、關東洲及朝鮮、樺太ニ在留又ハ旅行スルモノハ勤務演習簡閱點呼免除セラルルヤ

在留ノモノハ免除セラルルモ朝鮮、樺太、臺灣ニ旅行スルモノハ免除セラレヌ

又臺灣ニ在留スルモノハ簡閱點呼ハ免除セラルルモノナルモ勤務演習召集ハ願ニ依リ該地ニテ應召出來得

寄留地ニ於ケル勤務演習簡閱點呼ノ許可者轉籍ヲナシタル場合ハ寄留地許可ノ効力ハ如何

轉籍スルモ寄留地許可ノ取消ヲナササレハ依然許可地ニ於テ勤務演習應召簡閱點呼ニ參會スヘキモノトス

寄留地ニ於テ勤務演習簡閱點呼ノ許可期間ノ効力ハ何時迄ナルヤ

勤務演習ニアリテハ翌年四月一日迄簡閱點呼ニ在リテハ三月一日迄トス

下士適任證書若クハ憲兵上等兵適任證書返還ヲ命セラルル場合如何

下士適任證書ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル時憲兵上等兵適任證書ヲ有スルモノハ

(1)、憲兵タル體面ヲ汚ス行爲アリタル時

(2)、家資分産若クハ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ

(3)、賭博犯ノ處分ヲ受ケタルトキ

(4)、禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

朝鮮、樺太ニ在留スルモノノ内勤務演習簡閱點呼ヲ免除セラレサルモノハ如何ナルモノナルヤ

二年在營ノ歸休兵即チ歩兵科兵卒、電信隊附工兵科兵卒、衛生部兵卒ニシテ歸休中ノ者

補充兵證書ヲ失ヒ又ハ損傷シタルトキ其再下附ニ關スル手續ヲ問フ

其ノ理由ヲ詳記シ本籍地聯隊區司令官ニ請求ス

寄留手續ヲ爲サスシテ寄留地ニ於テ演習召集及簡閱點呼參會ヲ願出ツル者多シ之等ハ如何ニ取扱ハルルヤ

之レ等ハ許可セラレサルノミナラス十日以上ノ拘留又ハ五圓以上ノ科料ニ處セラル

寄留シタルモノ本籍地ニ歸郷シタルトキハ届出ヲ要スルヤ

十四日以内ニ復歸届ヲ役場ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ス

正當ノ理由ナク服役令ニ違反シタルモノハ如何ナル罰ニ處セララルルヤ

十日以上ノ拘留又ハ五圓以上ノ科料ニ處セラル

陸軍召集令

一一六

召集ノ種類ヲ問フ

充員召集、臨時召集、國民兵召集、演習召集、教育召集、補缺召集ノ六種トス
各召集ヲ説明セヨ

充員召集トハ動員ニ當リ諸部隊ノ要員ヲ充足スル爲メ在郷軍人ヲ召集スルヲ謂フ
臨時召集トハ戰時又ハ事變ニ際シ必要アル場合ニ臨時在郷軍人ヲ召集スルヲ謂フ
國民兵召集トハ戰時又ハ事變ニ際シ國民兵ヲ召集スルヲ謂フ

演習召集トハ勤務演習ノ爲メ在郷軍人ヲ召集スルヲ謂フ

教育召集トハ教育ノ爲メ未タ教育セサル補充兵ヲ召集スルヲ謂フ

補缺召集トハ平時ニ於テ兵員ノ補缺ヲ要スルトキ臨時歸休兵ヲ召集スルヲ謂フ
在郷軍人トハ如何ナル者ヲ謂フヤ

待命、休職、停職、豫備役、後備役ノ將校同相當官、准士官、豫備役、後備役ノ下

士兵卒、歸休兵、補充兵及十二月一日以後ニ於テ未タ入營セサル現役兵ヲ謂フ
應召員應召義務發生ノ時期ヲ問フ

令狀ノ交付ヲ受ケタルトキ、召集ノ傳達ヲ受ケタルトキ、召集ノ通報ヲ受ケタルトキ

演習召集、教育召集、補缺召集及點呼令狀ノ交付ヲ受ケタル者ニシテ召集又ハ簡閱點呼期日以前ニ他ニ轉籍シタル者ハ新舊何レノ地ニ於テ召集ニ應シ又ハ簡閱點呼ヲ受ク

ヘキヤ

舊籍地即チ最初令狀ヲ受タル地ニ於テ召集ニ應シ又ハ簡閱點呼ヲ受クヘキモノトス

令狀ノ交付ヲ受ケタル者ノ心得ヲ問フ

令狀ニ添付シアル受領書ニ受領年月日時ヲ記入シ捺印（應召員ニ代リテ受領シタル者ハ記名捺印）シ直ニ之ヲ返付ス
尙ホ令狀裏面記載事項ヲ熟讀ス

應召員及參會者ニ代リ令狀ヲ受ケタル者ノ心得ヲ問フ

直チニ確實迅速ナル方法ヲ以テ召集部隊、到着地（點呼場）及到着日時ヲ本人ニ通報（到着遅延ノ虞アル場合其他必要ナル場合ニ於テハ電信ヲ以テ）シ其ノ令狀ヲ速カニ交付スルノ處置ヲ爲ス

應召員（參會者）ニ代リ令狀ヲ受ケタル者正當ノ事由ナク應召員（參會者）ニ召集（參會）ノ通報及其ノ令狀ヲ交付スルノ處置ヲ爲サス又ハ其通報及令狀交付遅延ノ爲メ令狀指定ノ期日ニ到着地ニ到着スルコト能ハサルニ至ラシメタルトキハ如何ナル處置ヲ受クルヤ

二日以上ノ拘留又ハ二圓以上ノ科料ニ處セラレ

應召員ハ必ス令狀ヲ携フルヲ要スルヤ此レヲ要セサル場合アリトセハ其場合ヲ擧ケヨ
携フルヲ要セサル場合アリ即チ左ノ如シ
召集ノ通報ヲ受ケタル者ニシテ令狀ノ交付ヲ受クル爲メ到着遅延ノ虞アル場合

一一七

問 令狀又ハ召集ノ通報ヲ受ケタル日時ノ關係上指定ノ日時ニ到着地ニ到ルコト能ハサル者ハ如何ナル手續ヲ爲スヤ又右ノ場合ニ於テ集合場ニ到着スヘキ者ハ何處ニ到ルヤ、又正當ノ事由ナク右ノ手續ヲ爲サ、ル者ノ處分法ヲ問フ

答 所在地ノ憲兵又ハ警察官吏ニ就キ令狀又ハ通報ヲ受ケタル日時及出發日時ノ證明書ヲ受ケ到着ノ上召集事務所ニ届出ツ又集合場ニ到着スヘキ場合ハ直ニ召集部隊ニ到ル又此ノ手續ニ違反シタルトキハ二日以上ノ拘留又ハ二圓以上ノ科料ニ處セラル

問 充員、臨時、國民兵召集ノ場合ニ於テ應召員令狀又ハ召集ノ通報ヲ受領スル際傷痍疾病ノ爲メ到着地ニ到ルコト能ハサルトキノ手續及手續ヲナサ、ル者ノ處分方ヲ問フ

答 聯隊區司令官ニ宛テタル届書ニ令狀及醫師ノ診斷書ヲ添ヘ令狀又ハ通報受領後二十四時間以内ニ之ヲ本籍地市町村長ニ差出ス

問 又此ノ手續ヲ爲サ、ル者ハ二日以上ノ拘留又ハ二圓以上ノ科料ニ處セラル

答 充員、臨時、國民兵召集ノ場合ニ於テ應召員傳染病豫防ノ爲メ交通遮斷隔離又ハ停留ヲ命セラレ到着地ニ到ルコト能ハサルトキノ手續及手續ヲ爲サ、ル者ノ處分方ヲ問フ

問 聯隊區司令官ニ宛タル届書憲兵又ハ警察官吏ノ證明書及令狀ヲ添ヘ令狀又ハ通報受領後二十四時間以内ニ之ヲ本籍地市町村長ニ差出ス

答 又此ノ手續キヲ爲サ、ル者ハ二日以上ノ拘留又ハ二圓以上ノ科料ニ處セラル

問 充員召集、臨時召集、國民兵召集ノ場合ニ於テ其應召員犯罪又ハ所在不明等ノ爲メ到着地ニ到ルコト能ハサルトキ其令狀ヲ受領シタル者ノ手續及手續ヲ爲サ、ル者ノ處分

答 聯隊區司令官ニ宛テタル届書ニ憲兵又ハ警察官吏ノ證明書及令狀ヲ添ヘ令狀受領後二十四時間以内ニ本籍地市町村長ニ差出ス

問 又此ノ手續ヲ爲サ、ル者ハ二日以上ノ拘留又ハ二圓以上ノ科料ニ處セラル

答 充員召集、臨時召集、國民兵召集ノ場合ニ於テ事故ノ爲メ到着地ニ到ルコト能ハサルモノ其事故止ミタルトキノ手續及手續ヲナサ、ル者ノ處分方ヲ問フ

問 直ニ本籍地市町村長ニ届ケ出ツ若シ此ノ届出テヲ爲サ、ル者ハ二月以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處セラル

答 應召員途中ニ於テ傷痍疾病其他已ムヲ得サル事故ニ因リ到着遅延ノ虞アルトキハ如何ナル手續ヲ爲スヤ又手續ヲ爲サ、ル者ハ如何ナル處分ヲ受クルヤ

問 傷痍疾病ニ罹リタルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ直ニ召集部隊長ニ届出テ出發シ得ルニ至レハ速ニ到着ノ上召集事務所ニ届出ツ

答 傷痍疾病ノ外已ムコトヲ得サル事故ニ因リ到着遅延ノ虞アルトキハ其ノ地ノ郡市町村長、憲兵、警察官吏、船長又ハ驛長ノ證明書ヲ受ケ到着ノ上召集事務所ニ届出ツ

問 此ノ手續ヲ爲サ、ル者ハ二日以上ノ拘留又ハ二圓以上ノ科料ニ處セラル

答 充員召集、臨時召集、國民兵召集ノ場合ニ於テ其應召員非常事變ニ因リ交通遮斷絶シタル爲メ到着地ニ到ルコト能ハサルトキノ手續及手續ヲ爲サ、ル者ノ處分方ヲ問フ

問 其旨ヲ最寄部隊(部隊ナキ地ニ在リテハ郡市町村長、憲兵又ハ警察官吏)ニ届出ツ

此ノ手續ヲ爲サ、ル者ハ二日以上ノ拘留又ハ三圓以上ノ科料ニ處セラル
 充員召集、臨時召集、演習召集、教育召集及補缺召集ノ場合ニ於テ召集解除又ハ歸郷
 ヲ命セラレタル者ニシテ其解除又ハ歸郷ヲ命セラレタル日ヨリ十四日以内ニ本籍地
 演習召集ニ在テ寄留地ニ於テ召集ニ應スヘキ許可ヲ受ケタル者ハ該寄留地ニ歸還セ
 サル者ノ手續及手續ヲ爲サ、ル者ノ處分方ヲ問フ

答 本籍地市町村(演習召集ニ在リテ寄留地ニ於テ召集ニ應スヘキ許可ヲ受ケタル者ハ
 寄留地市町村)ニ於テ召集通報人ヲ定メ連署ヲ以テ同期日以内ニ本籍地町村長及郡
 長又ハ市長(寄留地町村長及郡長又ハ市長)ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ツ此ノ手續ヲ
 爲サ、ルモノハ十日以上ノ拘留又ハ五圓以上ノ科料ニ處セラル

問 演習召集、教育召集、補缺召集ノ場合ニ於テ其ノ應召員傷痕疾病、犯罪、所在不明等
 ノ爲メ到着地ニ到ルコト能ハサルトキ及其ノ事故止ミタルトキノ手續並ニ手續ヲ爲サ
 、ルモノ、處分方ヲ問フ

答 應召員又ハ之レニ代リテ令狀ヲ受ケタル者ヨリ聯隊區司令官ニ宛テタル届書及令狀
 ハ通報ヲ受領シタル日ヨリ七日以内ニ(其以後ニ事故發生シタルトキハ直ニ又令狀
 受領後七日以内ニ應召スヘキ者ハ到着日時迄ニ)本籍地市町村長(寄留地ニ於テ召集
 ニ應スヘキ許可ヲ受ケタル者ニ在リテハ寄留地市町村長)ニ差出ス但シ傷痕疾病ニ
 係ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ犯罪、所在不明等ニ係ルトキハ憲兵又ハ警察官吏ノ證明
 書ヲ添付ス

又其事故止ミタルトキハ直ニ本籍地市町村長(寄留地市町村長)ニ届出ツ此ノ手續ヲ
 爲サ、ル者ハ二日以上ノ拘留又ハ二圓以上ノ科料ニ處セラル

問 應召員中父母妻子ノ疾病危篤又ハ死亡ノ場合到着期日ノ延期ヲ出願シ得ル召集ノ種類
 及手續ヲ問フ

答 演習召集、教育召集、補缺召集ノ三種トス
 手續ハ聯隊區司令官ニ宛テタル願書ヲ本籍地市町村長(寄留地ニ於テ召集ニ應ス
 ヘキ許可ヲ受ケタル者ニ在テハ寄留地市町村長)ニ差出ス但シ父母妻子ノ疾病危篤
 ニ係ルトキハ醫師ノ診斷書、死亡ニ係ルトキハ市町村長又ハ警察官吏ノ證明書ヲ添
 付ス

問 簡閱點呼トハ如何ナルモノナルヤ

答 豫備役、後備役ノ下士、兵卒、歸休兵及補充兵ヲ參會セシメ在郷間ニ於ケル軍紀服
 從、健康及軍事教育保持ノ程度等ヲ點檢査閱スルモノトス

問 簡閱點呼參會者中令狀又ハ參會ノ通報ヲ受ケタル者ニシテ傷痕疾病、犯罪、所在不明
 等ノ爲メ參會スルコト能ハサル者ノ手續及手續ヲ爲サ、ル者ノ處分方ヲ問フ

答 本人又ハ本人ニ代リ令狀ヲ受ケタル者ヨリ參會日時迄ニ簡閱點呼執行官ニ宛テタル
 届書及令狀ヲ本籍地市町村長(寄留地ニ於テ簡閱點呼ニ參會スヘキ許可ヲ受ケタル
 者ニ在リテハ寄留地市町村長)ニ差出ス
 但シ傷痕疾病ニ係ルトキハ醫師ノ診斷書、犯罪、所在不明等ニ係ルトキハ憲兵又ハ

警察官吏ノ明證書ヲ添付ス

此ノ手續ヲ爲サ、ル者ハ二日以上ノ拘留又ハ二圓以上ノ科料ニ處セラレ

應召員又ハ簡閱點呼參會者ノ差出スヘキ屆書ニ添付スル醫師ノ診斷書ヲ具備スヘキ要件ヲ問フ

病名、原因、經過、現症、豫後療法ヲ詳記シ自己ノ傷痕疾病ニ係ル診斷書ニ在リテハ特ニ到着地ニ到ルコト能ハサル理由ヲ明カナラシムルヲ要ス

正當ノ事由ナク點呼ニ參會セサル者ハ如何ナル處分ヲ受クルヤ

三日以上ノ拘留又ハ三圓以上ノ科料ニ處セラレ

簡閱點呼ニ參會スルモノ鐵道乘車證明書ヲ使用シ得ルヤ若シ使用シ得ルトセハ何處ヨリ交付ヲ受クルヤ

使用スルコトヲ得、市町村長ヨリ交付ヲ受ク

外國ニアル者充員召集ヲ知リタル場合ノ心得ヲ問フ

速カニ歸國シ直チニ市區町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ス

豫後備役下士ノ勤務演習召集年次及日數ヲ問フ

本科下士ニ在リテハ現役滿期ノ年ノ翌々年ニ召集シ之ヨリ豫備役後備役ヲ通シテ二年置其ノ日數ハ豫備役ニ在リテハ四週間、後備役ニ在リテハ三週間各部下士ニ在リテハ各役間一回ニシテ其ノ日數ハ豫備役ニ在リテハ三週間、後備役ニ在リテハ二週間

豫後備役兵卒ニシテ計手又ハ獸醫部下士適任證書ヲ所持スル者ノ召集年次及日數ヲ問フ

各部下士ニ同シ

豫備役後備役歩兵科兵卒ノ召集年次及日數ヲ問フ

豫備役ニ在リテハ其役ニ入りタル年ノ翌年ヨリ起算シ第二年第四年後備役ニ在リテハ其役ニ入りタル年ノ翌年ヨリ起算シ第二年第五年其ノ日數ハ豫後備役共三週間

豫備役、後備役、特科兵卒ノ召集年次及日數ヲ問フ

豫備役ニ在リテハ其役ニ入りタル年ノ翌年ヨリ起算シ第三年、後備役ニアリテハ歩兵科ニ同シ

其ノ日數ハ豫備役、後備役共歩兵科兵卒ニ同シ

豫備役、後備役、衛生部兵卒ノ召集年次及日數ヲ問フ

豫備役ニアリテハ特科兵卒ニ同シ後備役ニ在リテハ其役ニ入りタル年ノ翌年ヨリ起算シ第三年第六年

其ノ日數ハ豫備役ニアリテハ三週間、後備役ニアリテハ二週間

補充兵ノ召集年次及日數ヲ問フ

其ノ役ニ入りタル年ノ翌年ヨリ起算シ第二年第四年其ノ日數ハ三週間

疾病事故等ニ因リ召集ニ應セサル者又ハ傷痕疾病ノ爲メ應召當日歸郷セシメラレタル

者及事故ノ爲メ召集ヲ受ケサル者ノ其年ニ於ケル勤務演習ハ如何ニナルヤ

答 次年ニ於テ召集セラル

問 召集ヲ在郷軍人ニ達スルニハ何ヲ以テセラル、ヤ

答 召集令狀ヲ以テ達セラル

問 召集ノ種類ニ依リ令狀ノ色ニ區別アリヤ

答 在リ即チ充員召集、臨時召集、國民兵召集ノ場合ニ於ケル令狀ハ淡紅色ノ紙ニシテ

他ハ凡テ白紙ナリ故ニ紅色ノ令狀ヲ以テ召集ヲ達セラレタル場合ニハ戦争若クハ容

易ナラサル事變カ發生シタルコトヲ直チニ察知セラル

問 本人ニ代リテ令狀ヲ受ケタル場合ニハ受領證ハ如何ニスルヤ

答 受領證ニ受領月日時刻ヲ記入シ本人氏名ノ左側ニ代理受領者ノ氏名ヲ記シ捺印ノ上

送達使丁ニ返付ス

問 令狀受領證ニハ必ス捺印ヲ要スルヤ

答 然リ但シ印類ヲ所持セサルトキハ拇印ナスモ妨ナシ

問 召集通報人ニハ如何

答 在郷軍人カ他ニ寄留旅行等ヲナシタル爲メ不在中ニ召集其他軍衙ノ命ヲ傳達スヘキ

モノナルコトヲ聯隊區司令官ニ届出タル成年者ヲ云フ

問 召集通報人選定上ノ注意並必ス注意シ置クヘキ要件如何

答 選定ニ當リテハ左ノ注意ヲ要ス

1、成年者ナルコト

2、老年ニシテ殆ト事ヲ辨ヘサルカ如キ者若クハ婦女子ニシテ無學文盲ノ如キ者ハ

成ル可ク避クルヲ要ス

3、軍籍ニ在ラサルモノ

必ス注意シ置クヘキ件左ノ如シ

1、召集令狀ヲ受ケタル際ニ可成速カニ確實ナル方法ヲ以テ該令狀ヲ本人ノ手許ニ

送付スヘキコト

2、居所ノ關係等ニ依リ到着遅延ノ虞アルトキハ先ツ電信ニ依リ召集ヲ通報スルコ

ト但シ本電文ニハ召集部隊、到着日時、到着地ヲ相違ナク記載スルヲ要ス

問 充員召集等ニ當リ應召ノ際携帯スヘキ主要品ハ如何

答 軍隊手牒、召集令狀、印形、勳章徽章、直任証書、鐵道乗車證明書、被服結束用風

呂敷及麻繩住所氏名札ハ主要ナルモノナリ

問 正當ノ事由ナクシテ期限ニ後レタルトキハ如何ニ處分セラル、ヤ

答 戦時若ハ事變ノ爲召集ヲ受ケタル場合五日ヲ過クレハ二年以下ノ禁錮ニ處セラル其

他平時ノ召集ニ當リ十日過ヲ過クレハ一年以下ノ禁錮ニ處セラレ尙其年ハ服從年數

ニ算入サレス而シテ翌年又召集セラル

問 召集旅費ハ何レニテ支給セラル、ヤ

答 召集部隊ニ於テ支給セラル但シ前渡ヲ受クルニ在ラサレハ出發シ能ハサル者ニ限り

市町村役場ニ於テ繰替支給ヲ受クルコトヲ得

簡閱點呼ノ際令狀指定ノ時刻ニ遅レタルモノハ如何ニセラル、ヤ

遅刻時間 勅諭捧讀式終了後ナル時ハ必ス次ノ點呼場ニ參會ヲ命セラル又捧讀前ニ

アリテモ場合ニ依リテハ次ノ點呼場ニ廻サル、コトアリ

旅行中又ハ寄留地ニ於テ充員召集ノ通知ヲ受ケタル者ニシテ令狀ヲ受クル爲到着遅延

ノ虞アル場合ハ如何ニスルヤ

令狀ヲ受ケスシテ直ニ示定セラレタル場所ニ到着シ其旨ヲ届出ツヘシ

召集猶豫ト召集延期トノ區別如何

召集猶豫ハ未タ應召員トナラサル場合ニ已ムヲ得サル事故ノ生シタルトキニ願出ス

ルモノニシテ召集延期ハ令狀受領後ニシテ即チ期日ノ延期ヲ願出スルモノナリ

演習、教育召集ノ應召員ニシテ指定ノ到着期日ヲ事故ノ爲メ經過シタルトキハ如何ニスルヤ

指定ノ到着期日ヲ經過セスシテ其儘不應召等ナスヘカラス到着期日ニハ是等ノ事故

者ノ爲メニ二三日ノ最終到着日アルニ付事故ヲ生シタル證明等ヲ受ケ直ニ應召ス

諸願届竝雜件

在郷軍人ヨリ提出スル服役ニ關スル願届書ニシテ聯隊區司令官ヲ經由シ若クハ同官ニ差出スモノハ第一何レニ出スヘキヤ

本籍地聯隊區司令官ニ關スルモノハ本籍地市町村役場寄留地聯隊區司令官ニ關スル者ハ寄留地市町村役場ニ差出スモノトス

陸軍諸法規ニ規定セル諸願届期日ハ其願届書ノ到着スル日ナルヤ又發送ノ日ヲ指スヤ

總テ到着ノ日ヲ指ス

在郷軍人ノ兵籍ハ何處ニ保管シアルヤ

本籍地聯隊區司令部ニ保管シアリ

兵籍記載事項ニ異動ヲ生シタルトキハ如何ナル手續ヲ爲スヤ

一月以内ニ本籍地市區町村長ヲ經テ本籍地聯隊區司令官ニ届出ツ

兵籍記載事項トハ如何ナルモノナルヤ

本籍族稱身分關係氏名生年月日叙位叙勳恩給及妻ニ關スル事項等

國民兵役ニ在ル者及兵役ヲ免セラレタルモノニシテ兵籍記載事項中届出ヲ要スヘキモノヲ舉ケヨ

左ニ掲クルモノトス

1、軍人恩給ヲ受ケ又ハ之ヲ受クヘキ資格ヲ有スル者本籍、族稱、身分關係、死亡

年月日又ハ妻ニ關スル事項ニ異動ヲ生シタルトキ
2、恩給ヲ受ケタルトキ

問 下士適任證書所持者ニシテ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル時適任證書ハ如何ニナルヤ

答 無効トナリ聯隊區司令官ニ返還ス

問 勳章及年金ヲ褫奪セラル、場合如何

答 死刑懲役又ハ無期若クハ三年以上ノ禁錮ニ處セラレタルトキ

尙ホ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ情狀ニヨリ褫奪セラル

1、刑ノ執行ヲ猶豫セラレタルトキ

2、三年未滿ノ禁錮ニ處セラレタルトキ

3、懲戒ノ裁判又ハ處分ニ依リ免官又ハ免職セラレタルトキ

4、素行修ラス帶勳者タルノ面目ヲ汚シタルトキ

問 恩給ヲ剝奪セラル、場合如何

答 無期又ハ六年以上ノ懲役若クハ禁錮ノ刑ニ處セラレ若クハ日本臣民タルノ分限ヲ失ヒタルトキ

問 恩給ヲ停止セララル、場合如何

答 左ニ掲クル事項ノ一ニ當ルトキ

1、再ヒ現役ニ就キ若クハ文官判任以上ニ任シ政府ヨリ俸給ヲ受ルトキ（増加恩給ヲ除ク）但シ商業ヲ營ムコトヲ得ヘキ官職ニ在ルトキ及准士官以下ニシテ文官判

任以上ニ任セラレタルトキハ此限リニアラス

2、公權ヲ停止セラレタルトキ

問 扶助料ヲ受クル者其權利消滅スル場合如何

答 左ニ掲クル事項ノ一ニ當ルトキ

1、無期又ハ六年以上ノ懲役若クハ禁錮ノ刑ニ處セラレタルトキ

2、日本臣民タルノ分限ヲ失ヒタルトキ

3、扶助料ヲ受クヘキ權利ヲ生シタル日ヨリ七年以内ニ請求セサルトキ

4、死歿若クハ戸籍ヲ去リ若クハ婚嫁シタルトキ

問 在郷軍人ニシテ陸軍刑法及懲罰令ヲ適用セラレタル場合如何

答 召集中召集ニアラスシテ部隊ニ在リ陸軍々人ノ勤務ニ服スルトキ現ニ服役上ノ義務ヲ履行中又ハ陸軍々人ノ身分ヲ表彰シ得ヘキ服装ヲナシタルトキ志願ニ依リテ國民

軍ニ編入セラレ服務ノトキ

問 寄留又ハ旅行スルモノニシテ自己ノ住所ヲ通報人ニ詳知セシメサル爲メ召集又ハ軍衙

ノ命ヲ通報スルヲ得サルニ至ラシメタルモノハ如何ナル處分ヲ受クルヤ

答 十日以上ノ拘留又ハ五圓以上ノ科料ニ處セラレマス

問 勳等功級ニ叙セラレ又ハ記章褒章ヲ存スル者族籍氏名ヲ變更シタル時ノ手續キヲ問フ

答 勳等功級勳章記章褒賞ノ名稱勳記功記年金證書證狀章記ノ番號ヲ明記シ其旨速カニ

賞勳局ニ届出ツ但シ死亡シタルトキハ家督相續人戸主又ハ親族ヨリ届出ツ

勳章記章及勳功記ヲ遺失又ハ毀損シタルトキハ再下附ヲ受クルコトヲ得ルヤ

再下附ヲ受クル事ヲ得サルモ勳章記章ニ限リ其ノ製造人ニ就キ各自購求スル事ヲ得

軍隊手牒ノ再下附ヲ受ケントスル者ノ手續ヲ問フ

願書ニ其ノ理由ヲ詳記シ本籍地市區町村長ヲ經テ本籍地聯隊區司令官ニ届出ツ但シ其自辨ニ屬スルモノニアリテハ金十錢ヲ添付ス

在郷軍人ニシテ在職陸軍々醫ノ診斷書ヲ受ケントスル場合ノ手續ヲ問フ

軍隊手牒ヲ携帶シ最寄陸軍衛戍病院軍隊又ハ徵兵署ニ出頭シ其ノ下附ヲ願出ツ

地方醫師ノ病況書ヲ得ルノ資力ナキ者ニ對シ特ニ陸軍ニ於テ便宜ヲ與ヘラル、事ナキヤ

軍隊手牒ヲ携帶シ最寄衛戍病院ニ出頭スルカ若クハ徵兵署ニ出頭シテ診斷書ノ下附ヲ願出ツレハ交付ヲ受クルコトヲ得

結核患者ニシテ無料治療ヲ受クルコトヲ得ル病院ヲ問フ及其ノ手續如何

赤十字病院同支部病院同託囑病院トス

結核豫防委員(警察署長地方醫師等)又ハ徵兵官簡閱點呼執行官市區町村長ニ願出ツ

三大祝日ニ宮中ニ賀表ヲ奉呈スヘキモノハ如何ナルモノナルヤ又其ノ奉呈方ヲ問フ

有位有勳者ニシテ地方ニ在ルモノ其奉呈ニ關シテハ大廣奉書(美濃紙ヲ代用スルモ妨ケナシ)ヲ横半折四ツ折ト爲シ楷書ニテ記載シ新年ノ賀表ハ東宮職及式部職ヘ其

ノ他ノモノハ式部職ノミニ奉呈ス但シ書留郵便ヲ以テ發送ス

ノ他ノモノハ式部職ノミニ奉呈ス但シ書留郵便ヲ以テ發送ス

帝國在郷軍人會

帝國在郷軍人會設立ノ趣旨如何

在郷軍人ヲシテ地方良民ノ模範タラシムルト同時ニ益々軍人精神ノ鍛鍊ト軍事智識ノ増進トヲ圖リ併セラ會員ノ相互扶助慰藉ノ方法ヲ講セシメムトス

帝國在郷軍人會總裁ハ如何ナル人ナルヤ

元帥陸軍大將大勳位功二級 貞愛親王殿下

帝國在郷軍人會々長及支部長ハ何人ナルヤ

會長ハ元帥陸軍大將^{從二位}功一級 伯爵寺内正毅閣下

支部長ハ聯隊區司令官

在郷軍人ノ敬禮ハ現役軍人ト同一ナルヤ

同一ナリ但シ和服ノ場合ハ軍人室内ノ敬禮ト同一ニ行フ

在郷軍人ノ徽章ヲ紛失ノ場合如何スルヤ

速ニ分會長ニ申出購入ス

在郷軍人徽章佩用如何

右胸部衣囊ノ上部ニ佩用ス但シ羽織着用ノ場合ハ羽織ノ見返シニ佩用ス

在郷軍人會ト青年會トノ關係如何

後見者タリ指導者タリ

問 在郷軍人會ノ目的如何

答 軍人ニ賜ハリタル勅諭ノ精神ヲ奉體シ在郷軍人ノ品位ヲ進メ親睦ヲ醇クシ相互扶助シ軍人精神ヲ振作シ體軀ヲ練リ軍事智識ヲ増進スルヲ目的トス

問 在郷軍人會員ハ地方議員選舉運動等政治的行動ニ關係スルヲ得ルヤ

答 個人トシテ關係スルハ差支ナキモ苟モ分會若クハ會員タル事ヲ標榜シ關係スル事ハ絶對ニ禁スル所ナリ

問 大正四年御大禮ノ際分會ヲ代表シ上京セル者ハ如何ナル光榮ニ浴シタルヤ

答 代表者ハ宮中ニ召サレ陛下ノ御親閲ヲ賜リ且ツ此際列席セル分會旗ニハ陸海軍大臣ヨリ親閲記念綬ヲ附與セラレ現在會旗ノ竿頭ニ裝セラル

大正八年七月七日印刷
大正八年七月十五日發行

和歌山市北休賀町六
發行兼編輯者 關 宗 二 郎

全 所
印刷所 關 宗 印刷所
全 所
印刷者 關 宗 七

40

3/8
4/11

8.3.15

終

